NEON GENESIS EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン

NEWTYPE 100 COLLECTION



3月15日全国洋画系ロードショー「新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生」公開記念

新世紀エヴァンゲリオンフェア

劇場窓口料金より300円割引

詳しくは裏面をご覧下さい。

ISBN4-04-852700-2

C0076 P1500E

定価1500円（本体1456円）　角川書店

NEON GENESIS
EVANGELION



特別優待割引券

当日窓口表示料金より300円割引します。

3月15日全国洋画系ロードショー

新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生

企画・原作：GAINAX
原作・脚本・総監督：庵野秀明
監督：摩砂雪／鶴巻和哉
メカニックデザイン：山下いくと／本田 雄
キャラクターデザイン：貞本義行
（コミック：月刊少年エース連載／角川書店刊）
EVA製作委員会作品　配給：東映

©1997 GAINAX/EVA製作委員会 イラスト/貞本義行

この割引券を劇場窓口にお出し下さい。上映期間中有効。本券1枚につき1名様まで有効。上映期間及び上映劇場は、新聞、雑誌等でご確認ください。

キリトリ







▲切り取ってご使用下さい

3月15日全国洋画系ロードショー「新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生」公開記念

NEON GENESIS

EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン

NEWTYPE 100 COLLECTION





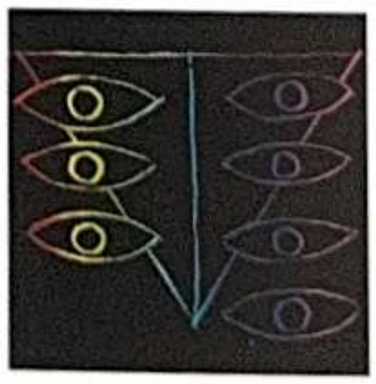
NEON GENESIS EVANGELION





CONTENTS

Illustrations—4
Jacket Gallery—76
Episode Guide—77
Neon Genesis Move!!—85
The Official Art—89
Voices—170
NT's Articles—176
Staff & Cast—178



FIGHTING SPIRITS!!

NEON GENESIS EVANGELION

A BEAST IN DARKNESS

NEON GENESIS EVANGELION







Empty Heart



Main Chance!



Boys, Be Legend





OPEN AN ATTACK!!

EVA

fighting children



Power Up!!



EVA

fighting children

00

02

E V A

in school uniform

EVA
in school uniform





Too shy, shy boy!



Rouse Yourself!



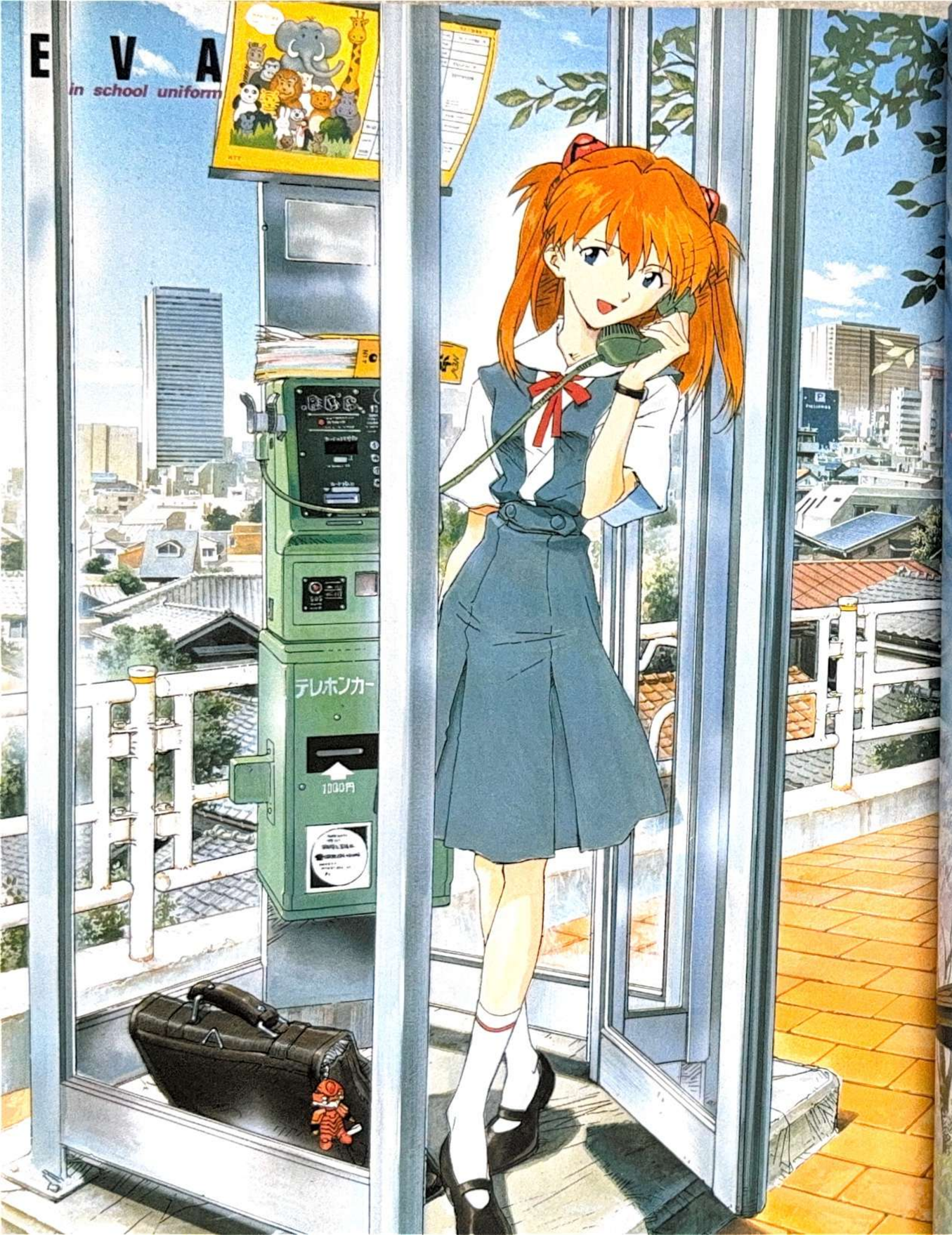


UNEVEN



E V A

in school uniform





Tears & Reasons











Same red eyes
We are alike…





Feel so good!





Rest of Soldiers





Get Ready!!

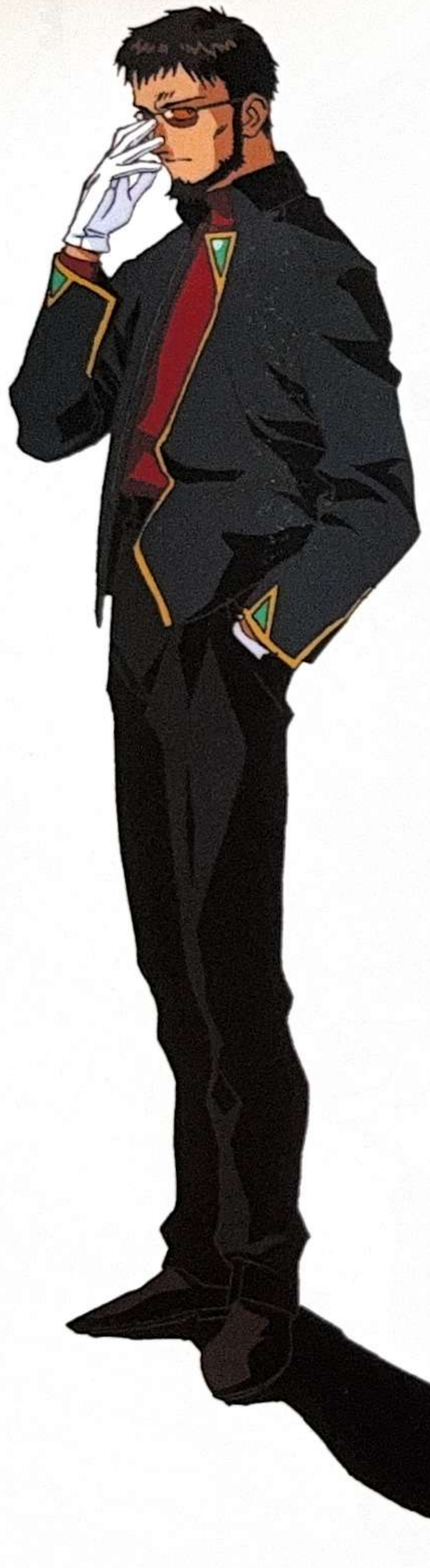
Misato, Kaji & Pen Pen



Misato, Kaji & Pen Pen



A Feud between Father & Son





Mother's Touch





In the End of a Century,
They met



EVA

Nerv's staff





lies of everyone...



E V A

fighting Evangelion





E V A

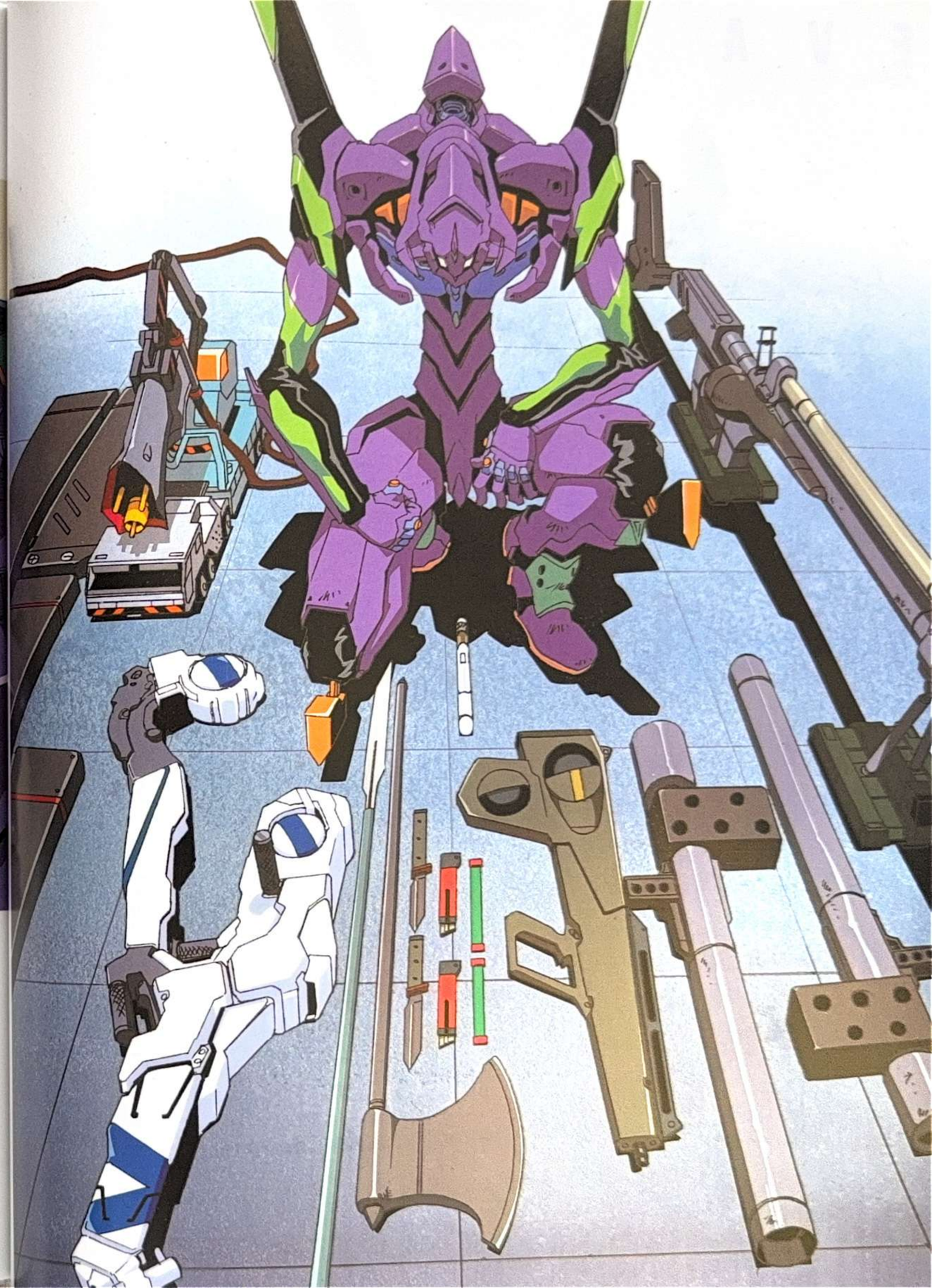
fighting Evangelion



Get your sights!!



EVA
fighting Evangelion



EVA

fighting Evangelion

THE BEAST AWAKES!

E V A

fighting Evangelion





Episode Guide of EVANGELION

膨大な情報量と緻密な人物描写でストーリーを展開して行く「エヴァ」。
ここでは、いくつかの場面カットとともにあらすじを紹介する。
各話予告と見比べてみると、また違った見方ができるかもしれない。





➡ケイジでエヴァと対面するシンジ。赤木リツコが説明する。「人の造り出した究極の汎用決戦兵器、人造人間エヴァンゲリオン。その初号機。建造は極秘裏に行なわれた。我が人類の最後の切り札よ」



➡人影もなく、電話回線も不通となった街角で、葛城ミサトの迎えを待つシンジ。ミサトは、特別非常事態宣言が発令された市内で、車を飛ばしていた



➡突然の衝撃音とともに、山あいから出現した使徒。通常の攻撃ではビクともしないため、国連軍は切り札・ｎ²地雷を使うが、それも効果はない。国連軍から指揮権を移されたゲンドウは、「初号機を起動させる」と副司令・冬月コウゾウに告げた
➡射出口より初出撃する初号機。シンジとのシンクロ率の高さはミサトらを驚かせた

第壱話
使徒、襲来
ANGEL ATTACK

ひとりの少年がとある街を訪れていた。彼の名は碇シンジ。彼は何も聞かされず、父に第３新東京市へ呼び出されて来たのだ。そのころ、日本には15年ぶりに通称“使徒。と呼ばれる謎の巨大物体が出現していた。自衛隊は総力を結集して攻撃を加えるが、ほとんどダメージを与えることができない。そのため、対使徒の作戦指揮権は国連軍から特務機関ネルフの司令官・碇ゲンドウへと移行することとなる。碇ゲンドウ、それがシンジを呼び出した父だった……。父の待つジオフロント（地下都市）、ネルフ本部へと足を踏み入れたシンジは、そこで巨人と対面する。それは汎用型人型兵器エヴァンゲリオン！　迫り来る使徒（サキエル）に対して、ゲンドウはシンジにエヴァに乗ることを命令する。シンジは、自分がここに呼ばれた理由が、ロボットを動かす“道具。としてだったことを知り、一度は乗り込むことを拒否。だが、傷を負っていながら出撃しようとする同じ歳の少女・綾波レイの姿に意を決し、ついにエヴァンゲリオンに乗り込んだ。そして、初号機はゲンドウらが見守る中、出撃する。

西暦2015年。人類の明日を守るため、汎用人型決戦兵器エヴァンゲリオンが出撃する。



➡ビール好きなミサトと、荒れ放題の部屋に、シンジは絶句する。食事に手をつけないシンジをしかるミサト。だが、シンジが他人といっしょにとる食事に慣れていないことにも、気づいていた



➡沈黙したはずの初号機は、突然再起動する。ネルフのスタッフたちが驚く中、サキエルに攻撃を仕掛ける初号機。サキエルの展開するＡＴフィールドも、まったく歯が立たない。そして、ついにサキエルは自爆する





➡初陣時の不安と恐怖で、歩くこともままならないシンジ。手も足も出せないまま、使徒の一方的な攻撃を受ける。初号機の顔面をつらぬく光の矢。初号機はこの後、頭から流血して作動を停止してしまう
➡作動停止の記憶とともに、目を覚ますシンジ。病院内で、包帯姿で運ばれるレイと再会することになる

第弐話
見知らぬ、天井
THE BEAST

突然、戦いの場へと投げ出されるシンジ。そんな状態でまともに闘えるはずもなく、エヴァは一方的に使徒・サキエルの攻撃を受け、機能停止する……。次に目覚めたとき、彼が見たものは、見知らぬ病院の天井だった。そして、シンジの記憶は混乱し、一部が欠落していた。ともあれ、シンジは新生活を開始することになるが、そこに父親がいるにもかかわらず、２人は別々の場所で暮らすという。そんなシンジの孤独さを見かね、ネルフの葛城ミサト一尉は共同生活を提案。シンジは、彼女のマンションに住むことになる。共同生活初日、風呂に入って、やっとひとりきりになり落ちついたシンジの脳裏に、失われていた記憶が蘇ってくる。それは窮地に追い込まれ暴走したエヴァが、ケダモノのように暴れ狂い、サキエルを圧倒する姿だった……。

エヴァは使徒に勝つ。だがそれはすべての始まりにすぎなかった。父親から逃げるシンジ。ミサトの微憐は、自分が彼を救おうと決意させる。

JACKET GALLERY

CD-ROM　CD　LD







大胆な作戦を思いつくミサト。勝算は8.7%だ
溶けていく零号機の中で、レイは生きていた！　シンジは起動実験中のゲンドウの場合と同じように、熱でゆがんだエントリープラグのドアをこじ開け、レイを救い出す



日本中の明かりが消えた暗闇の中で、ポジトロンライフルの撃鉄を起こす初号機。ラミエルに照準をしぼっていくが、第一射の直前、敵の内部に高エネルギー反応が起こる

第六話
決戦、第３新東京市
Rei II

運良くシンジの命に別状はなかった。しかし、ラミエルはネルフ本部への侵攻をはかり、巨大シールドを大地に突き立てる。一方、ラミエルには一定距離内の外敵を自動的に排除する性質があり、強力なＡＴフィールドを展開することができるという、攻守ともに完璧な能力が備わっていることが判明した。それに対し、ミサトはポジトロンライフルを改造した陽電子砲での超長距離攻撃を立案。「ヤシマ作戦」と命名され、実行への準備が進められる。シンジは使徒との戦闘に備えるが、「あなたは死なないわ。私が守るもの」と言い切るレイ。日本中の電力のすべてを結集しての超長距離射撃が実行に移されるが、ラミエルも同時に攻撃を仕掛け、第一射は失敗。続いて第二射を放つラミエル！　直撃をくらったかと思えたが、盾を持ったレイの零号機が身を挺して食い止める。チャージを急く初号機だが、その間にも零号機は溶解していく。

シンジは助かった。だが、その傷は彼に甘えたことばを吐かす。突き放すレイ。一方、ミサトは使徒に対し、一点突破を試みる。



ＪＡから転がり落ちそうになりながらも、笑顔でＶサインを送るミサト。シンジはホッとする



ＪＡの起動テストが行なわれたのは、旧東京地域
制御不能になったＪＡを追いかける初号機。炉心融解の危機は数分後に迫っていた



第七話
人の造りしもの
A HUMAN WORK

新しい生活に慣れてきて、心にじゃっかんの余裕の出てきたシンジには、ミサトのだらしなさが鼻につき始める。しかし、皮肉を言うシンジにミサトは逆に良い傾向を見出していた。ともあれ、やっと14歳らしい生活をいとなみ始めたシンジ。そんなとき、人類は使徒に対抗するエヴァ以外の人型兵器を造りあげていた。日本重化学工業共同体の開発したジェットアローンがそれだ。完成披露記念パーティーが開かれ、ネルフ代表として出席するミサトとリツコ。ただし、リツコには何か別の目的があるらしい。共同体は絶対的な自信をもってＪＡの試運転を始めるが、たちまち制御を失い、暴走させてしまう。ミサトはリツコが止めるのも聞かず、初号機を出撃させ、エヴァの手のひらから単身ＪＡ内部に侵入。間一髪で奇跡的に炉心融解の危機を防ぐ。しかし、プログラム解除のパスワードが何ものかによって書き換えられていたことなどから、ミサトはその奇跡が何者かの手で用意されていたものだと気づく。ともあれ、ミサトを少しだけ見直すシンジ。が、翌朝のミサトはいつものだらしない彼女だった。

迫り来る使徒に対し、民間の開発した人型兵器が制御不能に陥る。果たしてミサトは炉心融解を止められるのか？





空母の艦長とやり合っているミサトの前に、脳天気なあいさつで現われる加持
日型装備のまま出撃した弐号機は、水中に落ちないよう、船から船へ跳びまわる
さっそうと登場するアスカ。いきなりトウジにびんたをかますわ、シンジをバカにするわで、勝ち気な面を発揮する。だが、加持には弱いらしい



第八話
アスカ、来日
ASUKA STRIKES!

ミサトに連れられ、太平洋を進む艦隊上にやってきたシンジとケンスケ、トウジ。そこで待っていたのは傍若無人の元気少女、惣流・アスカ・ラングレーだった。そして、彼女はこの艦隊で輸送されているエヴァンゲリオン弐号機のパイロットなのだ。そしてもうひとり、ミサトとかつて恋仲だった加持も、アスカの随行としてやってきていた。加持の出現に動揺するミサト。しかし、随行は表向きの理由で、加持はゲンドウからの別の極秘指示であるモノを運んでいたのだ。それを狙って第六の使徒・ガキエルが襲来。天才を自負するアスカはシンジに自分の実力を知らしめるチャンスとばかり、シンジを同乗させたエヴァ弐号機で、初めての使徒戦、それも水中戦に挑み、勝利する。ひと足先にネルフ本部に到着した加持は、ゲンドウに依頼されていたモノを渡す。それは「アダム」と呼称される胎児のような生き物だった。

ドイツのビルヘルムスハーフェンを出港し、一路日本へと向かうＥＶＡ弐号機と、そのパイロット。突然の使徒襲来は、起動した弐号機に初の水中戦闘を強いる。





授業中のパソコンのやりとりでパイロットであることを認めたシンジは、級友たちの質問ぜめにあう
初号機の落ちた場所の付近にトウジたちがいた

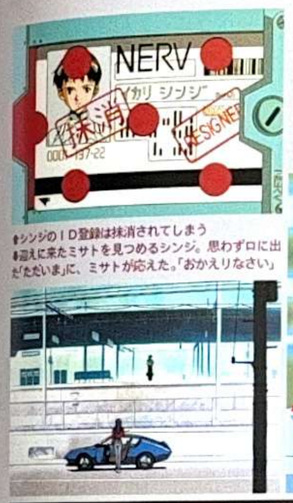


初号機の突き立てたナイフで、動きの止まるシャムシェル。初号機も作動を停止する

第参話
鳴らない、電話
A transfer

エヴァのパイロットとして自分の感情を押し殺してシミュレーションで訓練を積むシンジ。それと同時に、第３新東京市の中学に通い始めたが、２週間たった今でも電話をかけてくるような友人はいなかった。心配するミサトにリツコは、相手に自分のぬくもりを伝えたくても、互いに傷つくことを恐れてしまう「ヤマアラシのジレンマ」とシンジの状態が同じだという。そのころ、シンジのクラス内でのポジションは一転して人気者へとかわっていた。彼がロボットのパイロットだということがクラス内に知れ渡ったからだ。だが、先日のエヴァとサキエルとの戦闘で妹が負傷した鈴原トウジは、その怒りを鉄拳というカタチでシンジにぶつける。そして、早くも第四の使徒・シャムシェルが出現！　出撃したシンジは、光のムチに苦戦を強いられ、追いつめられる。その追い込まれた先には、シェルターを抜け出したトウジとその友人・相田ケンスケの姿があった。ミサトは２人をエヴァ内部に回収させ撤退させようとするが、シンジは「逃げちゃダメだ」のことばを繰り返しながら突進。捨て身の攻撃を仕掛ける。

新たな生活を、状況に流されるまま送るシンジに、友人が生まれるはずもなかった。だが、ＥＶＡのパイロットである事実は、彼を人気者にする。



シンジのＩＤ登録は抹消されてしまう
迎えに来たミサトを見つめるシンジ。思わず口に出た「ただいま」に、ミサトが応えた。「おかえりなさい」



バッグひとつで家出をしたシンジ。行くあてもないまま、ただじっとうつむき、電車の座席に腰かけている



シャムシェルとの戦闘後、命令違反を問いただすミサトに、シンジはまた冷めた表情で謝るだけだった。そのことを思い出しながら、ミサトは、シンジは戻らないかもしれないと考えていた

第四話
雨、逃げ出した後
Hedgehog's Dilemma

２度目の使徒との戦闘で、初めて自分の意志で勝利を収めたシンジだったが、それには何の感動もなければ喜びもなかった。ただ義務のみで闘うシンジは、その闘いに意義を見出せずに、自分の殻に閉じこもって過ごしていた。そして、シンジは遂にミサトのもとから家出してしまう。彼のことを心配する〈友人〉がすでにできているということも知らずに……。行くあてもなくさ迷うシンジ。オートリバースで音楽を聴きながら、環状電車を終電まで乗り続け、オールナイト上映の映画館で朝を待つ。次の日には、山の上から第３新東京市を見下ろす。２日間の放浪の間、通りかかる誰もシンジと接触することはなかった。しかし、その日暮れ、シンジは偶然ケンスケと出くわす。夜、同級生として会話をかわす２人。しかし、そこへネルフの諜報部員が現われ、慣け容赦なくシンジを連行していった。連れ戻されたシンジに、エヴァに乗る意志が無いことを確認したミサトは、ネルフを去るように促す。シンジが第３新東京市を離れる日、駅ではケンスケとトウジが待っていた。そして、ミサトも車を駅に走らせていた。

自分を克服できず、ミサトからも逃げ出すシンジ。だが組織は少年をあっさりと連れ戻す。そこにやさしいことばはなかった。





レイを助けたときに割れたゲンドウのめがねを、彼女は大切に持っていた
リツコに届けものを頼まれ、レイの部屋へやってきたシンジは、机に置いてあったためがねをかけてみる。振り向くと、そこに裸のレイがいた！
ラミエルの攻撃を受け、絶叫するシンジ。エントリープラグ内に警告音が鳴り響く



第伍話
レイ、心のむこうに
Rei I

回収された使徒を分析している仮設分析所を訪れていたシンジは、そこでゲンドウの姿を見かける。そのとき、シンジは父の手のひらに自分の知らない火傷の跡があるのを見つけた。それは３週間前の零号機の起動実験の際、暴走した零号機のエントリープラグに閉じこめられたレイを救うために、負った火傷なのだとリツコから聞く。父の意外な行動にとまどうシンジ。そして、お互いに柔和な表情で会話を交わしているレイとゲンドウの姿を見かけ、シンジは自分よりゲンドウの心に近い場所にいるレイの存在が気になるようになる。そして、傷が癒えたレイは再び起動実験を行ない、一応の成功をみる。ところがそこに、第五の使徒・ラミエルが襲来！　シンジは出撃したが、ラミエルから放たれた光線が初号機の胸部に命中する。

他人との接点を最小限にとどめ生きていく綾波レイ。彼女が心を開くのは碇司令だけだった。自分より父に近い少女に、シンジは惑う。





◆シミュレーションプラグテストのため、何度もボディークリーニングを受け、全裸になった3人



◆使徒に侵食された模擬体を厳しく見つめるミサト。リツコは模擬体からプラグを緊急射出させる

◆残り一秒のところで危機を回避したリツコ。マヤ内部に母が貼りつけていた大量のメモ書きがプログラミングに役だった

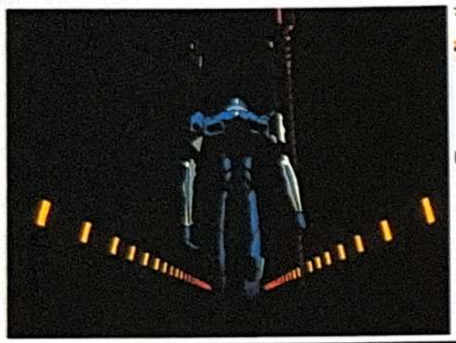
シミュレーションプラグの実験中に起こった事件。次々と侵されてゆく地下施設。ついに自爆決議を迫られるネルフ。

第拾参話

使徒、侵入

LILLIPUTIAN HITCHER

シミュレーションプラグのテスト中に、事件は発生した。ネルフ本部内へ初めて侵入する使徒ノ　それは細菌サイズの使徒・イロウルだった。次々に汚染されていくシグマユニット。使徒は猛スピードで進化を続け、遂にマギへの侵入を開始した。マギのコンピュータ3基のうち2基まで乗っ取られたリツコは、進化を促進させ、その終着点である"自滅"へ導く作戦を提案。作戦は間一髪で成功する。いつもは自分のことを語らないリツコだが、この日ばかりはミサトに母のことを話す。マギの3基にはリツコの母の、科学者、母親、女としての人格が分けて移植されていたのだった。





◆初号機のエントリープラグの中で、レイは「自分とは何なのか？」と自問自答する



◆暴走した零号機を目の前にしながら、レイは驚くこともなく冷静にその光景を見つめている

◆ゲンドウの言う「アダム計画」のため、零号機を動かすレイ。それはあくまで秘密裏のうちに行なわれていた

ネルフ、そして人類補完計画を裏で操る秘密結社ゼーレ。碇司令の行動は、その死海文書の実現に過ぎないのか。

第拾四話

ゼーレ、魂の座

WEAVING A STORY

イロウルのネルフ侵入を疑う委員会は特別召集会議を開き、ゲンドウを問いただす。しかし、ゲンドウはそれを否定した。そのころ、ネルフ本部ではエヴァ同士の模体相互互換試験が行なわれていた。レイと初号機のシンクロには問題はなかったが、続くシンジと零号機の試験では、エヴァが暴走。それは零号機からシンジへの精神汚染が原因だった。レイたちのいる制御室のガラスを殴り続ける零号機。その様子を見ていたミサトは、零号機がレイを殺そうとしたのではと疑念を抱く。一方、リツコは零号機が殴りたかったのは自分だと確信する。気絶から目覚めたシンジはあの天井を見つめていた。



◆ターミナルドグマの十字架にはりつけにされていたアダム



◆廃屋で中年の婦人から、マルドゥック機関の調査報告を受ける加持。組織の実体は依然つかめていない



◆結婚式後に寄ったバーで泥酔したミサトを、おぶる加持



◆シンジの母・碇ユイの墓。シンジがゲンドウと2人でこの場所を訪れたのは、実に3年ぶりのことだった

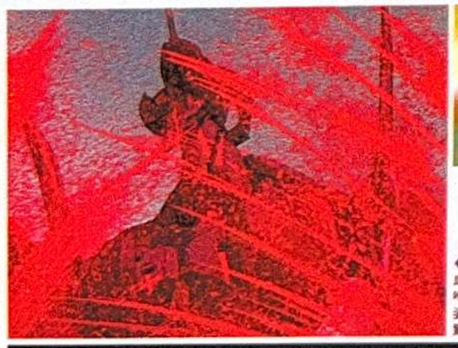
友人が次々と結婚していく中、ひとり旅りを感じるミサト。果たして、加持との再会は彼女に与えられたラストチャンスなのか。

第拾伍話

嘘と沈黙

Those women longed for the touch of others' lips, and thus invited their kisses.

京都で連絡員と接触する加持。その目的はネルフの内偵だった。次の日、シンジはゲンドウと母の墓参りに、アスカは義理デートに、ミサト、リツコ、加持は友人の結婚式に、と別行動をとる。ミサトは泥酔し、自分の弱さをさらけだした。そんなミサトに容を重ねて黙らせる加持。一方、アスカも、戻らないミサトたちに、自分の恋の終わりを感じとったのか、いたずらにシンジとキスをしていた。翌日、ミサトは加持の内偵活動の現場を押さえる。ミサトは、加持が内務省調査部所属のスパイであることを知っていたのだ。そして、加持がさぐろうとしていたもの、アダムを目撃し、衝撃を受ける。





◆シンクロテストで好記録を出したシンジをたたえるミサト。シンジに負けたアスカは悔しがる

◆生命維持モードの制限時間が限界に達する直前、幻に包まれたシンジは、母のことを思い出す



◆ブチ破られた使徒が血しぶきをあげる中、咆哮する初号機。その姿はリツコでさえも、驚愕せしめた

増長したシンジは、ディラックの海にとり込まれてしまう。残されたわずかな時間が、彼に絶望を教える。



◆ある夜、寝ぼけたアスカを目の前に、シンジはドキドキノ



◆トウジとケンスケが撮影したアスカの写真。2人はこれらを学校の男子たちに売りつけ、金もうけをする

◆やっつけたノと思いきや、2体に分離する使徒。この後、エヴァ2機とも、ブザマな姿をさらすはめに



◆2機のダブルキックが、みごと使徒の光球に炸裂!!



心がてんでばらばらのアスカとシンジは使徒にこてんぱんにのされてしまう。ミサトは2人の完璧なユニゾンを目指し、一計を講じた。

第九話

瞬間、心、重ねて

Both of You, Dance Like You Want to Win!

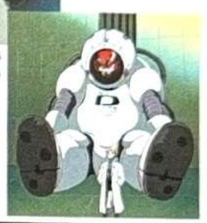
シンジたちと同じ中学に通いはじめたアスカは、一躍男子たちの人気者になっていた。そして、加持もネルフに残ることとなった。そんなとき、第七の使徒・イスラフェルが出現。弐号機の一撃で倒されたかに思えたイスラフェルは2体に分離し、エヴァ2機とも「犬神家の一族」のようにブザマにやられてしまう。再戦に向け、完璧なユニゾンを目指して同居させられるシンジとアスカ。なかなかうまくいかないアスカに対し、レイはなぜか一発でシンジと同調する。雪辱に燃え、必死の特訓を積んだアスカは完璧なユニゾンを達成。再戦に挑んだ2人は作戦を成功させ、使徒は爆発する。





◆浅間山地震観測所から異常の報告された。火口内の映像を見つめるマヤ、リツコ、冬月、青葉

◆作戦を任されたことで得意になるアスカを待っていたのは、とんでもなくカッコ悪い弐号機の姿だった



◆使徒を倒した後、立ち寄った温泉で、ミサトの胸の傷跡に気づくアスカ。「知ってるんでしょ。私のこともみんな」ポツリとつぶやく

羽化直前の使徒が眠る浅間山火口。ネルフは初の捕獲を試みる。極地仕様のEVA弐号機が灼熱の地獄へ挑む。

第拾話

マグマダイバー

MAGMADIVER

浅間山火口の中で、まだサナギ状態の使徒が発見された。それに対し、ネルフは初の先制攻撃――使徒の捕獲作戦を行なうことにする。作戦遂行にはアスカが任命された。火口内の猛烈な熱さに苦しみながらも、サナギのキャッチに成功したアスカだが、回収途中にサナギが羽化。第八の使徒・サンダルフォンが誕生してしまう。プログナイフでは歯がたたない強固な敵に、アスカは熱膨張の原理を利用。何とかせん滅に成功する。しかし、ケーブルが切れて沈んでいく弐号機。そのピンチを救ったのは、通常仕様のままマグマに飛び込んできた初号機。シンジだった。





◆リーダーシップをとりたいアスカは、先導するレイに突っかかる

◆弐号機がディフェンスをし、零号機が落ちたライフルを拾って渡し、初号機が撃つことになる

◆戦闘を終え、星空を見上げる3人



ネルフをこころよく思わない人々が、第3新東京市すべての電源を止める。近代設備が何も動かないネルフに使徒が迫る。

第拾壱話

静止した闇の中で

The Day Tokyo-3 Stood Still

ネルフ本部が理論上あり得ない停電に見舞われた。ネルフの回線を探ろうとした人間が故意にやったことらしい。折りも折り、第九の使徒・マトリエルが襲来ノ　ネルフ本部はゲンドウの提案により、人力によるエヴァ出撃準備を進める。一方、第3新東京市から徒歩で本部を目指していたシンジたちも、通りかかった日向の拡声器による警報で、使徒の襲来を知る。やっとの思いで本部に到着した3人は、さっそく出撃。だが、マトリエルは本部への直接侵入をはかって、エヴァの出撃カタパルトから強力な溶解液をしたたらせて来た。そこで、アスカがコンビネーション作戦を立案。迎撃に成功する。





◆セカンドインパクト時、14歳のミサトの命を救ったのは、家族から逃げてばかりいた父親だった

◆エヴァの配置はミサトの"女のカン"で決定。ミサトのクジ運のなさを知るシンジたちは不安げ



◆使徒を受けとめる初号機。大気が歪み、衝撃波が起こる。このときの衝撃により、初号機は大破してしまう

使徒せん滅に己の業をぶつけるミサト。そして語られる過去。だが、成層圏より飛来する最大の使徒は、人々に希望を捨てさせた。

第拾弐話

奇跡の価値は

She said,"Don't make others suffer for your personal hatred."

かつてない巨大な使徒・サハクィエルが衛星軌道上に出現した。使徒が本体ごとネルフ本部へ落下してくると予測され、ゲンドウ不在の中、ミサトはエヴァ3機でそれを受けとめるという作戦を命令する。成功の確率はほとんどない。シンジはスタンバイしながら、ミサトのネルフに入った理由「父の呪縛から逃げるために」ということばを思い出す。そして、使徒は降臨してきた。3体のエヴァはATフィールド全開でそれを受けとめ、奇跡を起こすことに成功。闘いを終え、父・ゲンドウにその活躍をほめられたシンジは、その夜、自分がエヴァに乗る理由を見つけたような気がした……。







第弐拾話

心のかたち人のかたち

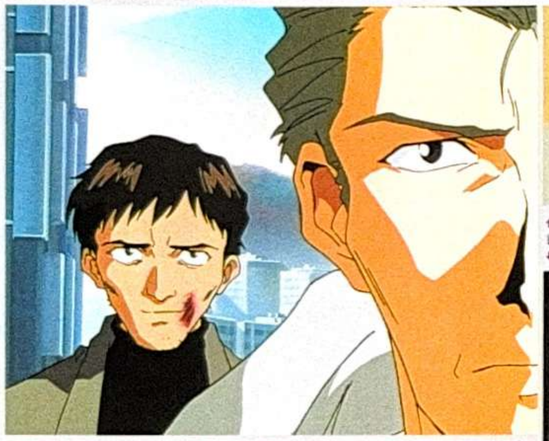
WEAVING A STORY 2: oral stage

ゼルエルとの闘いを終えたエントリープラグ内には、シンジの姿はなかった。シンクロ率400%の正体、それはシンジとエヴァの融合であった。再び自分の自我と向かい合っているシンジ。リツコたちはシンジのサルベージを計画するが、その計画はすでに10年前に一度実行され、失敗しているという。

だがついに計画は実行に移され、今回も失敗に終わる。からっぽのプラグスーツを抱きしめ号泣するミサト。そのころ、シンジは自分が生まれる前の両親の会話を聞いていた。そして、羊水の海のような中を泳いでいたシンジの前方には光が揺らいで見え…。ついに号泣しているミサトのもとへシンジは帰ってきた！　その夜、ミサトは場末のホテルで加持と会っていた。加持はベッドの上で、ミサトに何かのカプセルを渡す。

↟回収された初号機には包帯状のものが巻きつけられ、その上からゼーレによる封印が貼りつけられている
↠プラグ内をただようシンジは、初めてEVAと出会ったときのことを思いだす
↞失敗かと思われたサルベージ計画。そのとき、号泣するミサトの前に、裸のままのシンジが排出されてくる

EVAの覚醒により、人類は救われる。だが、シンジは取りこまれ、物理的融合してしまう。失敗する彼のサルベージ。号泣するミサトが見たものは？







↟ユイの死後、ゲンドウが連れてきた子供。それがレイだった。ユイそっくりの顔を見て驚くナオコ
↞加持は自分の死を予感し、暗殺者を待っていた

↟傷害事件を起こしたゲンドウは、自分の身元引き受け人として、一面識もない冬月の名をあげる

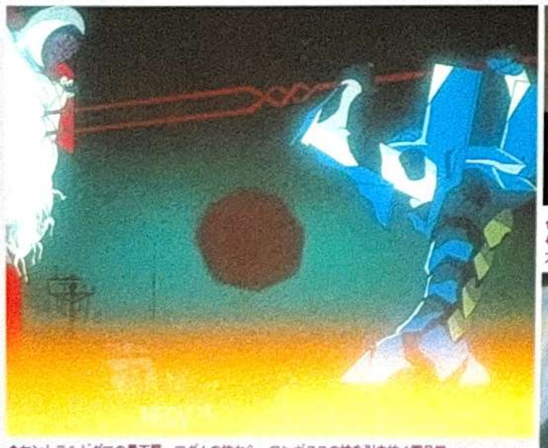
第弐拾壱話

ネルフ、誕生

He was aware that he was still a child.

ミサトのもとにネルフ諜報部員が訪れ、彼女を拘束する。冬月が何者かに拉致され、その首謀者が加持だと推測されるというのだ。加持を使って冬月を拉致させたのはゼーレだった。尋問をされながら、冬月は過去に思いをはせていた。1999年、大学で教鞭をとっていた冬月と学生だった碇ユイ、そして、六分儀ゲンドウ、後の碇ゲンドウとの出会い。2000年のセカンドインパクト。その後、独自にセカンドインパクトの真実を追っていた冬月は、人工進化研究所の所長となったゲンドウに再会する。そこにはユイと、リツコの母・赤木ナオコ博士の姿もあった。研究所の地下の巨大空間でアダムと呼ばれる巨人を見せられ驚愕する冬月に、ゲンドウは「オレたちといっしょに人類の新しい歴史をつくってみないか」と誘いかける。さらに、ユイの謎の死、赤木博士の自殺を経て、ネルフは誕生した……。やがて、加持が冬月を救出するが、それは彼の命取りとなってしまう。拘束を解かれたミサトは帰宅し、加持からの留守番電話で彼の死を察する。号泣するミサトに対し、シンジはその場から逃げることしかできなかった。

ゼーレにより拉致される冬月。その脳裏を横切る過去の記憶。1999年の京都からすべてが始まった。ネルフは果たして人類の砦たりうるのか。







↟母親の葬式でもアスカは泣かなかった
↞使徒の放つ光に弐号機が包まれたとき、アスカの心の中になにかが侵入してきた

↟セントラルドグマの最下層。アダムの体から、ロンギヌスの槍を引き抜く零号機

第弐拾弐話

せめて、人間らしく

Don't Be.

使徒に完全な敗北を喫したことやシンジへの劣等感から、シンクロ率が低下する一方のアスカ。幼いころ、実の母の自殺に遭遇して以来、ひとりで強く生きると決めていた彼女にとって、敗北は許されないのだ。そんなとき、衛星軌道上に十五番目の使徒が出現する。ミサトはレイのフォローに回るよう、アスカに命じるが、それはアスカのプライドが許さなかった。独断で先行するアスカに、使徒・アラエルは精神攻撃を仕掛ける。それは今の彼女にとって、もっとも大きいダメージを受ける攻撃だった。精神波長を探られ、幼少時の触れられたくない記憶をのぞかれ、泣き叫ぶアスカ。零号機の大出力ポジトロンライフルも、ATフィールドに弾かれ効果がない。そこでゲンドウは残された最後の手段、ロンギヌスの槍の使用をレイに命令。零号機の投げた槍は宇宙空間まで達し、ATフィールドごとアラエルをつらぬく。使徒は消滅した。だが、心を犯されたうえに、もっとも助けてもらいたくない相手に助けられたことで、アスカのプライドは完全に崩壊してしまった……。

シンジに負けたことで、精神の落とし穴に落ちこむアスカ。さらに使徒の放つ精神攻撃が、彼女の心にとどめをさす。シンジはアスカに、なぐさめのことばをもたなかった。





↟佳休みに校長室へと呼ばれたトウジは、そこで自分がフォースチルドレンに選ばれたことを知る

↟シンジたちが帰ったあと、レイは生まれて初めてロにした感謝のことばを、胸の中でくり返す
↞加持の育てたスイカ畑を見て驚くシンジ



第拾七話

四人目の適格者

FOURTH CHILDREN

トウジの妹はまだ入院生活を送っている。足しげく面会に出向くトウジは、病院でも妹思いの兄だと評判だった。一方、ネルフには驚くべき連絡が入る。北米大陸のネルフ第二支部が、エヴァ4号機とともに消滅したというのだ。そして、米国で開発中のもう一体のエヴァ、すなわち3号機をネルフ本部で引き取ることが決定。ダミープラグによる起動はまだ不完全なため、さっそくテストパイロットとして4番目の適格者がピックアップされる。そのパイロットを知り、困惑するミサト。一方、過番のトウジはシンジをつき合わせて、レイの部屋へプリントを届けに行く。散らかった部屋を片づけるシンジを見て、以前に比べてシンジに余裕が出てきたと感想を述べるトウジ。そこへ帰宅したレイは生まれて初めて「ありがとう」という感謝のことばを漏らす。あまりにもタイミングよくフォースチルドレンが見つかったことに、何か裏があるとにらむミサト。詰め寄られた加持は、マルドゥック機関は存在せず、陰で操っているのはネルフそのものであることを告げる。そのころ、トウジは校長室に呼ばれていた。

アメリカで建造中だったEVA4号機が、ネルフ第二支部ごと消失する。この事件が、新たなEVAパイロットを選出させる。







↟1号機のプラグには使徒の触覚がまとわりつき、射出もできない
↞初号機のモニターにプラグから運び出されるトウジの姿が映る

↟巨人機で輸送されてきたEVA1号機。輸送途中に通過した積乱雲の中で、すでに使徒に寄生されていた

↠トウジに対するひそかな思いを告白するヒカリ。相談を受けたアスカは、自信のなさそうなヒカリを励ます

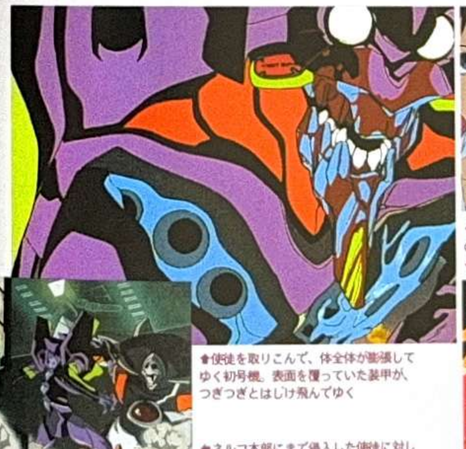
第拾八話

命の選択を

AMBIVALENCE

トウジの様子がおかしい。いつもとどこか違うのだ。心配するシンジたち。また、シンジはエヴァ3号機のパイロットが誰なのかも気になっていた。一方、アスカはトウジがパイロットだと知っているため、不愉快極まりない。そんなアスカに、ヒカリは自分のトウジへの想いを告白する。そして、3号機の起動実験が始まった。だが、3号機は第13使徒・バルディエルに乗っ取られてしまう。大爆発を起こす松代実験場。使徒に操られてコントロールを失った3号機を迎撃するため、3機のエヴァが出動する。しかし、零号機、弐号機は黒いエヴァンゲリオンに敗退。残るシンジは、3号機に搭乗しているパイロットを気遣って攻撃できない。追い込まれた初号機に、ゲンドウは強制的にダミープラグの切り替えをほどこす。ダミープラグの攻撃は圧倒的なものだった。自分の乗ったエヴァに無残に破壊されていく3号機を見て、呆然となるシンジ。初号機を停止させようと必死になるが、それはまったくの無力だった。そして、やっと初号機が停止し、3号機のパイロットがトウジだと知ったシンジは絶叫する。

アメリカから、起動実験のためEVA3号機が松代に届く。人々は明日の惨劇も知らず、最後の日常を謳歌していた。







↟使徒を取りこんで、体全体が膨張してゆく初号機。表面を覆っていた装甲が、つぎつぎとはじけ飛んでゆく

↞ネルフ本部にまで侵入した使徒に対して、必死でとびついてゆくシンジ。左腕を失いながらも、取っ組み合いは続く

↟ゲンドウのもとから立ち去ろうとするシンジ。その背中に「また逃げだすのか」という声がかかる
↞両腕を切断された弐号機で使徒に突進するアスカ

第拾九話

男の戦い

INTROJECTION

ついに感情むき出しで怒りを表すシンジ。エヴァ内部で抵抗を試みるが、あっさり強制排除されてしまう。みずからエヴァから降りることを決意し、第3新東京市を後にしようとするシンジ。そこにミサトはシンジの積極的な意思を感じとっていた。そんなとき、かつてない圧倒的な強さを誇る使徒・ゼルエルが襲来する。出撃したアスカの弐号機はたちまち惨敗。レイは零号機でN²爆弾による特攻までも試みるが、ダメージさえ与えることができない。シンジは加持とその様子を目撃していた。加持から、このままではサードインパクトが起きると聞いたシンジは、初号機のもとへ走る。そしてついにみずからの意志でエヴァに搭乗。発令所のミサトの眼前にまで迫った使徒を地上に引きずり出すことに成功するが、そこで活動限界がきてしまう。ゼルエルは初号機の胸部を執拗に攻撃。そこからは使徒と同じ赤い光球が出現した。絶叫し続けるシンジにエヴァはなぜか再起動する！　シンクロ率は400%を超え、圧倒的な力で使徒をねじ伏せるエヴァ！　そして、慣じられないことにエヴァは直接、使徒を喰い始める。

シンジはついに、みずからの意志でEVAを降りる。しかし、彼に関係なく侵攻する最強の使徒が、次の惨劇を生むのだった。

【NEON GENESIS MOVE!!】

企画書

「新世紀エヴァンゲリオン」は、監督の庵野秀明自身で企画した完全オリジナルＴＶシリーズである。従っていわゆる人気連載漫画原作も、スポンサーサイドや代理店から用意された基本デザインや、アイテム（関連商品）発売スケジュール等は全く存在しない。

ゆえにこれは単なる「設定資料集」ではなく、過去の作品と大きく異なる内容である「セールスポイント」をスポンサー及び代理店等にアピールし、プレゼンテーションする（売り込む）ための「企画書」として、種々のキャッチ&キーワードが（いささか誇張気味な部分も含めて）オールカラーイラストによる世界観とストーリー構成案と共に、使用されている。

この「企画書」そのものが一個の「原作」として成立している事が、「新世紀エヴァンゲリオン」最大の特徴である。

（ＧＡＩＮＡＸ広報部）

企画意図

巨大ロボットアニメの魅力とは？

「巨大ロボットアニメ」は、子供たちの潜在欲望の現れであります。
つまり、「巨大ロボットアニメ」とは、
子供達の持つ色々な
抑圧やコンプレックスの補償、挑戦の手段、代償行為なのです。
大人達は、「人が生きることのつらさ」を知っています。
と、同時に「人が生きることのおもしろさ」をも知っています。
生きるために、例え（嘘）だとわかっていても
「正義と愛」という（夢）や（希望）が必要なのだ、と知っています。
私たちはアニメーションという表現手段の特色、つまり
全ての人の願いた「嘘」であるという世界観を生かしたことにより
子供達に遠慮と配慮との邪魔もなく、ピュアに伝えることができるのです。
それが「巨大ロボットアニメーション」の持つ最大の魅力です。



本企画は、この観点にさかのぼって、
未来の「巨大ロボットアニメ」の魅力を、
新たに盛り込む所に主眼をおいた、企画書です。

3

時に、西暦2015年
生物として、もはや進化の行き詰まった人類を救世すべく
発動した「人類補完計画」
その計画を阻止すべく襲来する、正体不明の巨大戦闘兵器群
「使徒」
「天使」の名を冠する彼らは、果たして
「神々の使い」なのであろうか？

「使徒」に匹敵できうる巨大な力を手に入れるべく、人類は
汎用人型決戦兵器「エヴァンゲリオン」を開発
１４年後の今、すでに３体を実用化していた

だが、「エヴァ」の搭乗を人々は
「１４歳の少年少女達」に委ねざるを、得なかったのである

人類の存亡を背負う少年たちの戦いが、今、始まる

題　　名	新世紀　エヴァンゲリオン
	NEON GENESIS EVANGELION
種　　別	ＳＦアクション連続大河テレビアニメーション
形　　式	毎回３０分
	全２６話（２クール）予定
視聴対象	小学生、中学生を中心に家族一般
企画・原作	ガイナックス
キャラクター・デザイン	貞本義行
メカニック・デザイン及び	
コンセプト・デザイン	山下いくと
脚本・監督	庵野秀明

2

NEON GENESIS
EVANGELION

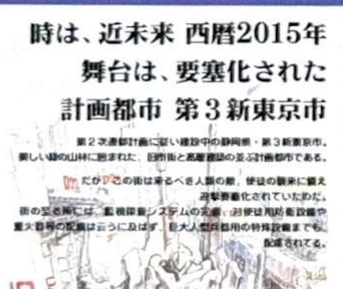
極秘

TVアニメーションシリーズ
新世紀
エヴァンゲリオン（仮題）
企画書 TOP SECRET
GAINAX

1

時は、近未来 西暦2015年
舞台は、要塞化された
計画都市 第３新東京市

第２次遷都計画に従い建設中の静岡県・第３新東京市。
美しい緑の山林に囲まれた、近郊街と高層都市の並立計画都市である。
だが、この街は来るべき人類の敵、使徒の襲来に備え
対空要塞化されていたのだ。
街の至る所には、監視防衛システムの完備、対使徒用陸戦設備や
重火器等の配備は云うに及ばず、巨大人型兵器用の特殊設備までも、
配備される。



その地下深く、秘密裏に造られたジオフロント（大深度地下都市）
人工進化研究所
人の未来を担う人類補完計画は、この地にて極秘に進められていた。
この特殊な街を背景に、物語は語られていく。

6

ストーリー・ドラマ的な見せ場

謎解きのおもしろさ

本企画のドラマやには、謎性的なキャラクターたちの日常描写に加えて「巨大不明の敵「使徒」を巡って、謎々の上手な要素あふれる謎や疑惑が用意されている。本編は主人公の少年が、何も知らない所から、物語に巻き込まれていく。つまり観客は、同一視する主人公と共に、いろいろな謎を知り、疑惑と謎解きをしていくのです。

もちろん、物語の先には、驚天動地の「意外な事実」や「大どんでん返し」等が用意されています。

ゲーム感覚的なおもしろさ

本企画では各種ゲーム的な要素が、不意なく入れられています。

例えば、

日々を生きるために自動的に、毎日の生活時間、食べものの摂取ごと、
状況に合わせた衣服や武装の選択、施設各所に設けられた敵本部地の発見と侵入、等のシュミレーションやRPGゲームがあらしろう。

加えて、

敵側の人型兵器による攻撃時、主役以上の戦闘機、ウラナイ（占う）戦術、
機体の装備や武器、それにあらゆる一般戦いやすきがあらしろ、自ら人の格闘術、
特殊マシンまで一挙盛り上げる、知識型マシンまで、
シューティングやアクションゲームが好きな人もまんべんなく楽しめやすく。

ビジュアル的な見せ場



超科学兵器のイメージあふれる、設定的基礎３。
巨大兵器のメカニックも数点あふれる、造型プロセス。
秘密裏に設けられた秘密発進口の素材点あふれる、発進プロセス。
激突する巨大兵器同士の迫力あふれる、ダイナミックな戦い。
人類の敵ともする巨大人型兵器のスピーディで重量感あふれる、動き。
「使徒」の人型にこだわらないバラエティあふれる、武器とデザイン。
近接戦闘時間が短かめな巨大人型兵器あふれる、緊迫感あふれる、
危機に陥る主人公、手に汗握る、波乱クライマックス。
大迫力。
最後に、カタルシス。

本企画では、今までのアニメに無い
「カッコいいリアリティのある戦闘画面」を目指します。

5

全体を通してのテーマ

主人公はどこにでもいる、ごく当たり前の少年

従来の巨大ロボットアニメーションでは「ロボットに乗り込む少年」はめずらしくもありますが、その子達に個性を持たされていません。
その特殊なヒーロー性に手法はよく分かれ、自分と同一視してきました。

だがしかし、
ある日突然、ふつうの14歳の彼の手が「巨大な力」をうよくも、使わされ得ざる、
大人の世界に投げ込まれ、大人になることを強要されたら……
これが私たちが主人公と考えたシンジというキャラクターです。
主人公は巨大ロボットの中うち得戦場の中で、果し寺社、そして日々の戦いの中にいる、
今すぐ、自分は何をなすべきか？ ということを、です。
そして、
「今、自分は何をなすべきか？」ということを、です。

主人公は「子供以上、大人未満」

主人公は、14歳（中学２年生）。
この時期は反抗期であり、思春期であり、自我を形成する最終的な時でもあります。
つまり主人公の少年は、今、子供と大人の狭間にいるのです。
当然、彼ですら数ごとに他ごとばいの中、大人の都合、大人たちの自意識に振り回されて行きます。
それに複雑な精神の中でもがている、周囲の私たちも彼大人の姿とダブります。
主人公の少年は、自分が一人では何もできない子供だと知り、悩みを乗り越えを重ね、成長していくのです。
本来、大人たちや子供たちに与えなければならないのは、
「自分の意思」や「ひとりだってできる」等ではなく、
社会や自然を取りまくものとのかかわり合いです。
しかし、今、子供たちはテレビの前で一人遊びすることでまでも、個人的な中では何もできません。
他のモノへの依存度が強く、マニュアル無しでは、どうすれば良いのかわからないのです。

子供たちは、プレッシャーだらけの「現実」の中で、自分一人では
何もできなくなっています。
このままで、良いのでしょうか？

私たちは、観客である子供たちが本企画・アニメーションという
「夢の中にある現実」を通て、
「自分の意思で生きること」とは何かを感じ取ってほしい、と願っているのです。

また私たちは、子供たちが成長し大人になったとき、
自らの「理性」で「現実の対義と愛」を考えてみてほしい、と願っているのです。

4







◆自分のシンジに対する欲求が、使徒の攻撃となって初号機を襲う。レイは瞬時にそれを悟った

◆レイの無事を知って、病院にかけつけたシンジ。だが、レイはまるで別人のようだった

◆セントラルドグマの最深部にある実験場。その水槽の中には、レイと同じ顔をした多数の物体が浮かんでいた

第弐拾参話
涙
Rei III

第十六番目の使徒・アルミサエルが襲来。零号機で出撃したレイは、接触してきた使徒によってその体を侵食されてしまう。だが、アスカはどうしても弐号機を動かすことができない。凍結が緊急解除された初号機で救出にむかうシンジ。そのときレイは、使徒が自分の願望によって制御されていることに気づく。シンジをかばうため、自爆の道を選ぶレイ。そして第３新東京市を包みこむほどの大爆発が起こり、使徒とともに零号機は消滅した。しかし、レイはふたたびシンジの前に姿を現わす。ゲンドウに裏切られたリツコは、不審に思うミサトとシンジに、衝撃の事実を語るのだった。

使徒にとりつかれ、犯されていく零号機。その侵食からシンジを守るため、レイはみずからの死を希望する。第３新東京市とともに光と熱となり、彼女は消えた。





◆カヲルに裏切られたと思ったシンジは、くやしさに高ぶる感情のままにカヲルを追いかけてゆく

◆カヲルは死を望んでいたというミサトのなぐさめにも、シンジの苦悩は軽くなることはなかった

◆追いかけてきた初号機とシンジを見て、カヲルは微笑んだ

◆カヲルは人類補完委員会が直接送りこんできた子供だった

第弐拾四話
最後のシ者
The Beginning and the End , or "Knockin' on Heaven's Door"

廃墟と化した第３新東京市。そこでシンジはひとりの少年と出会う。彼の名は、渚カヲル。アスカに替わるパイロットとしてやってきたフィフスチルドレンだった。カヲルに好意を感じるシンジ。だが、その正体は人型の使徒だった。アダムに向かってセントラルドグマを降下してゆくカヲル。裏切られた思いを抱えたまま、シンジは初号機でそのあとを追う。激しい闘いの末に、初号機の手がカヲルを捕らえた。そのとき、使徒であるはずのカヲルは、シンジに意外なことばを投げかける。「さあ、僕を消してくれ」と……。長い沈黙のあと、シンジは目をふせたままレバーを握りしめる。

町が消え、友人が去り、傷心のシンジに少年が微笑む。彼のさわやかな風のような笑顔にとけこむシンジ。だが、彼らには苛酷な運命がしくまれていた。







◆苦悩するシンジは、空想の中でレイに語りかける。しかし、レイは何も応えてはくれなかった

◆壁に血の跡を残して倒れているミサト

◆シンジが今見ているのは、誰も救われない世界。その現実を見たくないシンジは、心の声から逃げようとする

第弐拾伍話
終わる世界
Do you love me?

自分の手でカヲルを殺してしまったという罪の意識にさいなまれるシンジ。使徒だったから殺したのか？　カヲル自身が死を望んだからなのか？　自分はなんのためにＥＶＡに乗るのか？　みんな他人のために闘っているのか？　さまざまな疑問がシンジの心にわきあがる。プライドを失ったアスカは、心を閉ざしてしまった。ミサトは幼いころの心の傷に目をふせたまま生きている。彼女たちはなにを望んでいるのか。そしてレイもまた、自分の中の自分との討論を続けていた。そんな彼女をゲンドウが辺えにくる。「今日、この日のためにお前はいたのだ」と……。そして、人類の補完が始まる。

最後の使徒は消えた。だが、シンジは苦悩する。そして、ミサト、アスカも心を吐露する。人々に救いを求めながら、これも、終局のひとつの形であることを認めながら。



そして、全ての子供達に
おめでとう







◆祝福され微笑むシンジ。それこそが補完されたシンジの姿だった

◆シンジの世界が広がったとき、その周囲にはたくさんの友人や知人の姿があった

◆トーストをくわえたまま走るレイ。ある世界では、彼女もまったくふつうの少女だった

◆ギャグマンガのようなタッチで描かれるアスカの顔。これもまたひとつの世界

第弐拾六話
世界の中心で
アイを叫んだけもの
Take care of youself.

人類が失ってしまったモノ。それを取り戻すこと、すなわち補完。ときに西暦2015年、人類補完計画は遂行された。そして、シンジの心の補完について語られる。シンジの心の中にいる、現実とはまったく別のシンジたち。ＥＶＡなど存在しない、平和な日常が営まれている世界。それもまた、シンジの可能性のひとつだった。それに気づいたシンジは、自分の拒否した現実も悪くないかもしれないと思う。そのとき、シンジをとりまく世界が広がった……。

終局。それは始まりのあとに、必ず訪れる。私たちの願いは、破滅へと連なるのか。私たちの希望は、死そのものなのか。



葛城ミサト1尉
29歳　女

シンジの直接の上司、と云うよりは保護者的なお姉さん
特務機関「ネルフ」の作戦担当で彼に責任者、指揮は一切。

わりと楽天的、おまけで寝相とは言えないが、芯はしっかりしている。
重圧現実が常に出やすいタイプで、シンジとは気が合う。
一度の酔いには子供っぽい女性。
酒みに行くか、部屋でゴロゴロしているのが趣味。男の前では、着物と眼鏡。

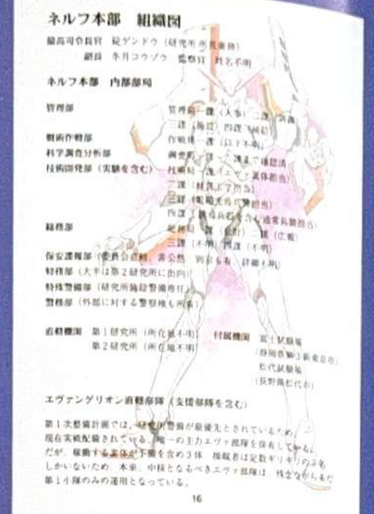
18



主な登場人物紹介
碇シンジ　14歳　男

この本編の主人公
巨大人型兵器「エヴァンゲリオン」初号機の専属操縦者
中学2年生、少しおくびょうな優等生。
他人には関わることに中学2年を守っていたが、本編中での様々な事件により
成長する。
母親は彼が3歳のときに病死、父親とは離れて生活していた。
彼と彼の母親する「エヴァンゲリオン」初号機との関係に、実は重大な秘密が
隠されている。

17



ネルフ本部　組織図

最高司令官兼官　碇ゲンドウ（研究所所長兼務）
副官　冬月コウゾウ　監察官　姓名不明

ネルフ本部　内部部局

管理部
　管理局　課（人事）　課（会計）　課
　課（施設）　課（広報）　課（秘書）
作戦部　課（以下不明）
技術部
　開発課　課（エヴァ）　課（通信）　課（諜報）
　科学課　課（実験を含む）　課（エヴァ）　課（装備担当）
　課（技術開発）　課（エヴァ）　課（整備担当）
　課（技術開発）　課（エヴァ）　課（整備担当）
　課（技術開発）　課（エヴァ）　課（整





The Official Art of EVANGELION

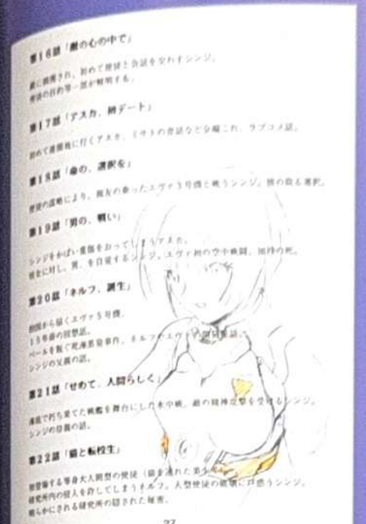












第16話「扉の心の中で」

第17話「アスカ、時デート」

第18話「命の、選択を」

第19話「男の、戦い」

第20話「ネルフ、誕生」

第21話「せめて、人間らしく」

第22話「鏡と転校生」



第9話「瞬間、心、重ねて」

第10話「静止した、闇の中で」

第11話「マグマ・ダイバー」

第12話「18秒の奇跡」

第13話「恐怖の後に来るものは」

第14話「死に至る病、そして」

第15話「シンジ、ふたたび」

第2話「覚醒らめ、反時」

第3話「初めての下EL」

第4話「14歳、始まりの日」

第5話「レイ、心のむこうに」

第6話「決戦、第3新東京市」

第7話「人の、造りしもの」

第8話「アスカ、来襲」



地上発進口へと
高速輸送中の、エヴァ
作戦に合わせた最適の位置から
発進するために、輸送用の地下
トンネルが造られている。
高度の大型バイロンを使用して
リニア レールを高速移動。
トンネルは2層式で 下は単速
となっている。

戦場となる第3新東京市
ビルに偽装されている専用ライ
フルを手に、作戦部の指を通じ
初号機、我に見えるのが、同通
用の大型両用機。通路はエヴァ
の重量を支えるため、ブロック
状のアブソーバーになっている。
このように重層化された街の要
所要所には、各種兵器や予備エ
ネルギーパック、充電用の大型
ソケット等が、非常時に備え配
置されている。

イメージボードによる ビジュアル的な見せ場



使徒・ラミエル
全長300メートルの巨体を宙に浮かせて、第3新東京市上空に現れてくる。
最大の武器は、射程距離20キロを誇る、全方位陽電子ライフル。
その能力は、一時でエヴァの装甲を貫通する。ちなみに、これはネガフィルム。



出撃準備中の
エヴァ初号機
指揮者はこのコックピ
ットンソケーターの端か
ら格納庫へ乗り込む。
格納庫でのエヴァは様
々な神経をとるために、
格納庫の大型バイロンを
各部のガントリーか
ら伸ばして接続されている。

第23話「人類補完計画」

第24話「今、望むの時」

第25話「アルカ、分岐の道」

最終話「たったひとつの、冴えたやり方」



以上が、本企画の概要です。

このように私たちは、
システムの中の人間、組織と人間の有り様
を描きます。

最近、社会全体で失われつつある、他人とのコミュニケーション。
家族や組織（学校）内での人間関係が、今や崩壊しようとしています。
脚本は、主人公の目を通して、家族、友人、大人、社会との
コミュニケーションとは、何なのか？ を考えていきます。
子供たちは、もはやマンガとゲームの中でしか、社会的偏在体験を知りません。
だからこそ、本アニメーションを観て、マンガやゲームでは味わうことの
出来ない「人の通なり」や「感動」等、フィルムならではの「おもしろさ」
を知ってもらいたい、と考えています。

また、私たちは、
新新なイメージで、巨大ロボット同士の戦闘
に挑戦します。

不可視光のスペクトルレーザーや高周波ナイフ、性状を破壊できる最強の武器
「ロンギヌスの槍」等の、多彩な新兵器。
高層や伝統等の美しい日本の自然や特殊な街を多用されるナイトシーン等の、
新しい舞台。
アニメーションが持つ動きの 気持ち良さ。
これまでにないビジュアルイメージを持った戦闘シーンの数々。

私たちは、
90年代後半にふさわしい
新たな時代のロボットアニメーション
を目指しているのです。

企画・原作　株式会社ガイナックス 極秘



装甲版と装備を
強制排除する
エヴァ初号機
パージされたパーツの
様子から「実体」と呼
ばれる本体が見える。
人工脳内等生での機
能は電力により稼動。
エヴァは単なる兵器
運用としては造られる
わけではない。
20年後のリアルな
近未来都市を背景に
繰り広げられる、少
年たちと大人たちの
ドラマの、重要な鍵
となっている。





初号機弾ラインBバージョン　同左 Cバージョン



第3新東京市上空を舞う、
使徒・ラハウィエル
ここまでも神の名事兵器をも超越する
神秘的生命体。強烈の体が、
強力の武器。
それによって、生物されたレーザーが、
次にエヴァを襲うことになる。
中央に見る球状の物体が、制御本体と
思われる。



新たなイメージ ナイトシーンでの戦闘

THE FOURTEEN YEARS OLD

【3rd Children】
シンジ

【1st Children】
レイ

【2nd Children】
アスカ

【4th Children】
トウジ

【5th Children】
カヲル

【Chair woman】
ヒカリ

【Lovely Penguin】
ペンペン

【Military Fan】
ケンスケ

THE ADULTS IN NERV

【Tactician】
ミサト

【Commander】
ゲンドウ

【Sub-Commander】
冬月

【The Head of Seele】
キール

【Spy】
加持

【Technical Expert】
リツコ

うふぅ♡

ふむ…

オペレーターズ

【Operator】
マヤ

【Operator】
日向

【Operator】
青葉

先生

ネルフ作業員

時田

国連軍司令官

空母艦長・副艦長

EVANGELION VS ANGELS

【Test Type】
初号機

【Naked Body】
素体

【Proto Type】
零号機

【Production Model】
弐号機

【4th Angel】
シャムシェル

【3rd Angel】
サキエル

【5th Angel】
ラミエル

【7th Angel】
イスラフェル

【6th Angel】
ガギエル

【14th Angel】
ゼルエル

【10th Angel】
サハクィエル

【13th Angel】
バルディエル（３号機）

【9th Angel】
マトリエル

MECHANIC & WORLD VIEW

プログレッシブ・ナイフ

ソニック・グレイブ

パレットガン

ポジトロンライフル

J.A.
(ジェット・アローン)

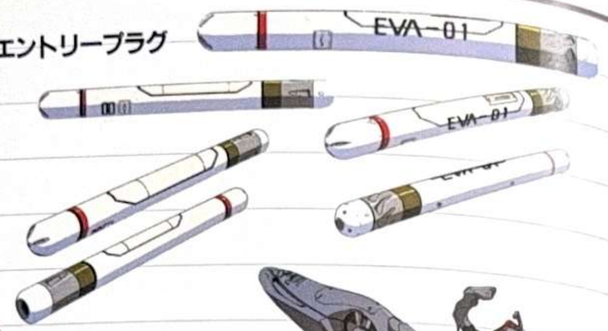
エヴァのコンセントとコード

エヴァ輸送台・
拘束具

エヴァ用乾電池



エントリープラグ



防護服

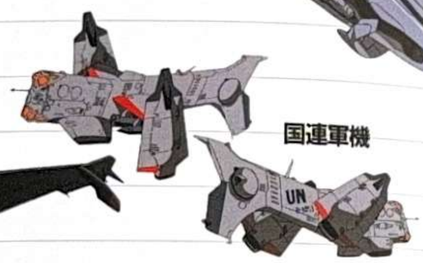






アルピーヌ・ルノーA310(改)





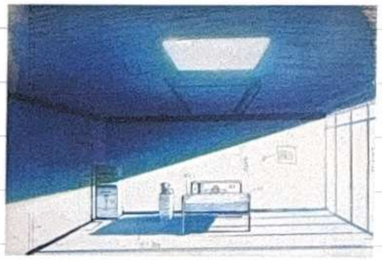
国連軍機



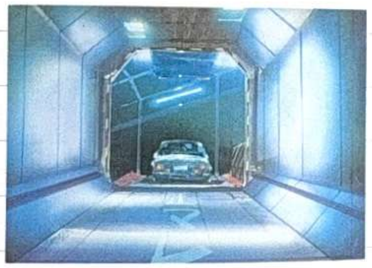
エヴァ輸送機



選挙カー

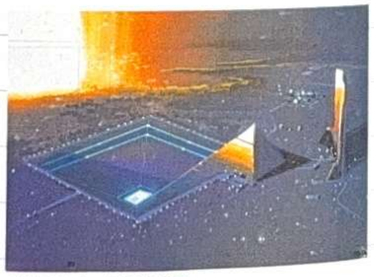






















シンジが目覚める病室（2話ほか）

ネルフ本部・中央作戦司令室

カートレイン駅・ネルフ本部入口

シンジが自分と対話する電車内（16話ほか）

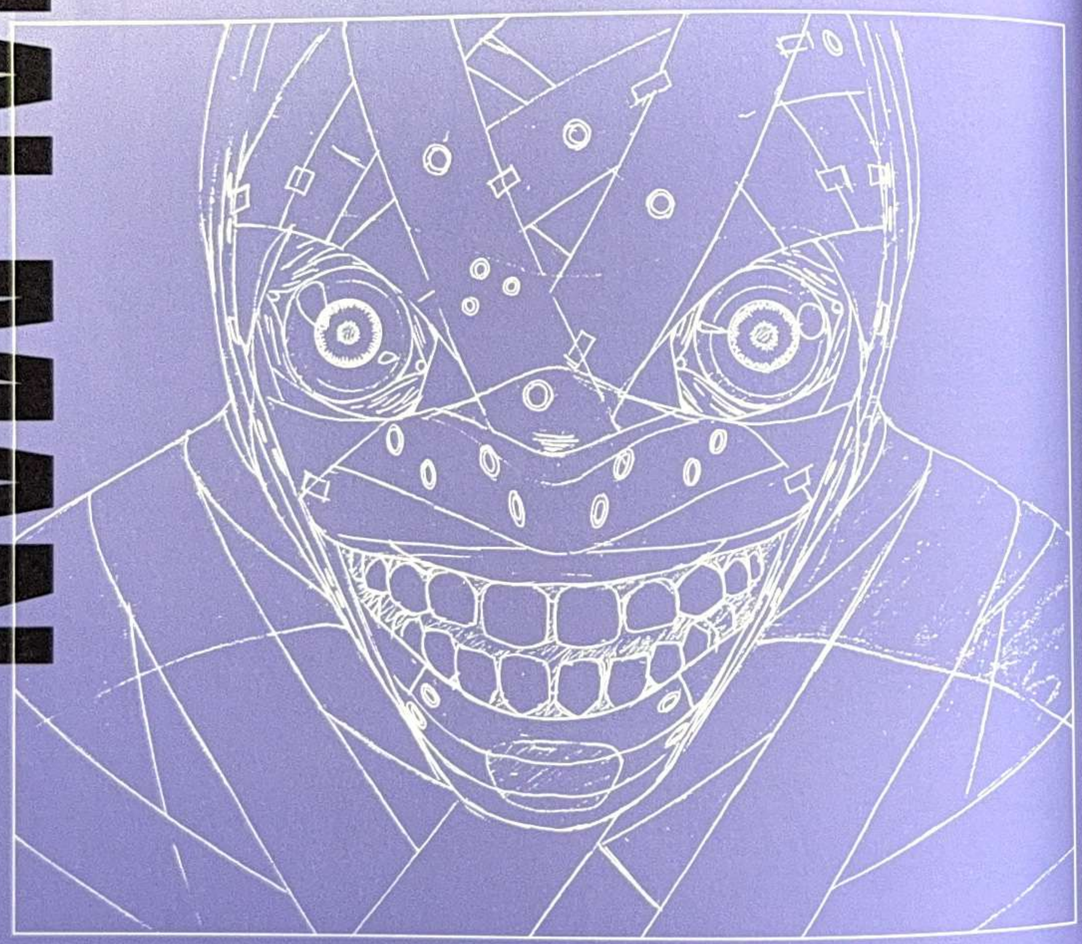
ミサトの住むマンション・廊下（3話ほか）

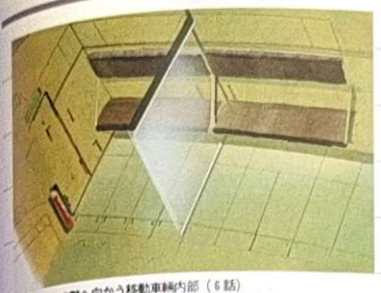
ジオフロント・ネルフ本部外観

エヴァンゲリオン

The Official Art of EVANGELION

ARTIFICIAL MAN





↑ラミエル攻撃へ向かう移動車輌内部（6話）



↑シャムシェルを調査するための仮設建造物内部（5話）



↑サキエルの攻撃で爆発するジオフロント内天井ビル（1話）



↑セカンドインパクト時の南極。衝撃で折れ曲がった鉄塔（12話）



↑シンジ、アスカ、ミサトが便乗せん滅後、立ち寄った温泉宿（10話）



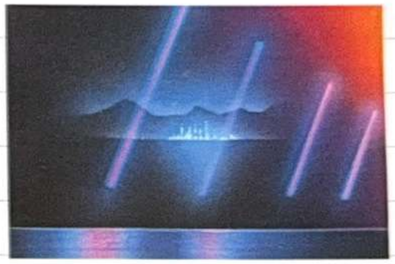
↑弐号機がガギエルによって引き込まれる海中（8話）



↑トウジがゴミを焼いていた第壱中学校校舎裏の焼却炉付近（17話）



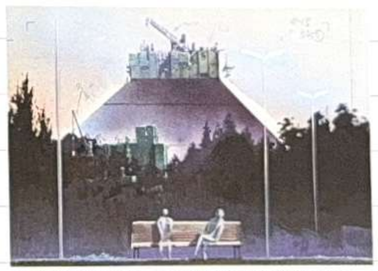
↑夜、第3新東京市上空に浮かぶレリエル（16話）



↑ミサト、リツコ、加持が結婚式の帰りに寄ったバーの窓（15話）



↑昼、ヒカリの家の外観（22話）



↑修理中のネルフ本部前。ミサトと日向が話していた場所（22話）



↑夜の松代。機能停止した初号機と生存者救出用車輌たち（18話）



↑湖につかった兵装ビル群、夕景（24話）



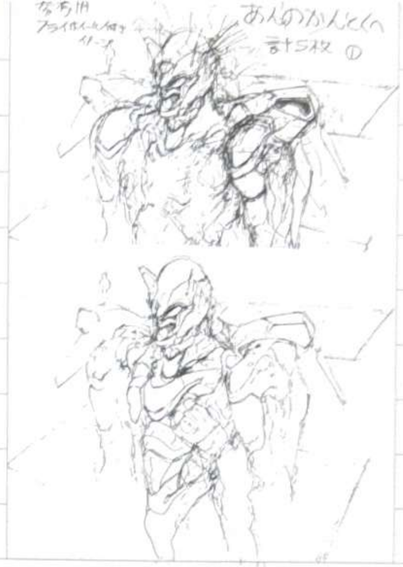
↑セントラルドグマ内、レイの生まれ育った部屋（21話）



↑零号機の自爆跡、上空から見た図。立ちつくす初号機（23話）

初号機
EVA-01 TEST TYPE

E計画という名称で開発されたエヴァシリーズの零号機に続いて建造されたテストタイプで、サードチルドレン・碇シンジが搭乗する、ゲンドウが他の2体と区別して扱っていることから、初号機が特別な存在であることは間違いない。ここでは、物語の核ともいえる初号機のデザインが完成するまでを追ってみた。



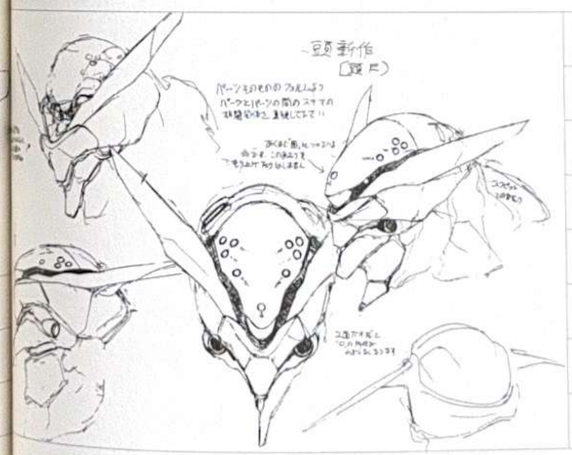
➡山下デザインの第1段階。丸みを帯びた頭部、複雑な胸部装甲など、また現在のエヴァとはかけ離れたイメージ。だが、つり上がった眼などの凶暴な雰囲気は、初期のころからずっと継承されている



➡下は、ツノを顔の前面に配置した案。坊主頭の頭部と相まって、かなり特異なスタイルとなっている。全体的にもマッチョな雰囲気が漂う







➡ツノを顔の左側面に配置した案。ボディーはまだゴツゴツしているが、頭部は少しシャープになってきた。脚部の膝部分、足部分などは、かなり完成形に近い感じ。なお、山下氏は、この左側面のツノが気に入っていたらしく、後半までデザインの中に含まれていた

EVA #19話
初号機大破
バージョンIの
(ウデは義生して回.)

換性より大破した
胸の装甲(おぼろ)

UP時
ここの3番体のみにて
カラーリングイメージ

再生した手(人間の手と同じ)
つくるようにしてください

Long時は
もし省略可です

胸部大破後(第19話)

#19
初号機
大破
バージョン

再生時

中は
普通の人間
のウデ
(ふつうにしてください)

光線の
UP時は
周囲につけた肉
(装体)が
まとわりつく回

小さな光球つ

ここまで
クバン

この部分は
内(装体)
骨

(第3話)焼けただれた手

手足

ポーズ集

・初号機は基本的に
『ネコ背』です。

・EVAは通常、
有線ケーブルの電力供給により
活動しています。

・非常時にケーブルを
切り離し、体内電池に
切り替わると、
1ヘジ(約)3秒しか活動
できません…

EVAの開口

UPで止めの時
胸に緑色の
皮膜入り回

必要に
応じて

ココ UP時は
肌のカラーにしてください。

頭部

全身

零号機

EVA00 PROTO TYPE

最初に建造されたエヴァであるため、プロトタイプと呼ばれる。初号機との違いは頭部と肩部だけで、基本的には大差ない。当初はオレンジ色の機体だったが、ラミエルとの戦闘で大破したため、肩部を他のエヴァ機と同様のものに換装し、青色に塗り替えられた。



◆上は、決定稿寸前の零号機頭部のラフ。頭頂部の電磁波アンテナといい、ひとつだけの主光学カメラといい、まったくと言っていいほど決定稿と変わりなく、カメラ上部の張り出し方が異なる程度。また、左下の小さなカットでは、顎の部分て異なる形状が模索されている

◆下は、素体のラフスケッチ。かなり凶悪なイメージだ。そして、2話で描かれた印象的な眼球の出現の仕方は、ここでのイメージがそのまま採用されている

◆左腕損傷(19話)

◆零号機・改

◆ファーストタイプ

from Scenes

包帯を巻かれた素体(20話)

素体

◆ラフスケッチ

弐号機

EVA02 PRODUCTION MODEL

3番目に製造された機体で、初の制式タイプ。設計と部品製造は日本で、組立と最終実験はドイツで行なわれた。真紅の機体と、頭部の4つのセンサーが特徴。左肩に内蔵されたプログレッシブナイフのほかに、スマッシュホーク、ソニックグレイブなどが武器。

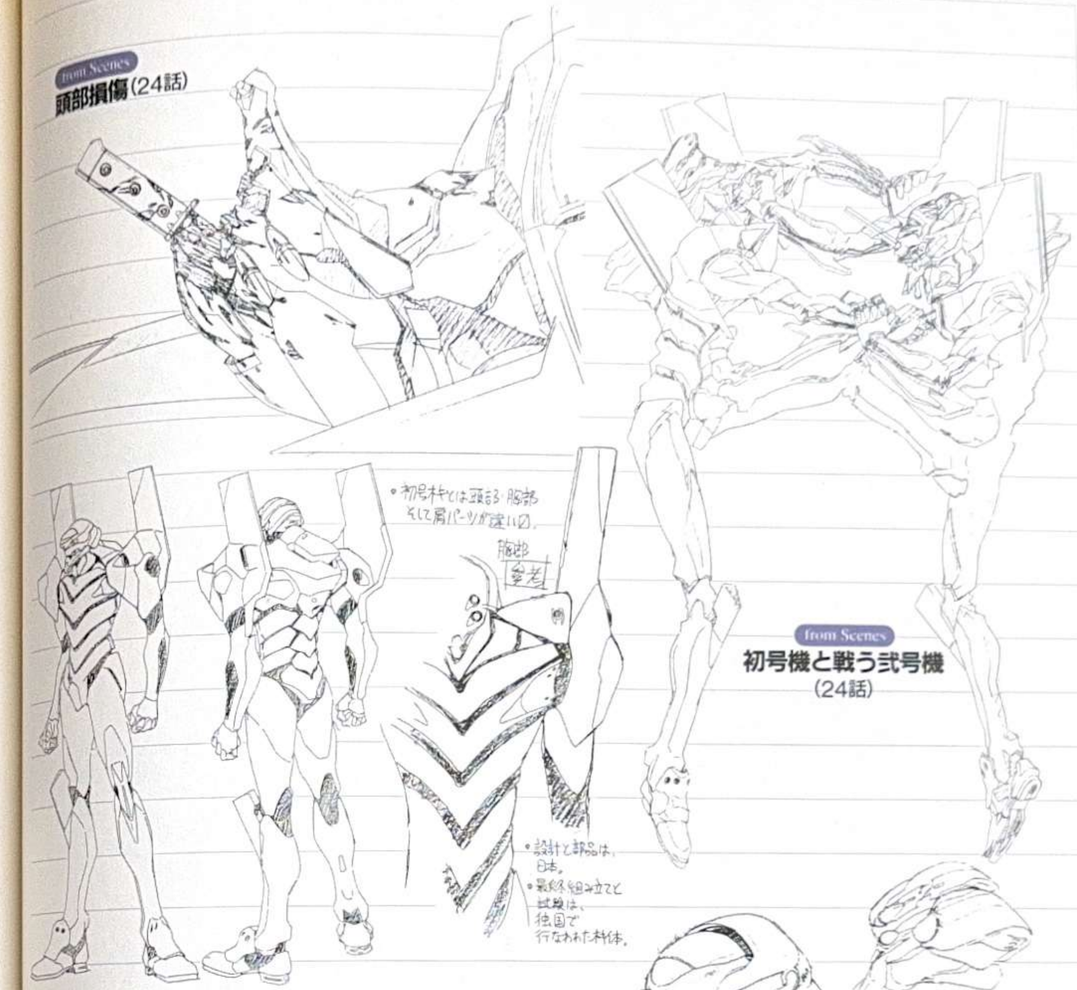
from Scenes

頭部損傷(24話)

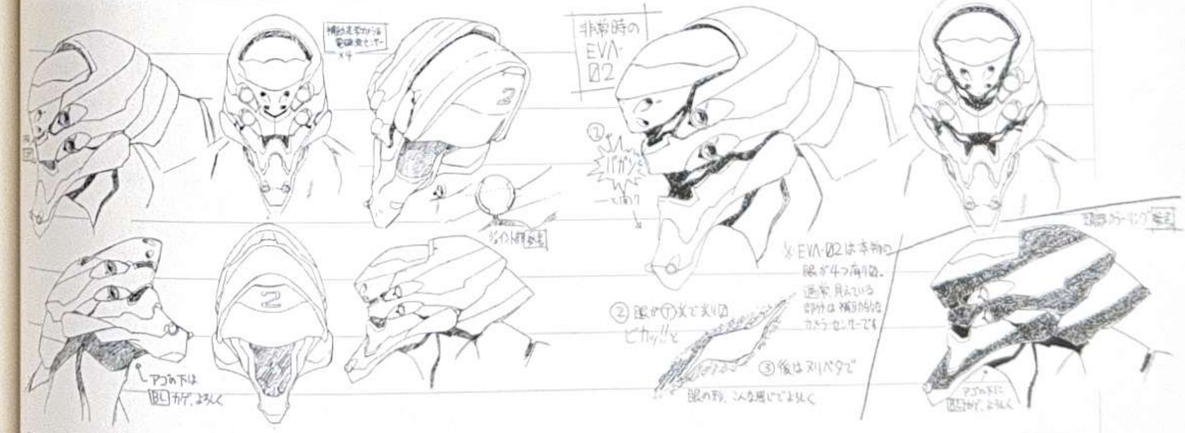
from Scenes

初号機と戦う弐号機

(24話)

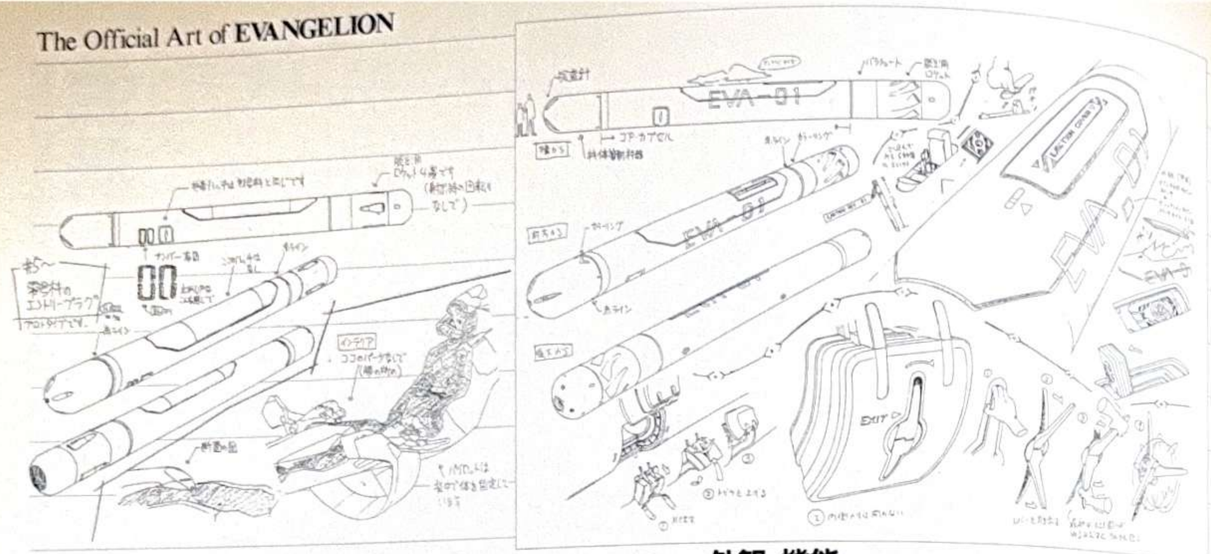


◆右の頭部3カットは、決定稿寸前の設定資料。ほとんど変わりはないが、ナンバリングの位置、"おでこ。部分の形状、側面の切り返し部分、そして、顎にある突起物の有無などが異なる

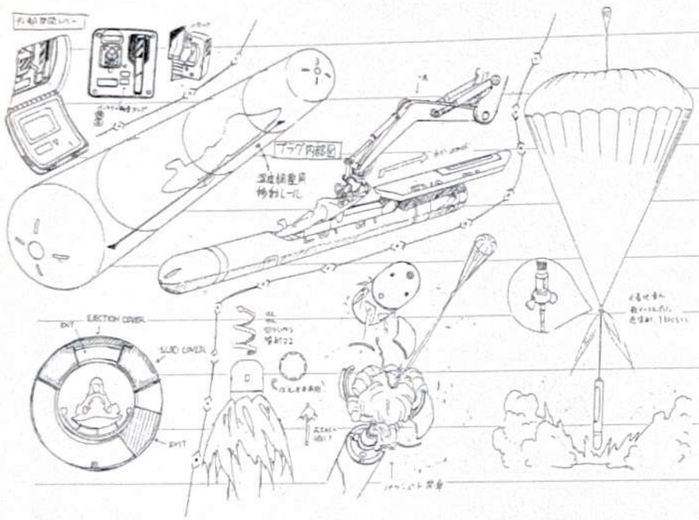


エントリープラグ ENTRY PLUG

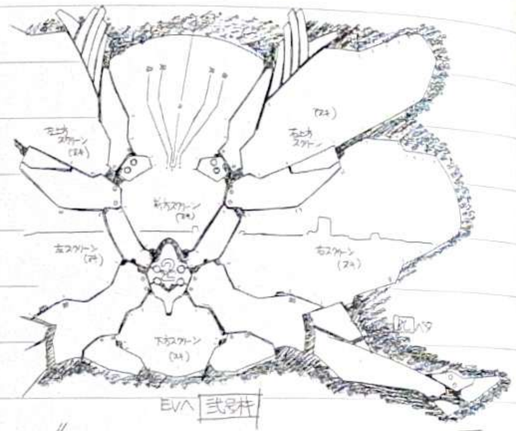
エヴァとパイロットとの唯一の接点であり、心の器ともいえるエントリープラグ。パイロットは、羊水たるLCLに包まれてエヴァとのシンクロを図る。ここでは、プラグ内のインテリアのデザインの変遷を追い、細部にわたるメカデザインの過程を探る。



外観・機能

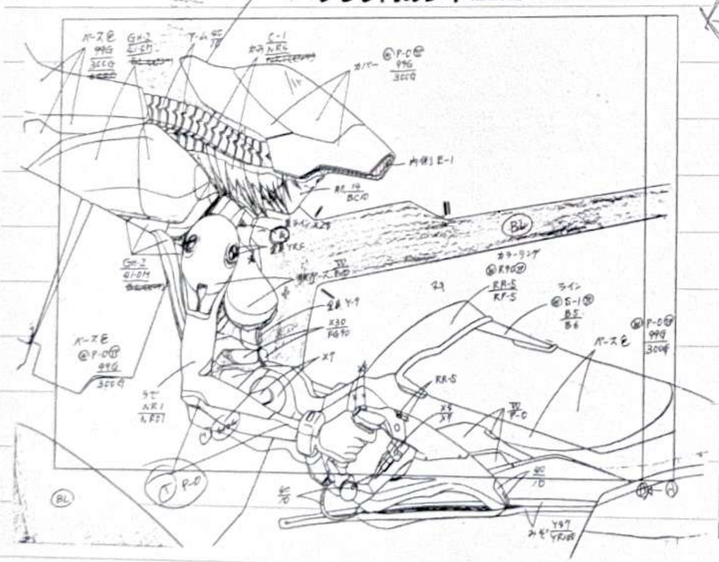


スクリーン

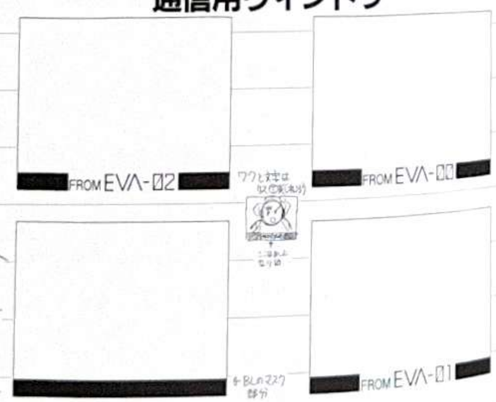


From Scenes

プラグ内のレイ(22話)



通信用ウィンドウ



※大きさ、形、現在位置等は統一されるわけではありません。



●●左側面からのカット。右のラフでは、インテリアの後方が短い。しかし、この時点ですでに巨大なディスクドライブは使われている



▲初期ラフイメージ・正面

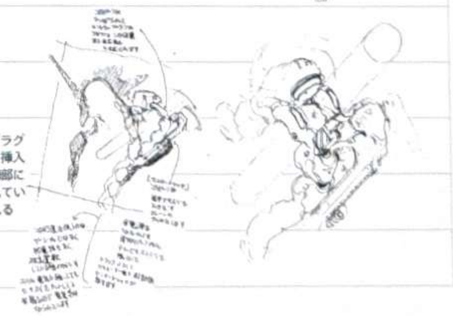
インテリア



●●右前方から。上は、ほぼ決定稿に近い状態のラフ。やはり後方部の形状が奥詰まっていないのがわかる



●▲左後方から。上のラフから、搭乗者が少し寝そべるような角度は、ごく初期から構想されていたようだ



●●エントリープラグ挿入部。プラグを挿入する角度にも、細部にわたって吟味されていることが見て取れる

バルーンダミーの銃

ソニックグレイブ

N²爆弾

ランチャー銃

零号機の盾

スマッシュホーク

初号機装備➡

プログレッシブナイフ

⬅取り出し口

⬅弐号機装備

⬆カバー付き

from Scenes

ポジトロンライフルを構える弐号機(22話)

武器 WEAPON

物語には、ナイフやカッターナイフ状のプログレッシブナイフなどあまりに"人間的"なものや、ポジトロンライフルなどの近未来的なものなど、さまざまな武器が登場する。これらのデザインの移り変わりを追し、その魅力に迫る。

⬆ライフル型武器のごく簡単なスケッチ。直線的なデザインが下のポジトロンライフルに近いものがある。電力を使う強力な武器は、すでに形作られていた

パレットライフル

⬆右上は単銃型武器の構想ラフ。下のパレットガンでは、8の字ターレットがそのまま継承されている

⬆ポジトロンライフル状の武器案。こうしたさまざまな武器のアイデアが、物語に登場した美しい形状のポジトロンライフルを生み出した

ポジトロンライフル

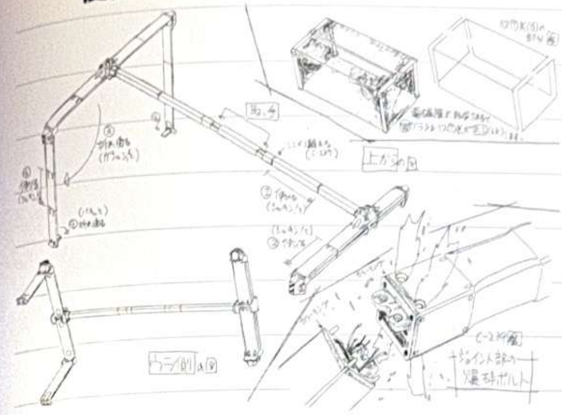
キャラクターズ

The Official Art of EVANGELION

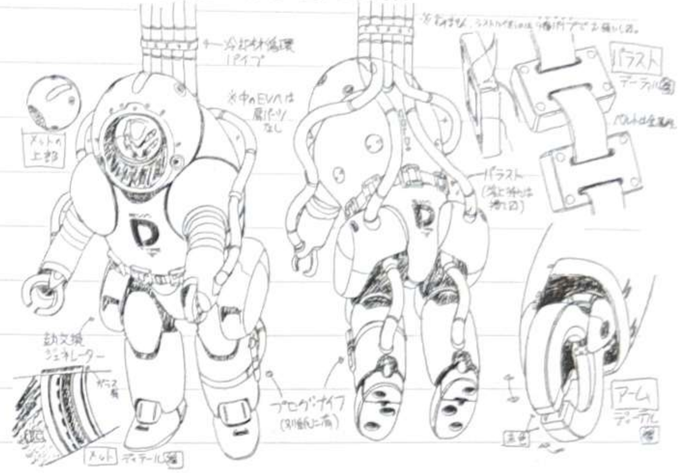
COMPLEMENTED PEOPLE

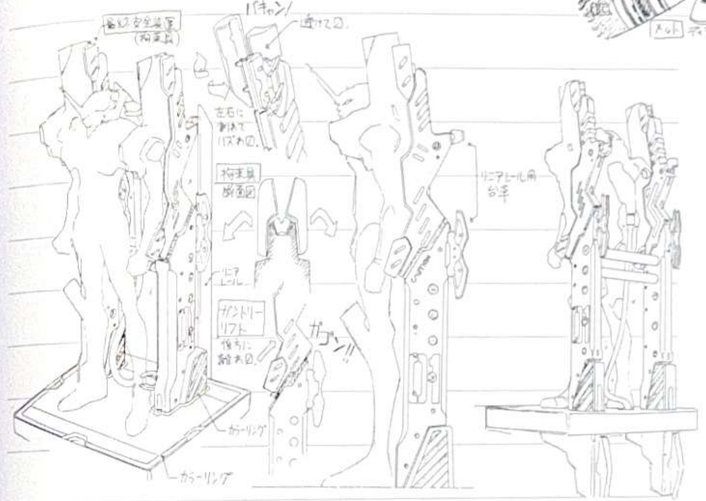


使徒キャッチャー

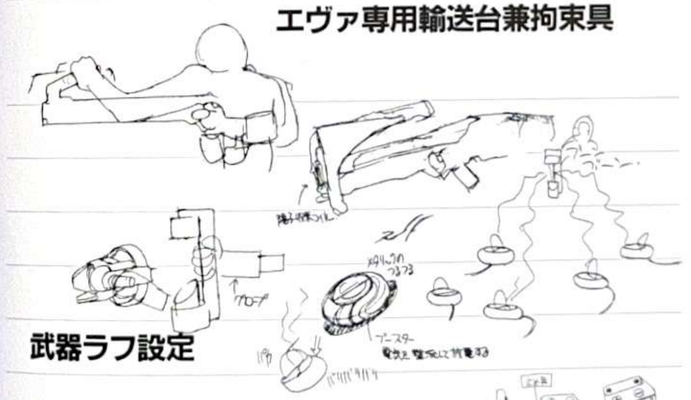


局地戦用エヴァ□型装備

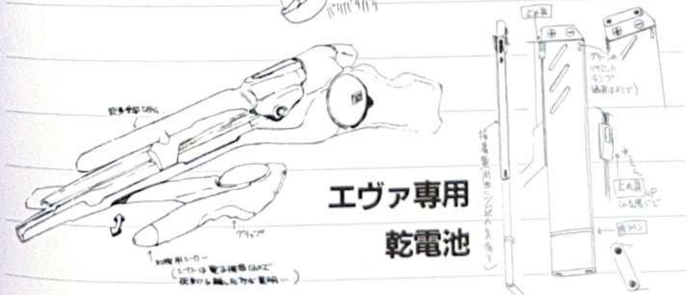




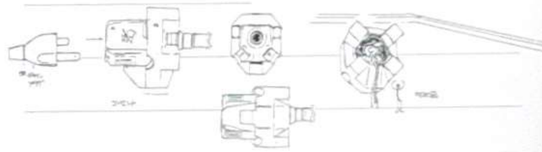
エヴァ専用輸送台兼拘束具



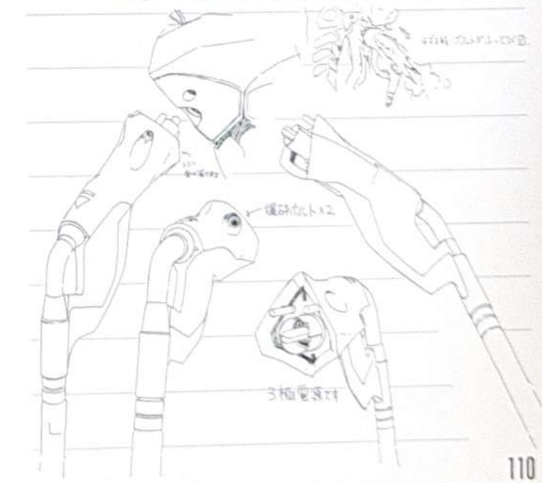
武器ラフ設定



エヴァ専用乾電池



エヴァ電力供給コンセント



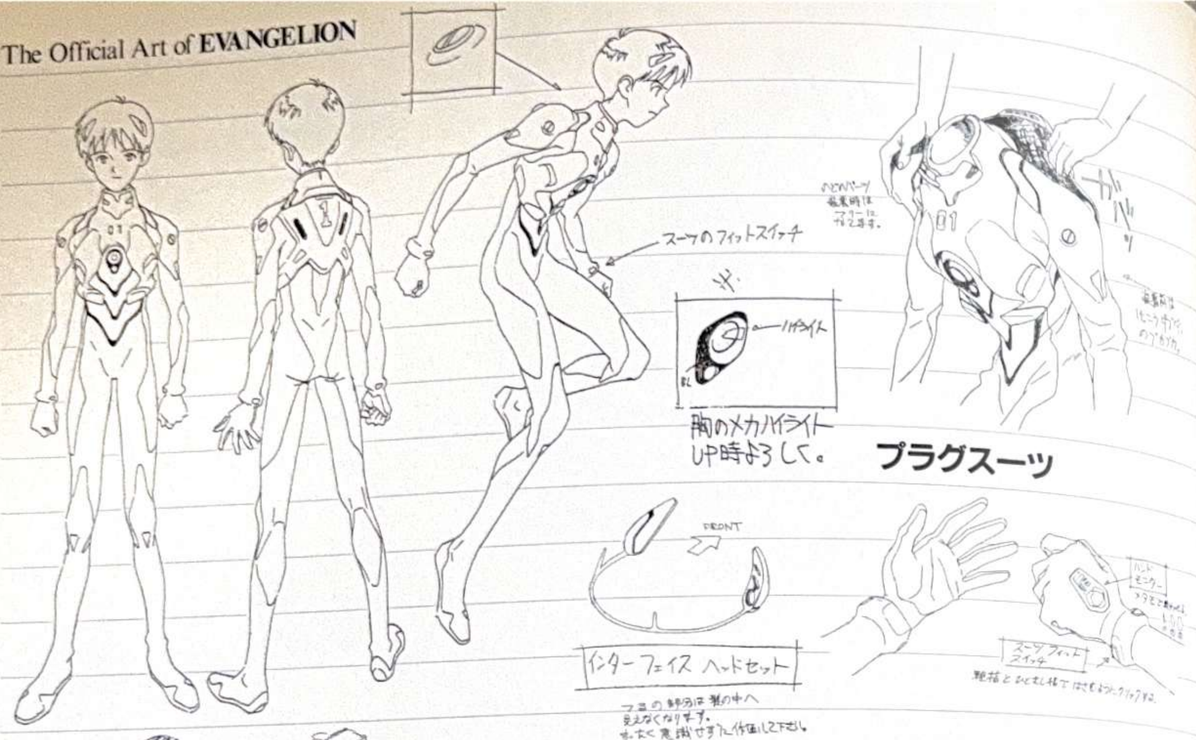
碇シンジ
SHINJI IKARI

エヴァ初号機パイロットであり、物語の主人公。母・ユイとは幼少の頃に死別し、父・ゲンドウとも10年間離れて暮らしていたが、突然第3新東京市に呼ばれ、第3適格者（サードチルドレン）としてネルフの一員となる14歳。人との接触を嫌う内向的な性格だが、ミサトやクラスメートらと接していくうち、少しずつ心を開いていく。

表情集



プラグスーツ



体操着



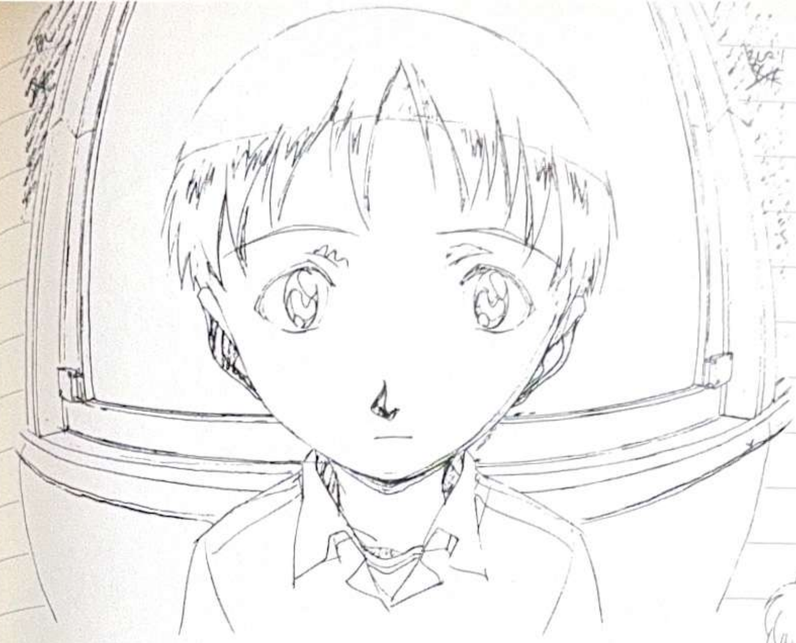
制服

from Scenes
チェロ弾き
(15話)





from Scenes
使徒内部でのシンジ(16話)



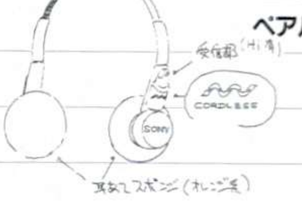


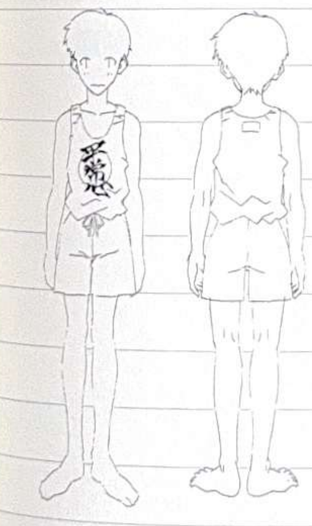






ベアルック(9話)





私服







幼少時代



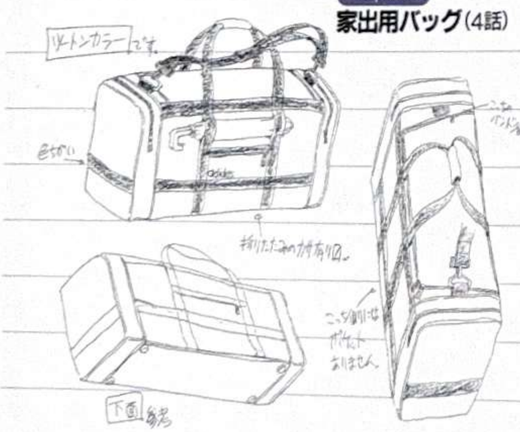
from Scenes
苦悩するシンジ(25話)

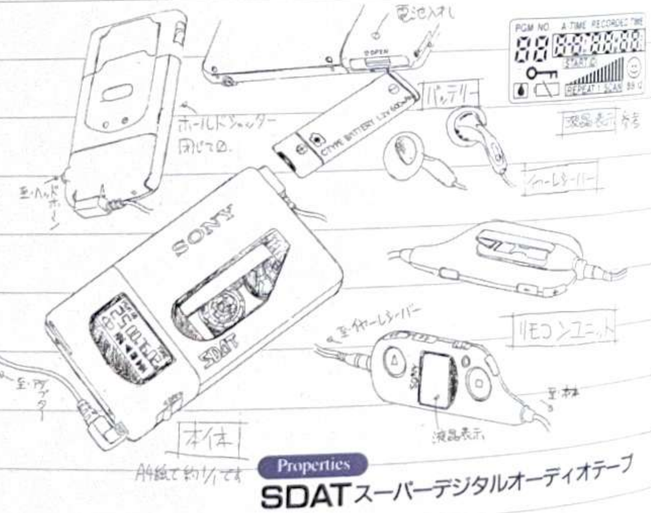


from Scenes
強制排出されるシンジ(19話)



Properties
家出用バッグ(4話)





Properties
SDATスーパーデジタルオーディオテープ

綾波レイ
REI AYANAMI

第一適格者（ファーストチルドレン）として エヴァ零号機に搭乗する14歳で、過去の経歴が抹消されている謎の存在。無口で感情表現に乏しいが、ゲンドウに対してはある種の感情を抱いていて、彼女を助けたときに落ちた後の眼鏡を大事にしている。シンジと同じように、他人と接することや友情に人間的な表情を見せるようになる。

表情集



プラグスーツ





制服















Properties
カバン

Properties
セキュリティカード
(5話)

Properties
上履き

てわゆるプラスチックカードです。

裏は無地一色刷

ロング時はこんな感じで

実寸大
文字はダイモ・テープライターの書体です。(ちゃんとカードがやつ)

シンジ君と同型です。

from Scenes
転校生バージョン(26話)

下着姿

包帯姿

from Scenes
カプセル内のレイ(15話)

4歳のとき

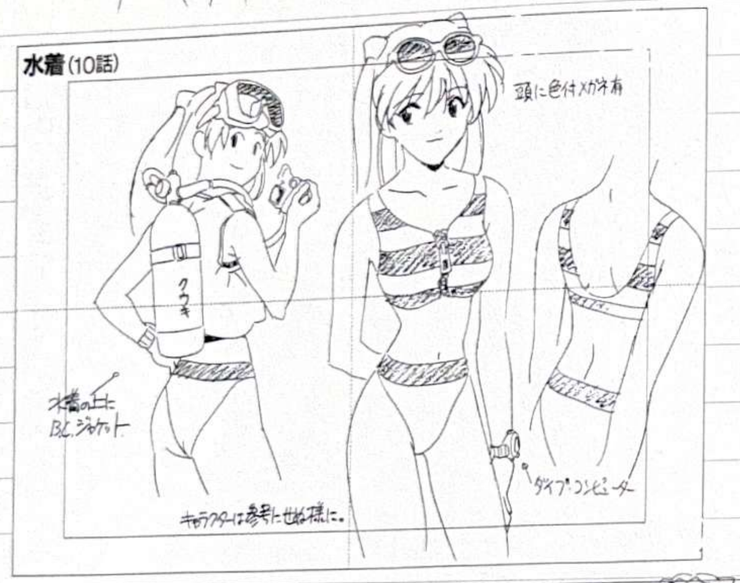
←19話より

from Scenes
ヒカリの告白にボーゼン(18話)

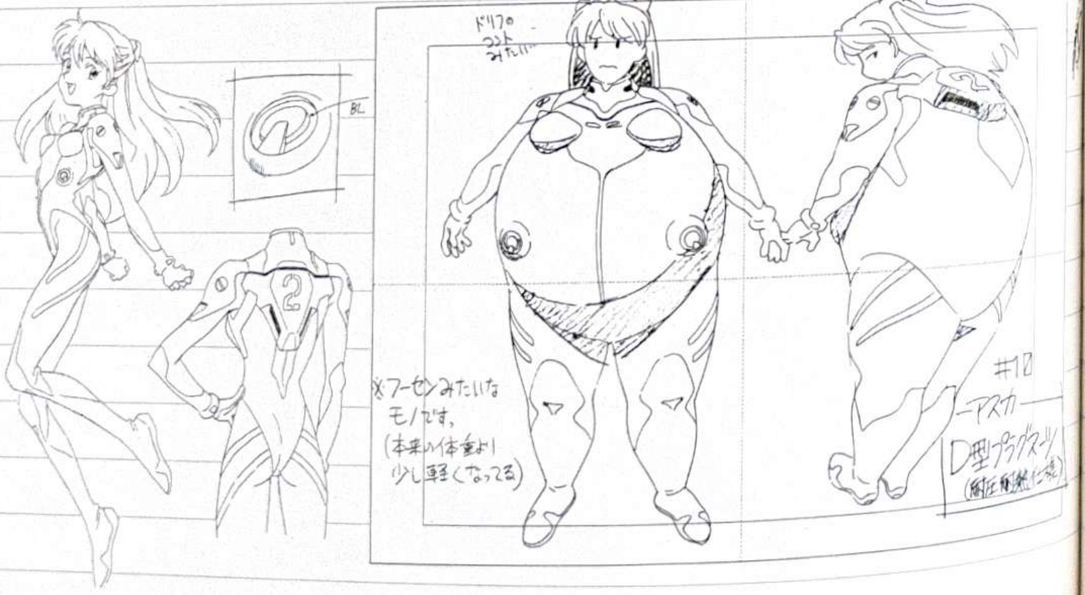




水着(10話)



プラグスーツ



from Scenes
体育授業中(15話)





制服



Properties
カバン



表情集

惣流・アスカ・ラングレー

SORYU ASUKA LANGLEY

ドイツで訓練をうけたセカンドチルドレンで、エヴァ弐号機のパイロット。日本人とドイツ人のクォーター。勝ち気な性格で、消極的なシンジを見るとイライラし、「あんたバカぁ?」を連発する。14歳にして大学を卒業という経歴をもつ天才少女だが、その高いプライドゆえに、プライドが失われたときに自己崩壊を起こしてしまう。

←10話

from Scenes
自己崩壊後(24話)

Properties
サルのぬいぐるみ

from Scenes
幼少時代(22話)

from Scenes
バスタオル姿(16話)

ベアルック(9話)

私服

↑15話

↑→8話

葛城ミサト

MISATO KATSURAGI

ネルフ本部戦術作戦部作戦一課所属、作戦部長として対使徒戦略を立案・実行する。階級は一尉から二佐に昇進。シンジとアスカの保護者。ふだんは明るくて気さくで、そしてズボラな女性さんだが、セカンドインパクトで失明症に陥るほどの深い傷を心に負っている。リツコとは学生時代からの友人で、加持の元恋人。

赤ジャケット

表情集

※ ヒカリ (中間メイドのかぶりもの)

※ バストショット以上では ロゼル 色トレス (エフォビルはBL)

ただし 髪ハイLIGHTは エフォビルと BLトレス (エフォビルと みがおとし)

※ピアスちぇんじ

ネルフ礼服 (7話)

つなぎ (5話)

Properties

アルピーヌルノーA310(改)

アンテナUP

インナーは ハイライト処理 ※ハイライトはやなめた 光沢と入れて下さい。 (ドライブルック別販券用)

9話

Properties

双眼鏡

BL

ゴムばね (引っぱり) (BL24)

BL

BL

フェイスカバー ハイサー 取った時の図

ボーイテールで 放く

フードは 下にネジ込む

ライト部は 立直ライトで

AIRの文字 (火線レスピ)

※'D'のカーソルの時は つル装備で

ジャケットの下は Aタイプと同じ デザイン

防護服

7話

2話

S-R

包帯姿(19話)

胸のキス

大学時代

➡12話

from Scenes
学食にて(21話)

Properties
襟章

14歳・失語症時

➡4話・バジャマ

7話

1話

5話

私服

15話

部屋着

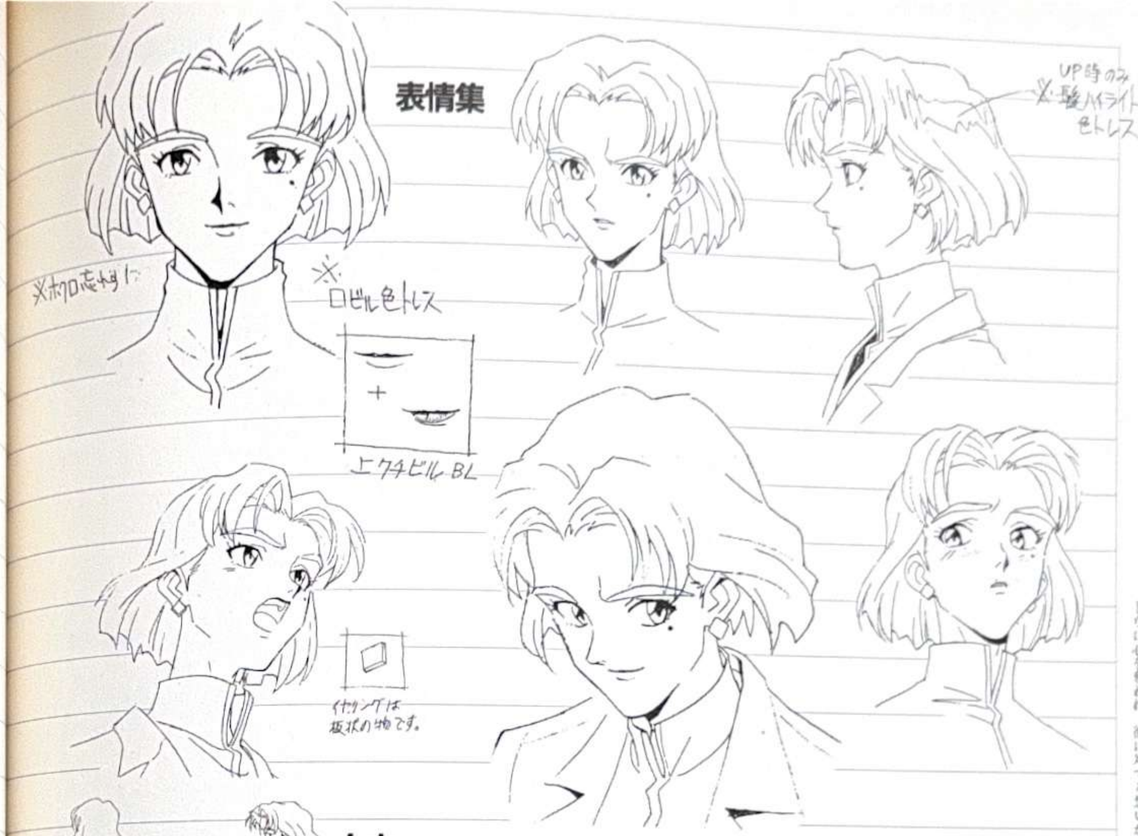
7話

2話

赤木リツコ
RITSUKO AKAGI

ネルフ本部技術開発部技術一課所属、スーパーコンピューター・MAGIの開発者・赤木ナオコ博士の娘で、エヴァの開発プロジェクト・E計画の責任者。冷淡で、旧友のミサトにも本音を語ろうとしないが、心の中では女の情念が渦巻いている。母と同じようにゲンドウに心を奪われ、彼に対する想いが身の破滅を招いてしまう。

表情集



白衣



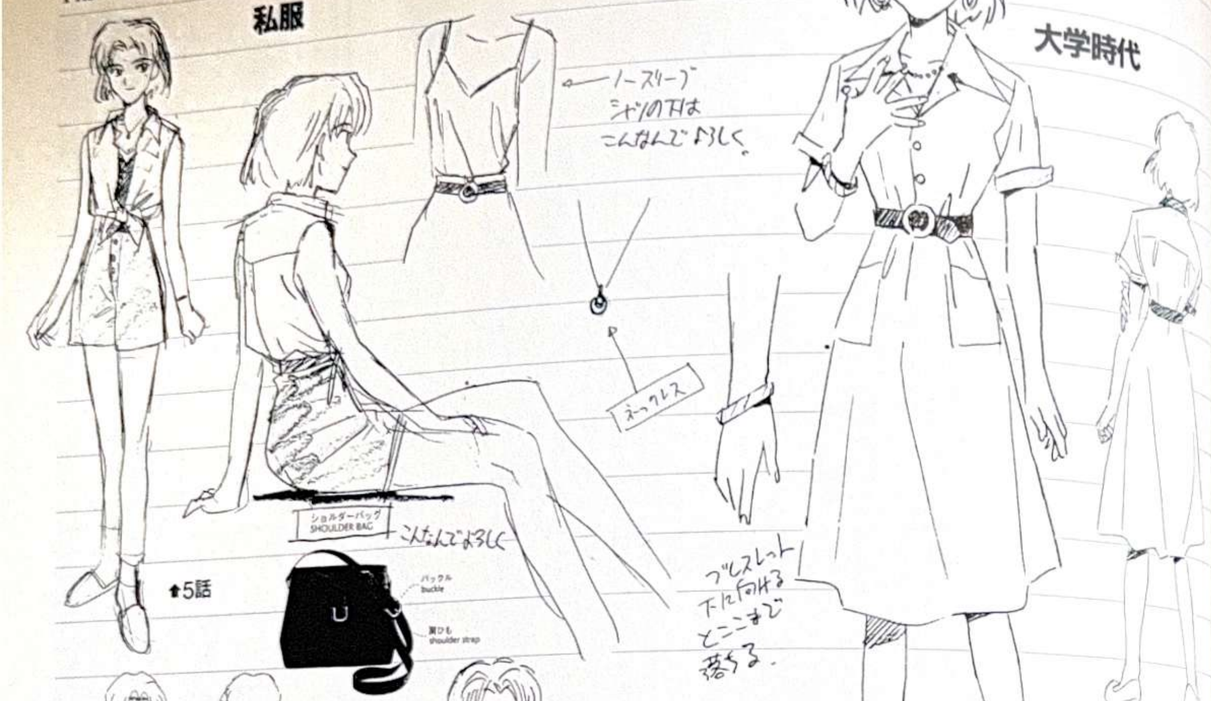
ウェットスーツ



包帯姿



私服



大学時代

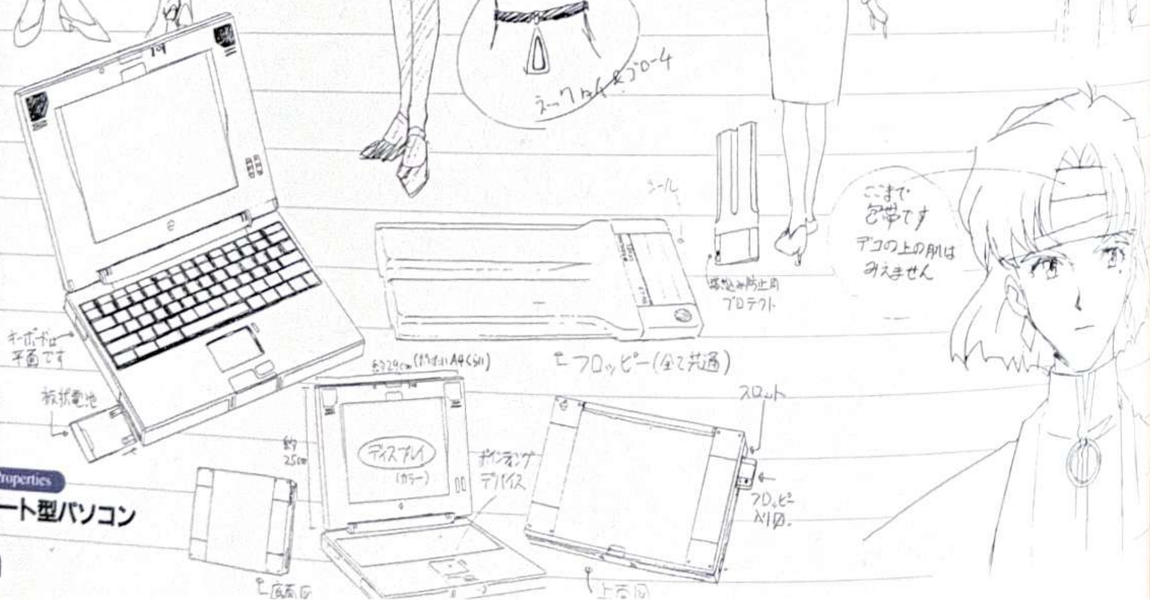
from Scenes

高校時代(21話)



Properties

ノート型パソコン



碇ゲンドウ GENDO IKARI

人工進化研究所の所長を経て、国連直属の特務機関・ゼルエル、そしてネルフの司令官となる。使徒の研究・調査・せん滅を指揮するとともに、人類補完計画と呼ばれる極秘プロジェクトの責任者でもある。目的のためには、手段を選ばない冷徹な性格の持ち主。

Properties
メガネ

表情集

助教授時代

研究生時代
(六分儀ゲンドウ)

セカンドインパクト調査時

ゲヒルン時代

冬月コウゾウ KOZO FUYUTSUKI

本作に登場するおなじみのキャラクターの設定資料集。ここでしか見ることのできない貴重なラフスケッチや、ファンの方々からの質問が多い、大学の助教授時代のゲンドウの様子などが満載されている。ゲンドウの師匠ではあるが、互いに冷静な目で観察し、ときに厳しい洞察力で彼の行動を見抜くこともある。

表情集

助教授時代

フィールドコート

研究生時代
(六分儀ゲンドウ)

セカンドインパクト調査時

ゲヒルン時代

加持リョウジ
RYOJI KAJI

ネルフ特殊監察部に所属し、政府内潜在の調査部員でもあるダブルスパイ。ドイツ支部よりアスカ、弐号機、そしてアダムと係される物体とともに帰国する。ミサトの学生時代の恋人で、アスカの憧れの男性。女性には軽いが、人生を達観しているような部分をもつ。

表情集

ハイライト色

基本的に透けません。

from Scenes
大学時代(21話)

私服
←15話・スーツ

この後になってサーファーになったらしい。

(注)世界の設定にサーフボードは関係ありません。

ソデまくってる

Properties
IDカード

UN NERV
RYOJI KAJI
10100100110110101

伊吹マヤ
MAYA IBUKI

ネルフ本部技術局E-1課に所属する赤木リツコの部下で、階級は一尉。通常は、中央作戦司令部において、エヴァの操縦をモニターするオペレーター。温和で母性的なところがあり、ダミープラグの使用に難色を示す。

トレーナー

ハイライトよろしく。

from Scenes
私服(11話)

ELLE

日向マコト
MAKOTO HYUGA

ネルフ本部中央作戦司令部作戦局第一課に所属し、主としてオペレーターを務める。階級は一尉。直属の上司であるミサトに対して憧れにも似た恋愛感情を抱いていて、ミサトのために危険な任務にあたることもしばしば。

ハイライトよろしく。

青葉シゲル
SHIGERU AOBA

ネルフ本部中央作戦司令室付オペレーターで、日向とともに通信・情報分析を担当している。階級は二尉。直属の上司は不明だが、副司令である冬月の可能性が高い。趣味はギター。

相田ケンスケ KENSUKE AIDA

第壱中学校のシンジのクラスメートで、トウジとは親友。ミリタリー&メカマニアで、エヴァへの興味からエヴァの搭乗者になることを切望するようになる。シンジ、トウジとともに、アスカから「3バカトリオ」と呼ばれる。

制服

私服

Properties
ビデオカメラ

表情集

鈴原トウジ TOJI SUZUHARA

シンジのクラスメートで、硬派の熱血漢。シンジの初めての戦闘で妹が負傷したことから、シンジに怒りをぶつける。後にフォースチルドレンに選ばれ、エヴァ3号機に乗るが、使徒の侵入で機体を乗っ取られてしまう。

Properties
カバン

表情集

洞木ヒカリ HIKARI HORAKI

シンジのクラスメートで、委員長。トウジの妹。兄思いのしっかりした女の子。シンジに好意を抱いているが、物語では2人は仲違いしたままだった。

from Scenes
エプロン姿
(17話)

パジャマ姿

15年前

人類補完委員会

キール・ローレンツ KEEL LORENZ

人類補完委員会の一人。ゼーレの中心人物。ゲンドウとはどうやら旧知のようで、二人だけで会話を交わすなど、明らかに他の委員たちとは違った態度を取る。

作業員

ネルフ諜報員

ペンペン PEN

新婚の温泉ペンギン。ミサトの同居人であり、彼女のマンションにある冷蔵庫の部屋に住んでいる。大の風呂好きで、風呂に入っていればゴキゲン。知能も高い。

生体調査ルック

白衣

碇ユイ YUI IKARI

ゲンドウの妻で、シンジの母親。京都の大学で6月が助教授をしていたときの優秀な教え子だった。その後、六分儀ゲンドウと結婚してシンジを出産。2004年、人工進化研究所での実験中に命を落とす。

オペレーターたち

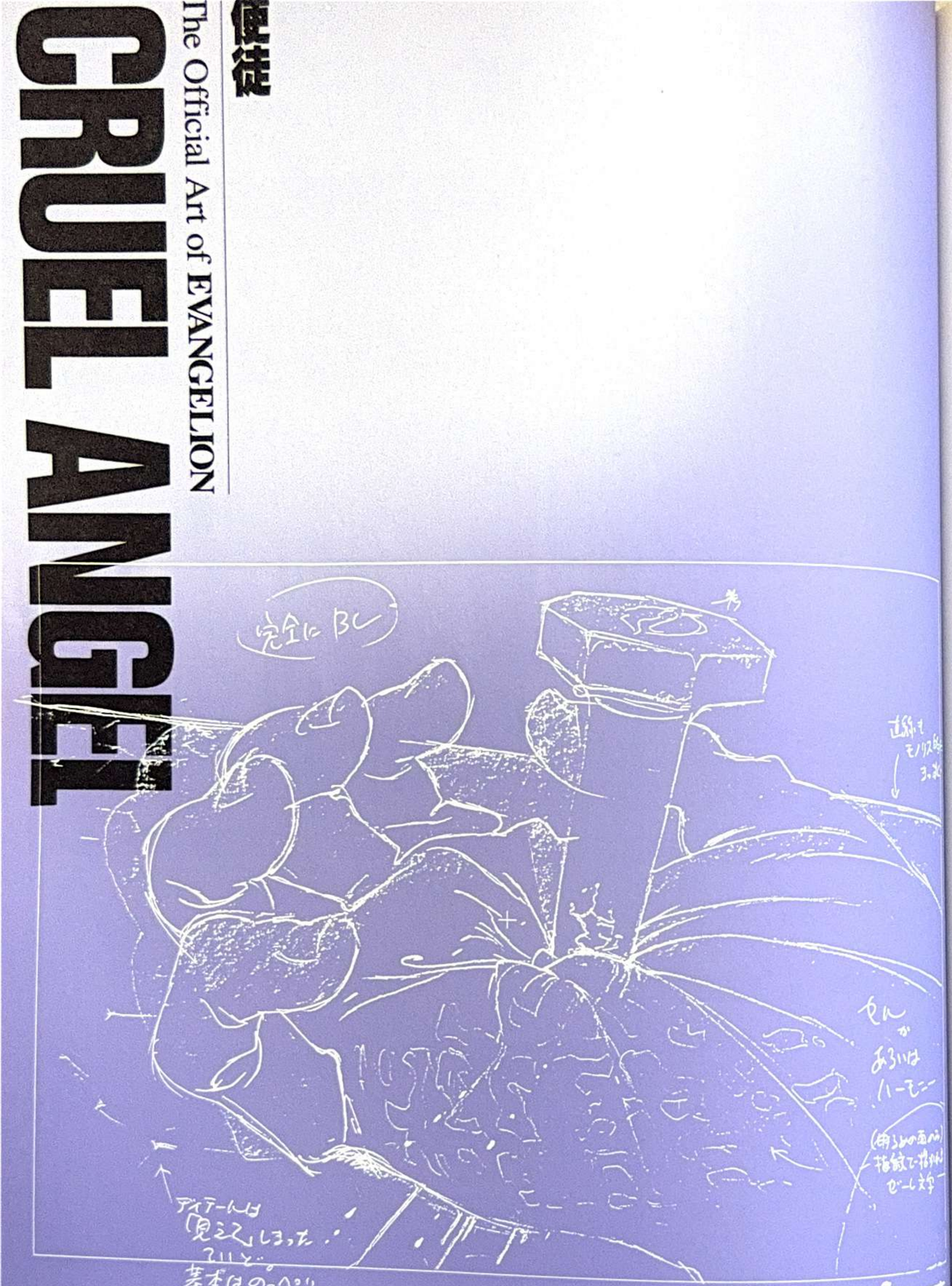
赤木ナオコ NAOKO AKAGI

リツコの母で、ネルフのスーパーコンピュータシステム、MAGIの開発者。ゲンドウのためにMAGIを完成させたが、彼が目的のために自分を利用したことに気づき、MAGIの前で自ら命を絶つ。

CRUEL ANGEL'S THESIS

残酷な天使の使徒

The Official Art of EVANGELION



ダリロコム

サブ・キャラクター SUB CHARACTERS

軍司令



空母関係(8話)



from Scenes

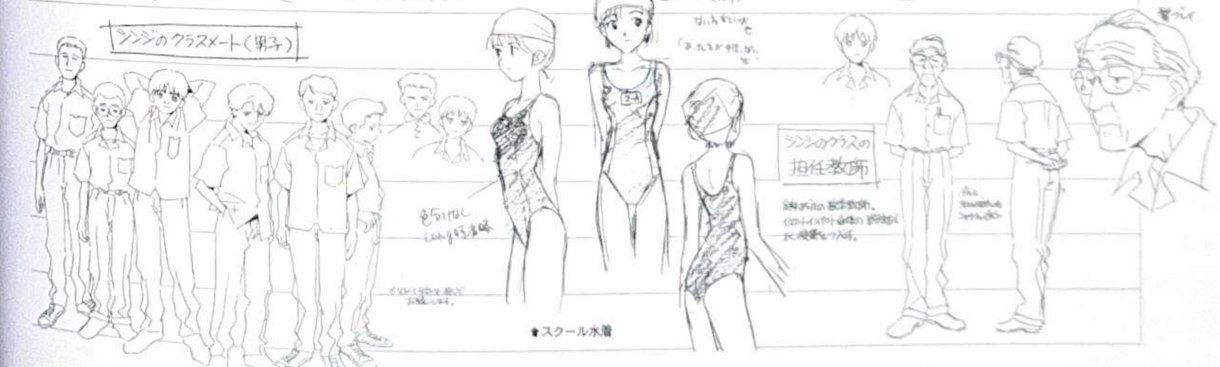
謎のおばさん(15話)



時田(7話)

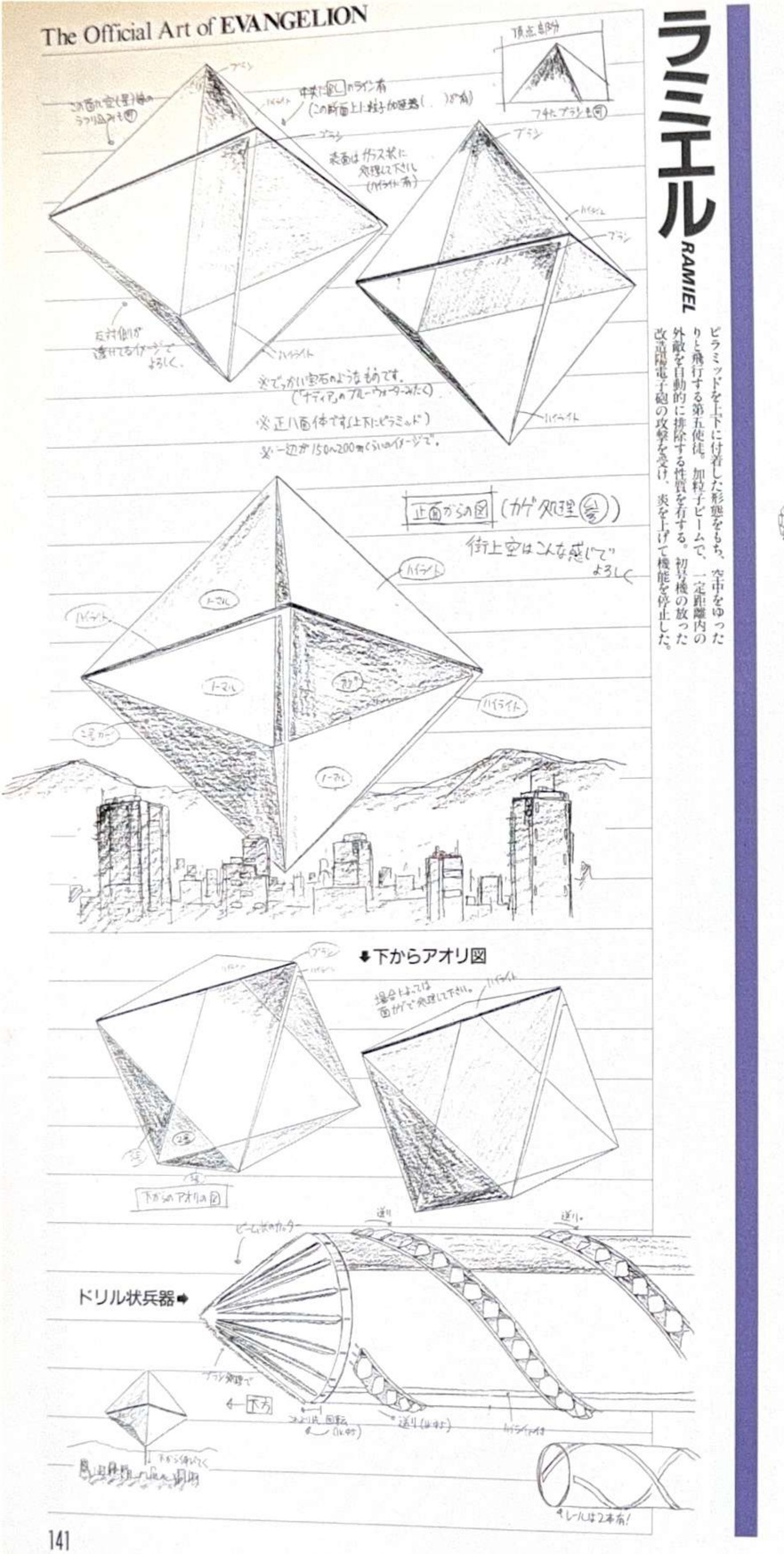


学校関係



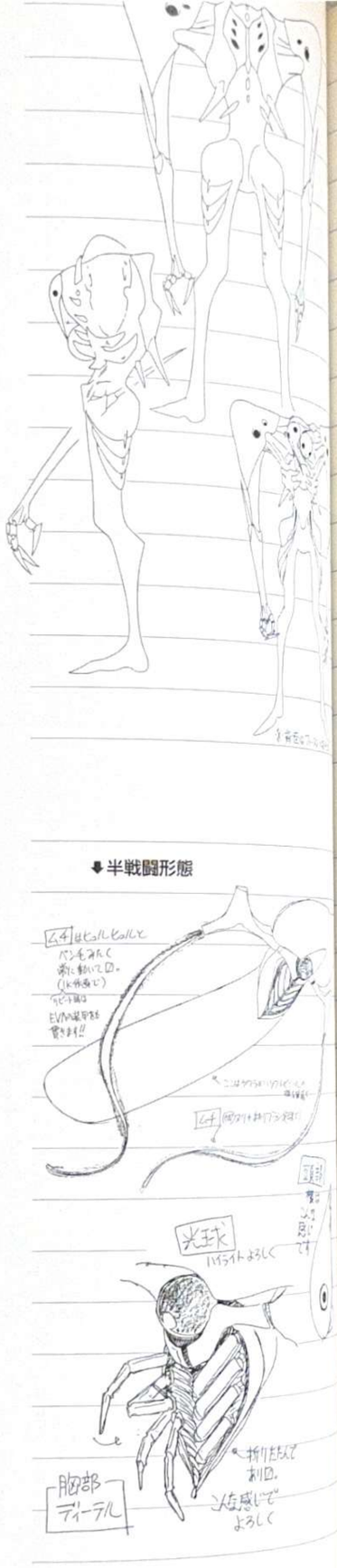
ラミエル RAMIEL

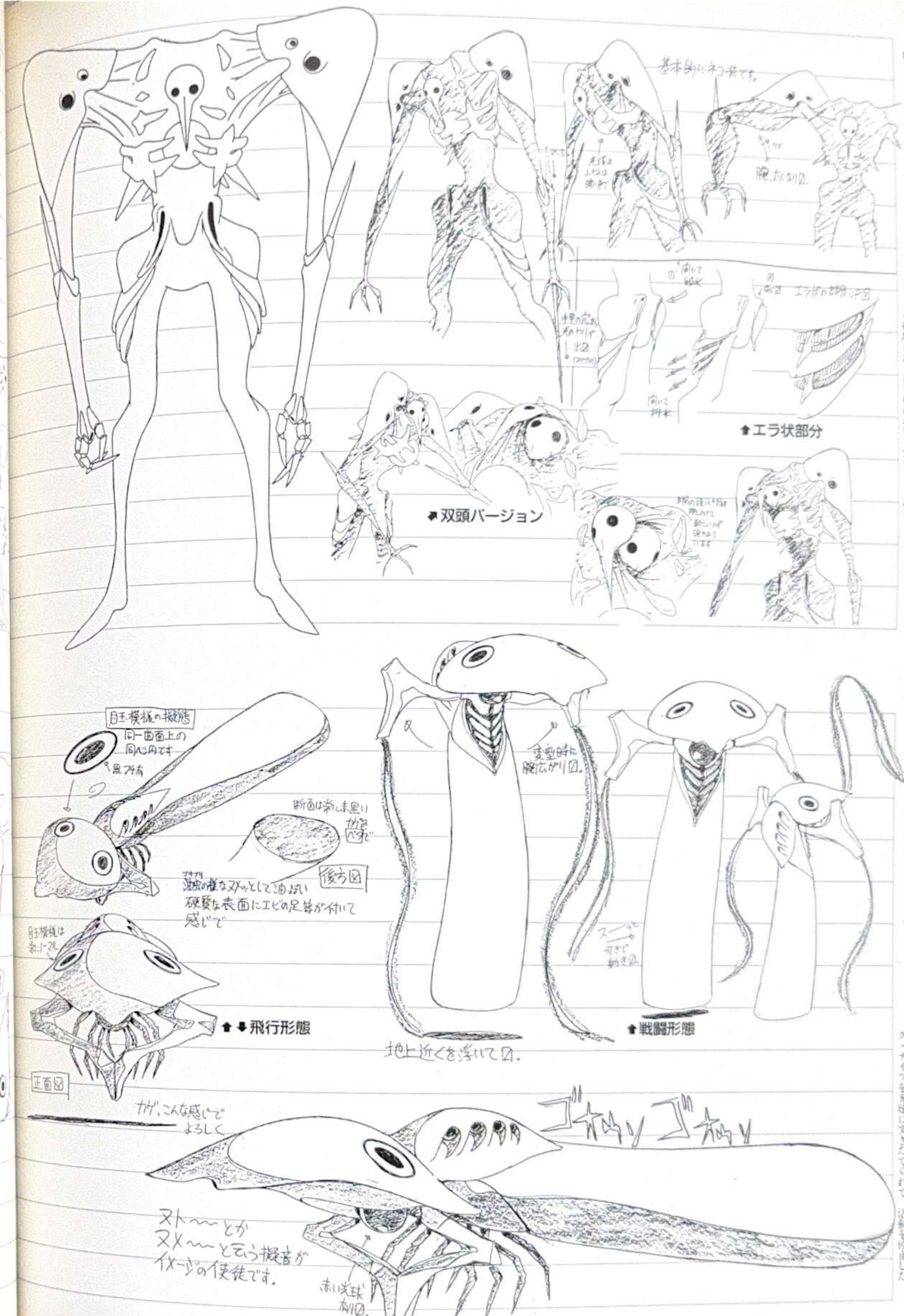
ピラミッドを上下に付着した形態をもち、空中をゆったりと飛行する第五使徒。加粒子ビームで、一定距離内の外敵を自動的に排除する性質を有する。初号機の放った改造陽電子砲の攻撃を受け、表を上げて機能を停止した。



サキエル SACHIEL

15年ぶりにこの星に降り立った第3の使徒。初めて日本上陸を果たした使徒。陸から光の槍を放つ、N地雷の攻撃で、第二の頭部が出現、両頭からの光線で第3新東京市を破壊した。初号機の攻撃に傷つき、自爆する。





シャムシェル SHAMSHEL

修行時代から戦闘を通へと変態を遂げ、成長スピードの速さから伸びた2本の光のふさで攻撃する3回使徒。そのうちはエヴァの目体を軽々と持ち上げるほどの、初号機のプログ・ナイフを足に突き立てられて、活動を停止した。

ガギエル GAGHIEL

加持の報告する「アダム」を追って太平洋「伊豆近海と推定」に出現した、アスカが初めて闘った第六の使徒。口内に侵入した弐号機にはこじあけられたところへ、通常電圧を流され潜入、その破壊と自爆によって海中に散る。

グワバマッ

上下に割れ図。

口を開いた図

前方参考

⬇対比図

- 頭部のデザイン変更しております。
- 対比の変更もあり。

EVA この位のタイプで、よろしく。

イスラフェル ISRAFEL

紀伊半島沖に潜伏していた第七使徒。弐号機の長刀を受けて2体に分離。一度は初号機と弐号機を敗退させた。特訓によりシンクロに成功した初号機と弐号機を前に合体したところ、核に2機のキックが命中。爆死した。

EVAこの位の感じで

顔らしきもの UP

くぼみの中は BLで

サンダルフォン SANDALPHON

浅間山の火口に眠っていた第八使徒。ネルフの捕獲作戦の最中に覚醒し、胎児のような姿から羽化した。マグマの中でも自在に活動が可能。熱膨張の原理を応用した弐号機の、冷却液による攻撃を受けて絶命。分解した。

光球

⬇対比図

マトリエル MATARAEL

電力供給の断たれた第3新東京市へ、旧熱海近海より上陸した第九使徒。ネルフ本部への侵入をはかった。4つの長い足で移動し、目のような部分から溶解液をしたたらせる。初号機のウラン弾の連射を受けて絶命。

見虫の足みたく よろしく(固いです)

カサカサ!!

EVAこの位の

イヌタージー

古傘は割と低空に有り。

移動中は上下しません。

(横方向にスライドしていく感じで)

•ひっくり返った「カメから4本の虫の足が伸びる感じのモノ」です。

•「畳み方」「生」みたく よろしくお願いします。(気持ち短く)

上面

下面

作画参考

ハイライトは不要です。シンプルなカゲカゲで よろしく。

下面のもよう

こんな感じで よろしく

BLのライトより

下面 ディーテールの図

←最終に送られる解像度

顔らしきもの UP (3つ出力)

分離後の使徒甲&乙

気持ちスレンダーに

身長は変わらず

背中を開いた図

金属的な質感に(ガサガサ)

頭の部分はゴムの様な質感でよろしく

(甲)の使徒(乙)に

サハクィエル SAHAQUIEL

インド洋上の衛星軌道に出現した第十使徒。自らの体を分離させ、大気圏より落下。その爆発力でネルフ本部の破壊を試みた。地上へ落下したところを、フィールド全開の初号機に受け止められ、零&弐号機にせん滅される。

表も裏も同じデザインです。(左右も対称のデザイン)

ユラ〜〜と曲た感じですが、

ここのラインは BLで

コア配置ライン

EVAこの位が大きさでは優先でお願いします。

体の一部がプリンとちぎれて落ちていた図。

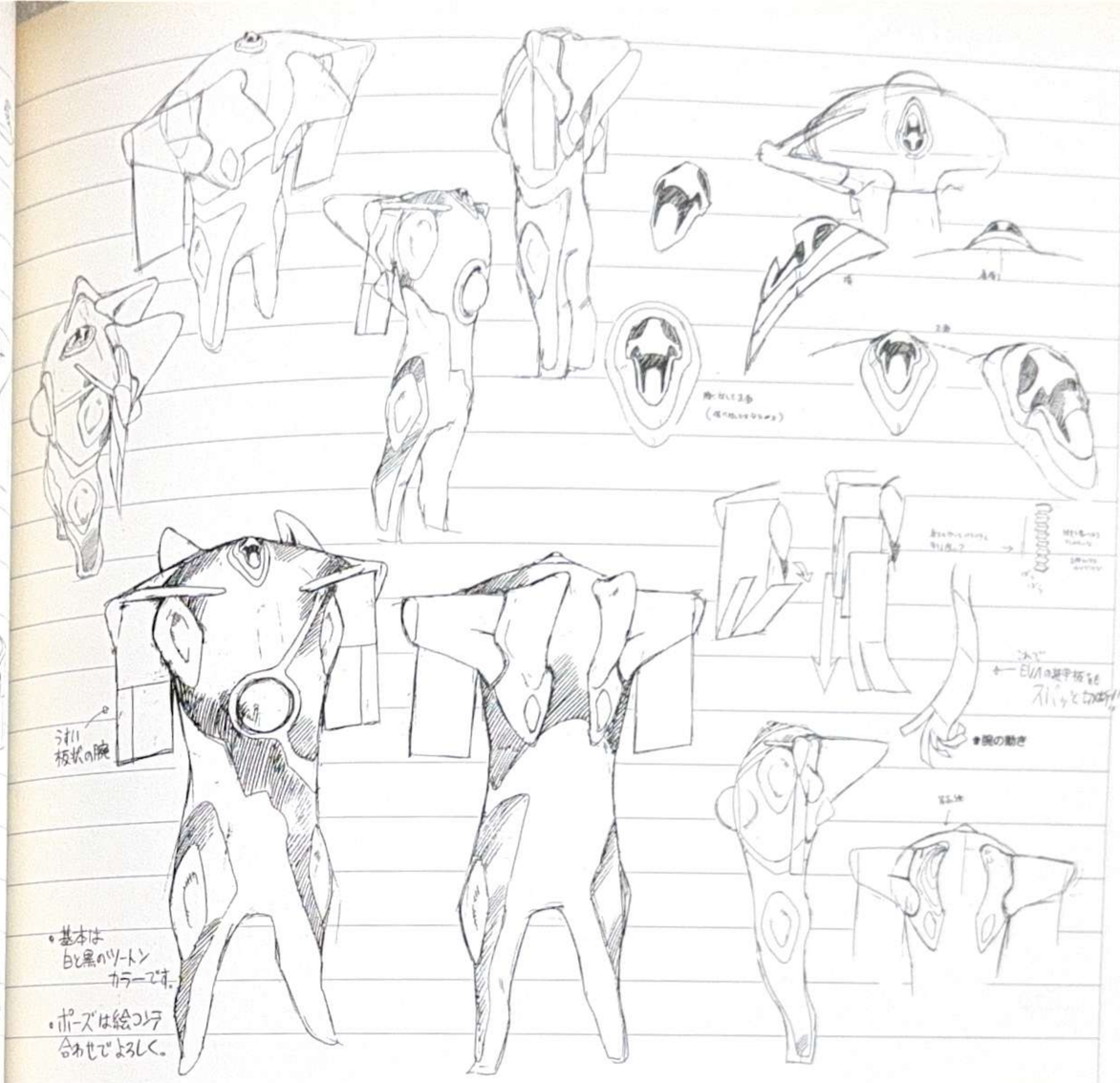
実験としてでよろしく。(ラインは色分けにより図)

うすく、パラ〜〜としている。

アメーバーみたいなイメージです。

ゼルエル ZERUEL

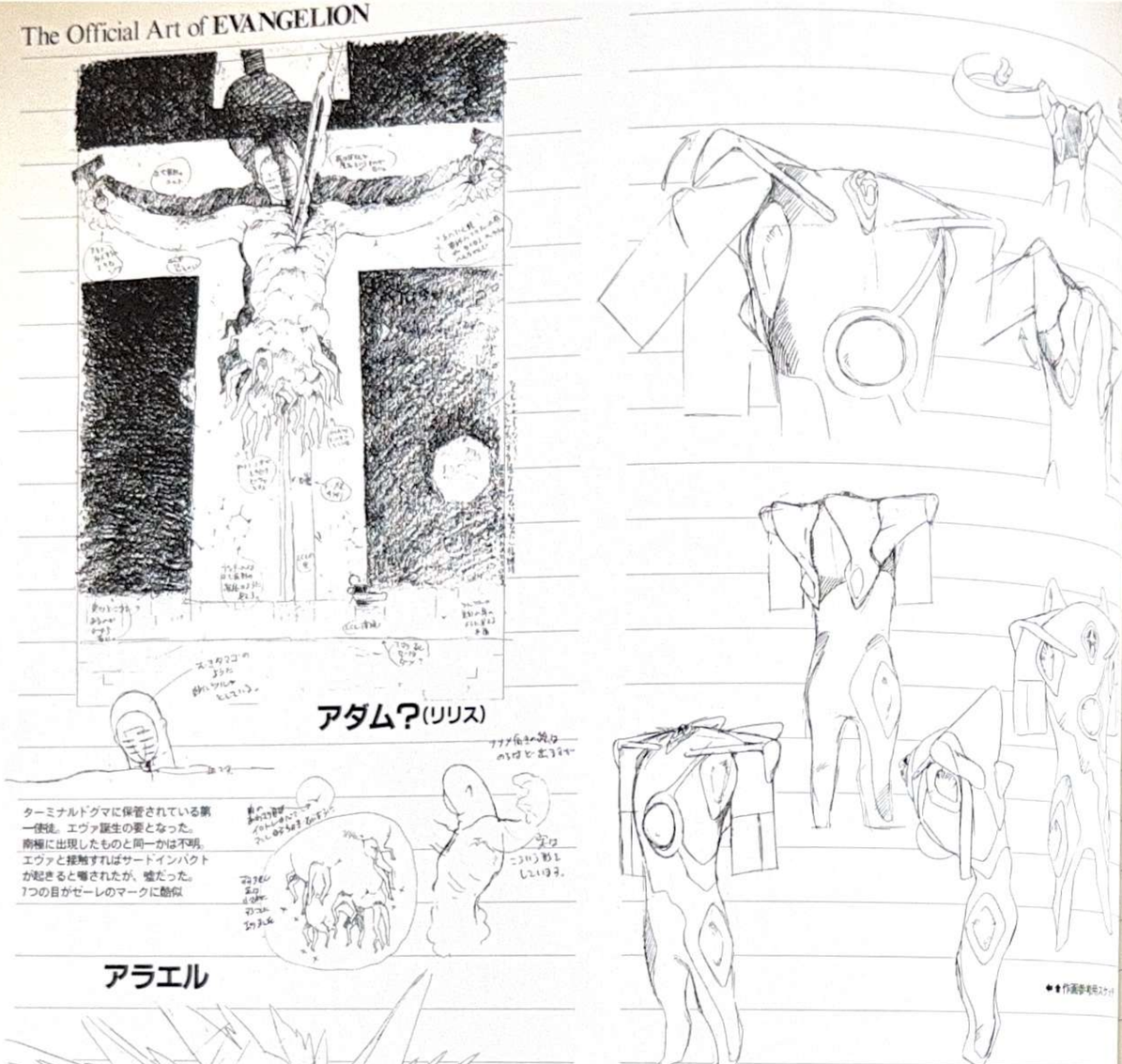
最強と呼ばれる第十四使徒。空中を自在に移動し、両眼からほとばしる光線で第3新東京市を火の海に沈めた。ふだんは折り畳んである両手を伸ばしてカッターのようにあらゆるものを切断。覚醒した初号機にむさぼり喰われた。



バルディエル BARDIEL

3号機に寄生した結晶状の第十二使徒。起動実験中に活動を開始し、3号機を操った。エントリープラグ部分にそれとわかるものが付着している。両腕を伸ばして攻撃するが、ダミーシステムを起動した初号機に破壊される。

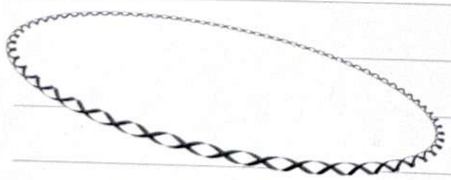






アラエル

衛星軌道上に出現した光り輝く鳥の翼のような第十五使徒。ATフィールドに酷似した可視波長によるエネルギー光線で、上空から弐号機内のアスカに精神攻撃を仕掛けた。零号機が放ったロンギヌスの槍に貫かれて、消滅



アルミサエル

光り輝く巨大な輪のような姿をした第十六使徒。空中を移動し、接触によって相手の体だけでなく精神をも融合させる能力をもつ。零号機およびレイとの融合をはかった。シンジをかばったレイの自爆によって破壊される





光の巨人

西暦2000年に南極に出現した使徒。カンドインパクトの元凶と考えられているが、詳細は不明。そのルルエルは著しくエヴァに酷似しており、なんらかの関連性が予想されるが、それはゲントウの胸中に秘められている

STAGE OF THE MYTH

The Official Art of EVANGELION

第3新東京市&ネルフ



渚カヲル

KAWORU NAGISA



↑↓初期ラフイメージ

歌の好きな少年だが、実は、人間の姿をした第十七使徒・タブリス。ゼーレより派遣されたフィフスチルドレンとしてネルフ本部に現れた、シンジと交流をはかり、シンジの心を開きかけるが、その真の目的はターミナルドグマに侵入してアダムと接触することにある。最期はみずから望んで、シンジの乗る初号機の手に握り潰される。

from Scenes
初号機の手の中で
(24話)

from Scenes
風呂場にて
(24話)

第3新東京市 TOKYO-3

第3新東京市は現在の箱根付近に建設中の計画都市。だが、本当の姿は使徒迎撃のための要塞都市である。なお、初期稿やラフ設定のうち、SF機械的なのは、山下いくと、きお誠児、塘野秀明ほかガイナックススタッフが、美術的なのはスタジオ美峰が手がけた。

◆◆右は第3新東京市の位置を示した初期稿。現在の平塚、大磯にあたる地域が水没している。下の地図ではその辺りに国際空港が作られている。第3新東京市は芦ノ湖の真北に位置しているが、第23話で零号機が自爆したことで芦ノ湖の水が流れ出し、都市は壊滅状態に陥る

◆下は第3新東京市と周辺地図のラフイメージ。

◆ここがネルフ基地

周辺地図

◆ラフ設定

◆初期稿

◆ラフ設定

◆シャッター開時

武器庫ビル

◆シャッター開時

◆左3カットは、武器庫ビルのギミックイメージ。上図の決定案と比べると、全体の形状の違い、ロックボルトの露出、シャッターではなく蓋になっているなどの相違が認められる

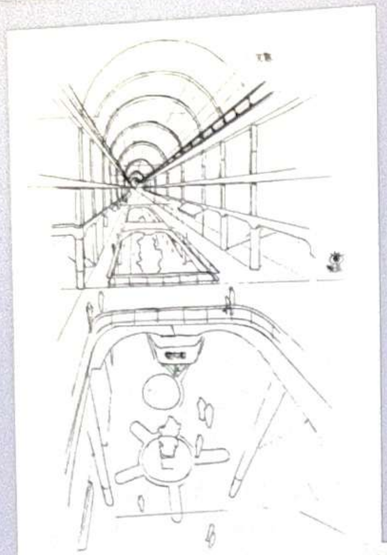
重要施設収容状態◆

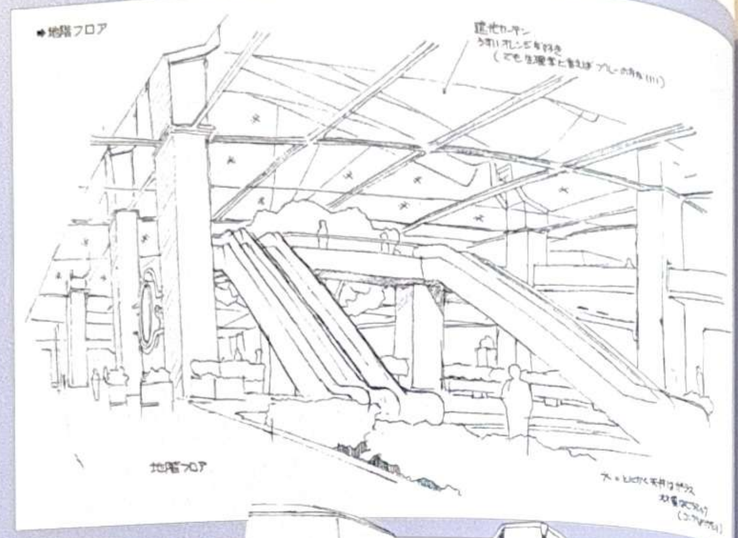
◆ブロックイメージ

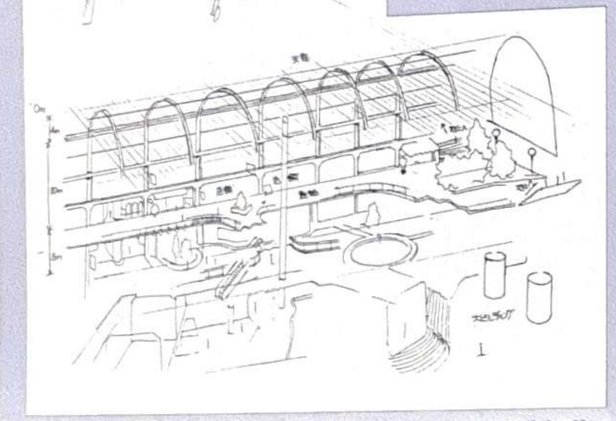
全体図

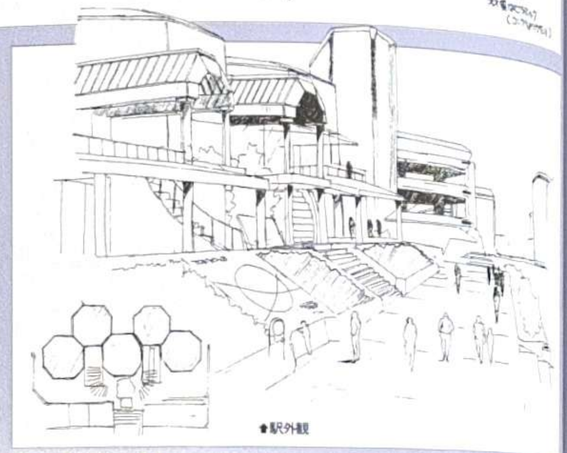
水没ビル

◆◆第1話で、第三使徒サキエルが登場したシーンで使われた印象的な水没ビル群のラフスケッチ。天変地異で街が崩壊した様子が効果的に表現されている









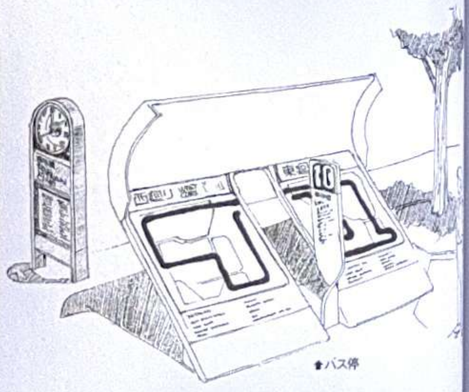
★駅外観

★★これらは第3新東京市の市街地ラフスケッチ。実際に描かれた街よりも、かなり近未来的なイメージになっている。右図のバス停などは、特に目を引くデザインだ。上2カットは、アーケードモールのような天蓋付きストリート。「市民に開放感を与えつつ地下での暮らしが苦にならないような町」をコンセプトに描かれている

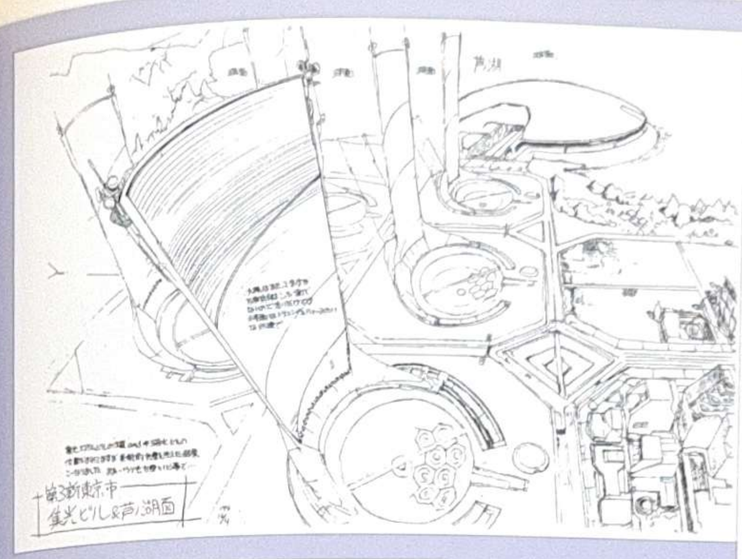
市街地初期ラフイメージ

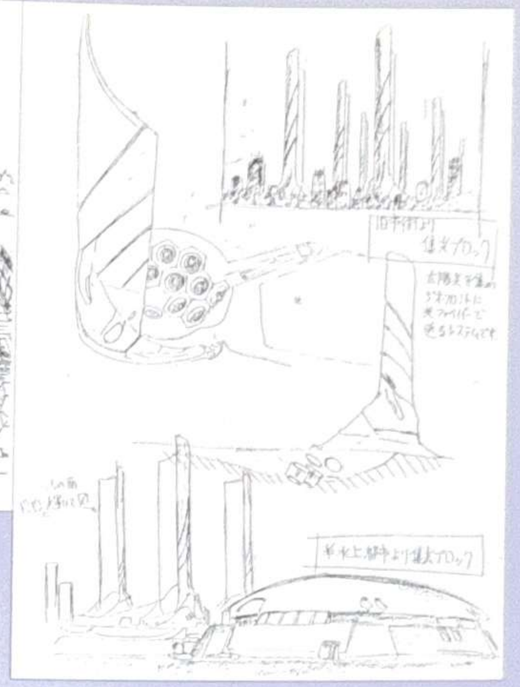
★メーンストリート（決定稿）





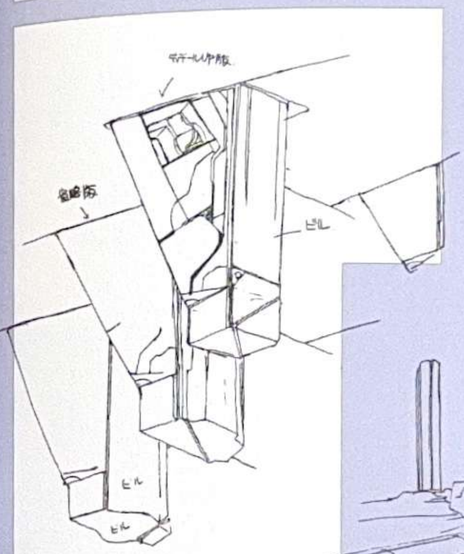
★バス停

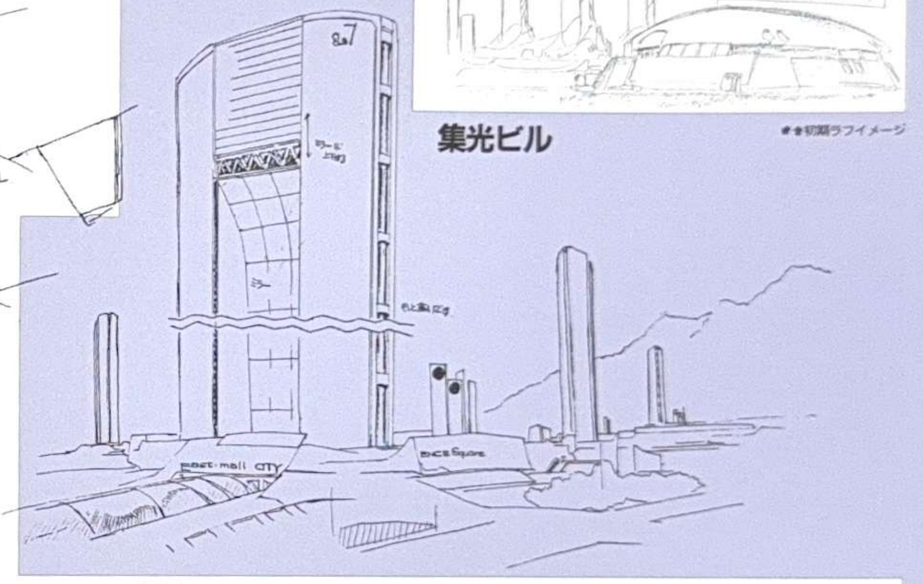


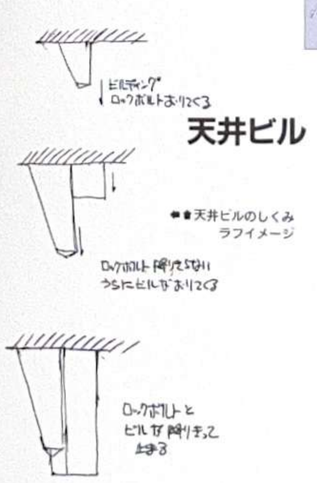


集光ビル

★★初期ラフイメージ

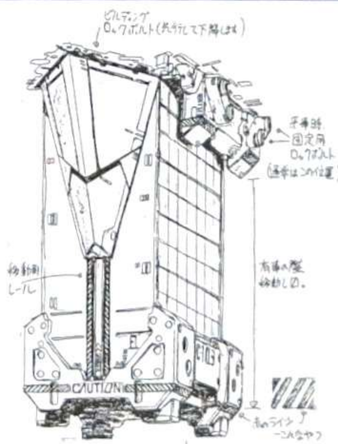


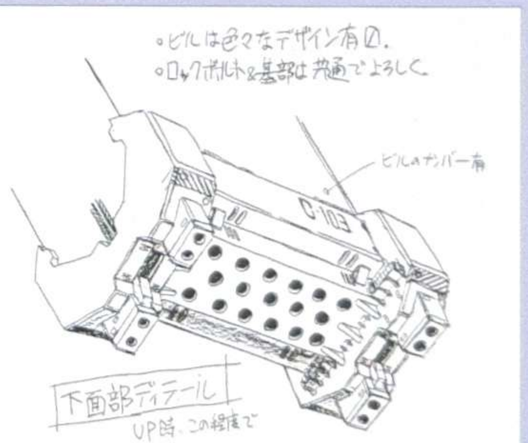




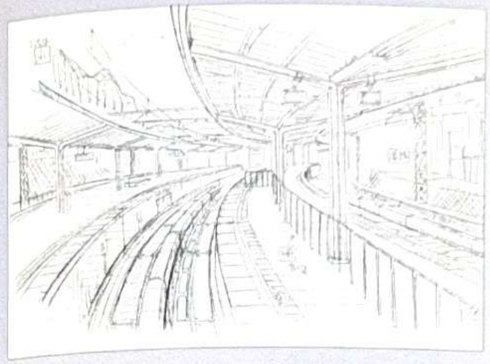
天井ビル

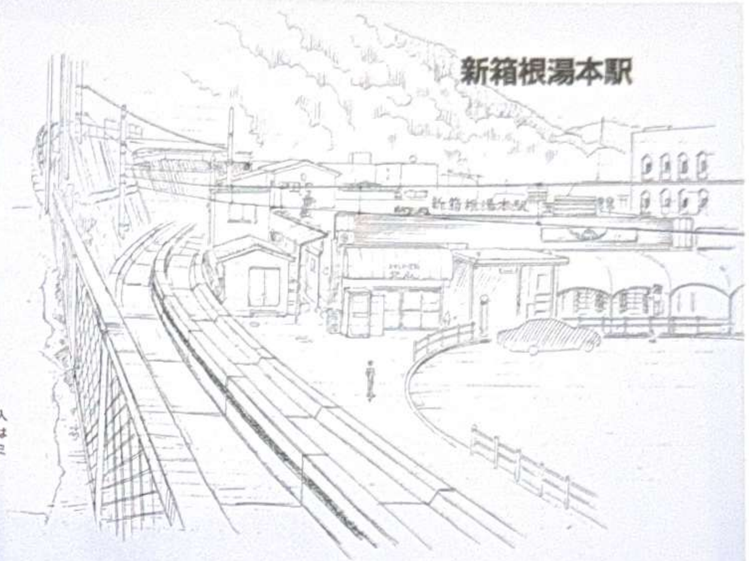
★★天井ビルのしくみ ラフイメージ



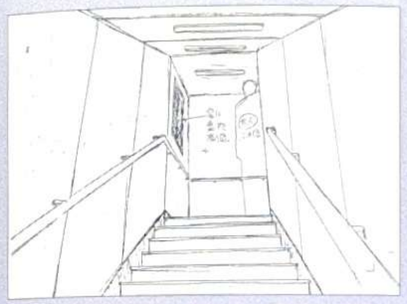


新箱根湯本駅

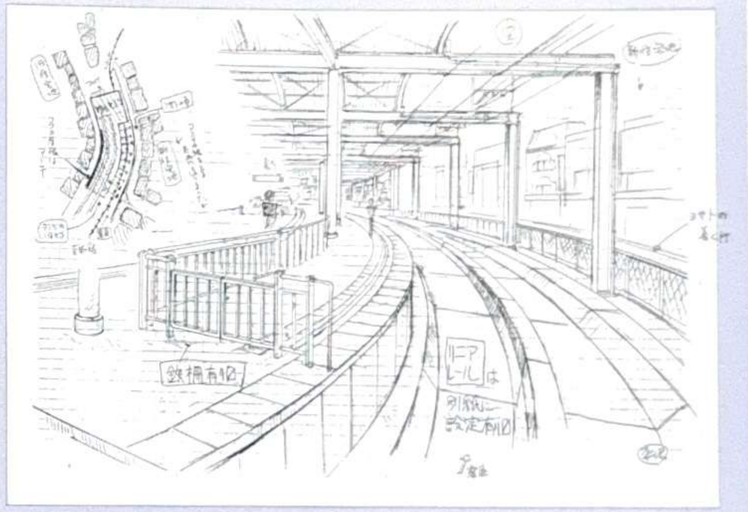


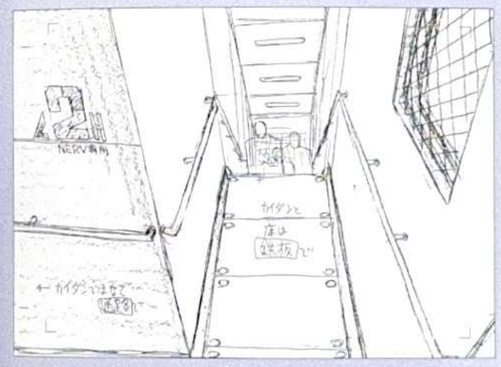


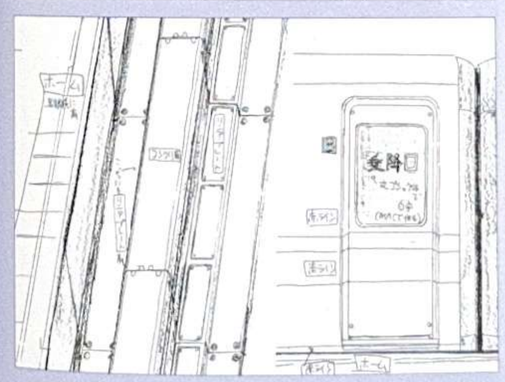
◆◆◆第4話に登場した新箱根湯本駅。駅入口の左にはスタンド喫茶「エム」、右側にはコインロッカーがある。右下の設定には、ミサトの車の進路まで細かく指定されている



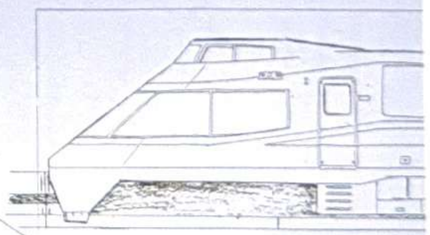
◆◆第4話でシンジが諜報部の黒服に連行される際に通る駅の階段。ネルフ専用の通路で、窓には金網が張られている。ホームへ向かう階段というよりは、刑務所や収容所などの通路のような暗さだった



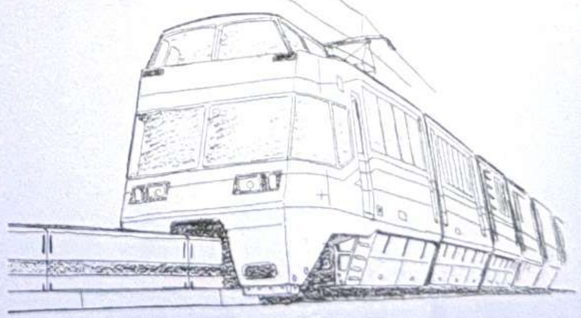




リニア式小田急ロマンスカー

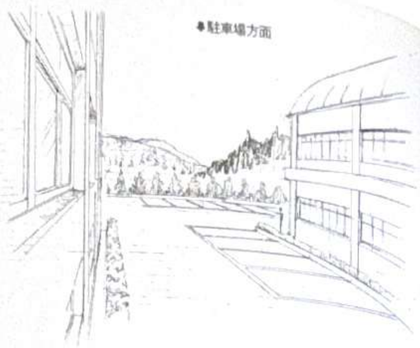


◆左はリニアレールを上から見たディテール。右は乗車口ディテール





◆◆全景



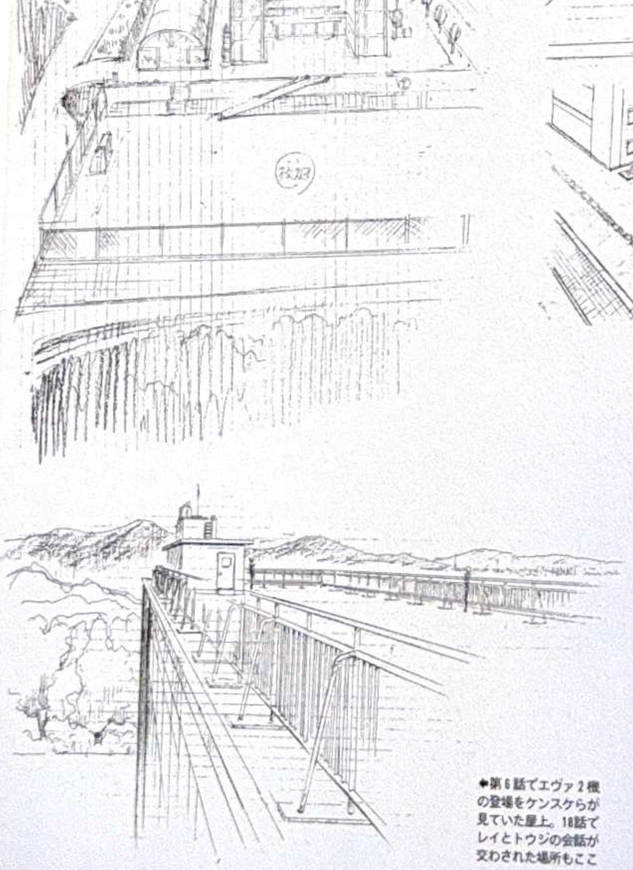
◆駐車場方面



第3新東京市立第壱中学校

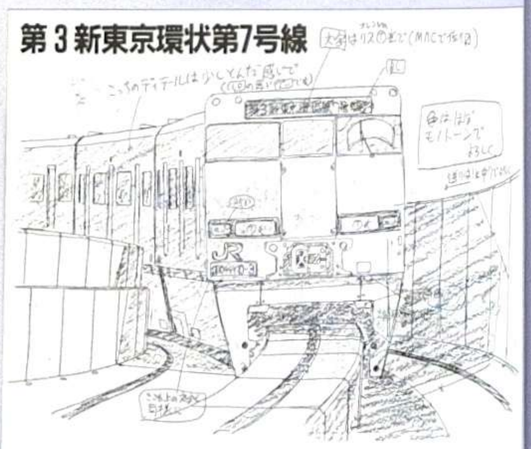
◆上の2つの図は、第3話でトウジがを殴りつけた、体育館と校舎の間にま付近と、その切り返し。駐車場も生徒出入口でもある

◆第5話でシンジがレイを見つめていたプール。校舎をはさんで体育館のちょうど反対側に位置する



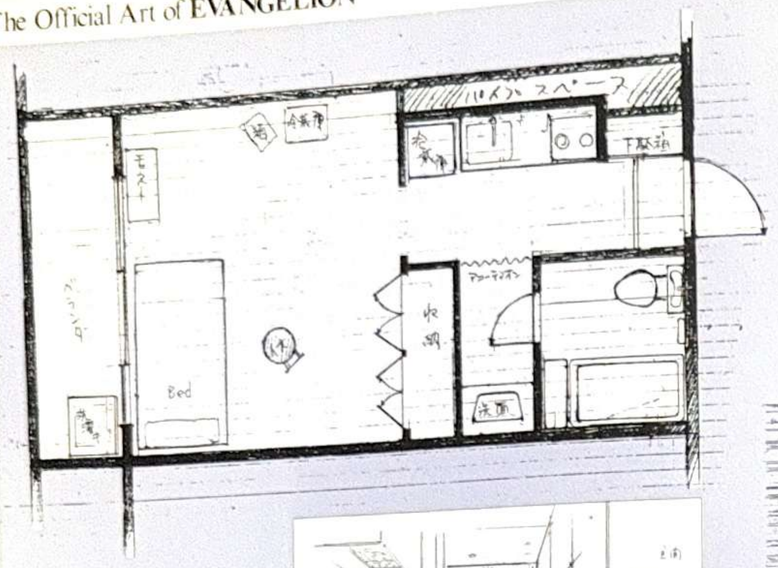
◆第6話でエヴァ2機の登場をケンスケらが見ていた屋上。18話でレイとトウジの会話が交わされた場所もここ

第3新東京環状第7号線

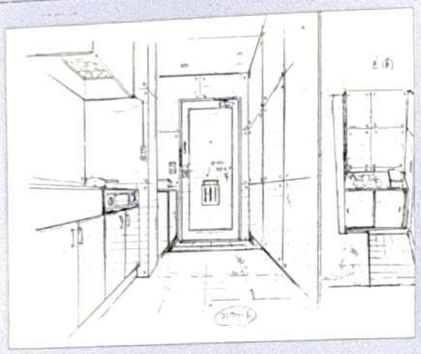


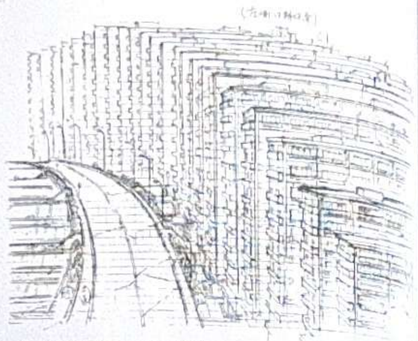
◆第4話で、シンジが家出をするときに使った路線。第12話では、ミサトたちがラーメンを食べに行くとき利用

レイの部屋

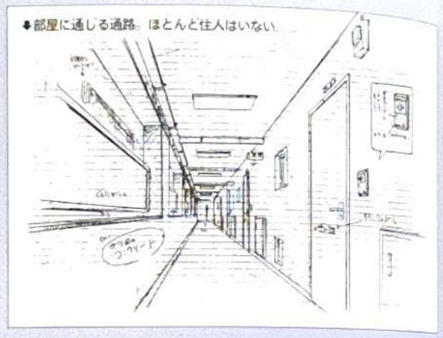


◆部屋の間取り図

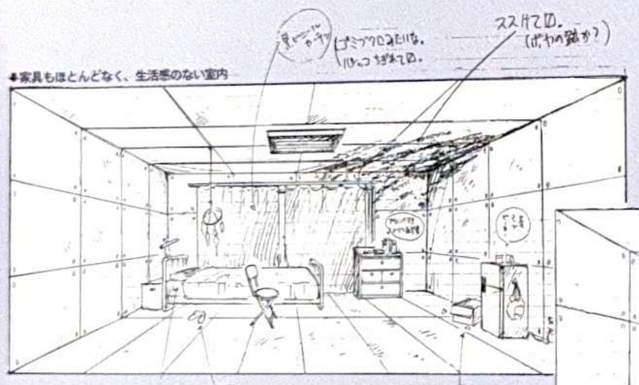




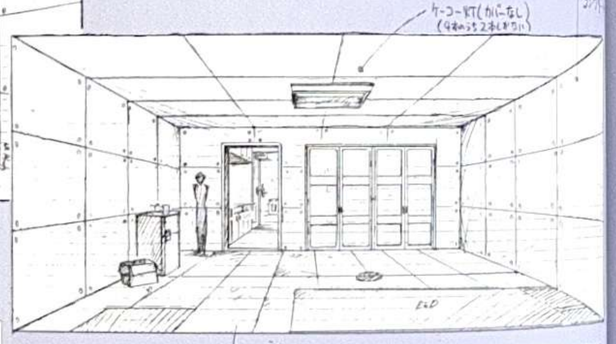
◆レイの住むマンモス団地の外観



◆部屋に通じる通路。ほとんど住人はいない。

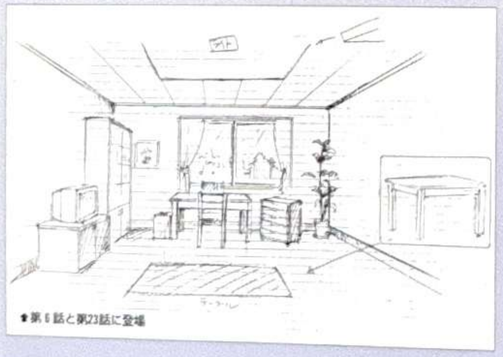


◆家具もほとんどなく、生活感のない室内



◆部屋奥から。収納スペースがない

ヒカリの部屋

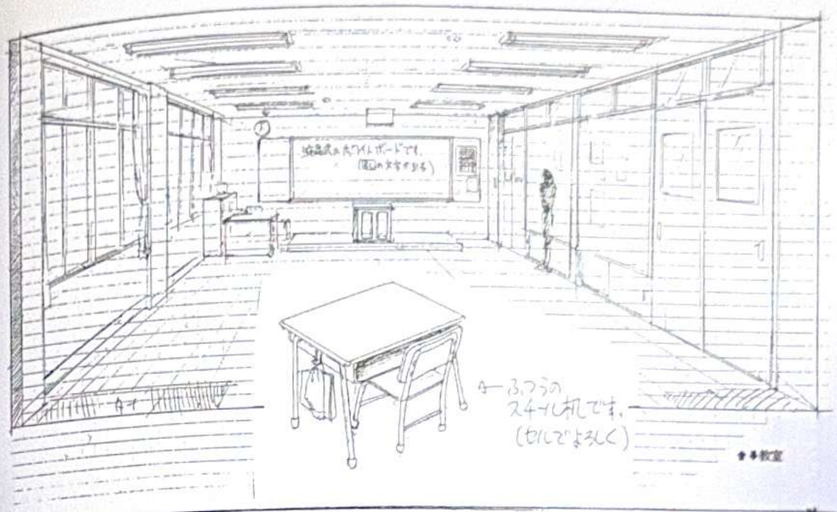


◆第6話と第23話に登場

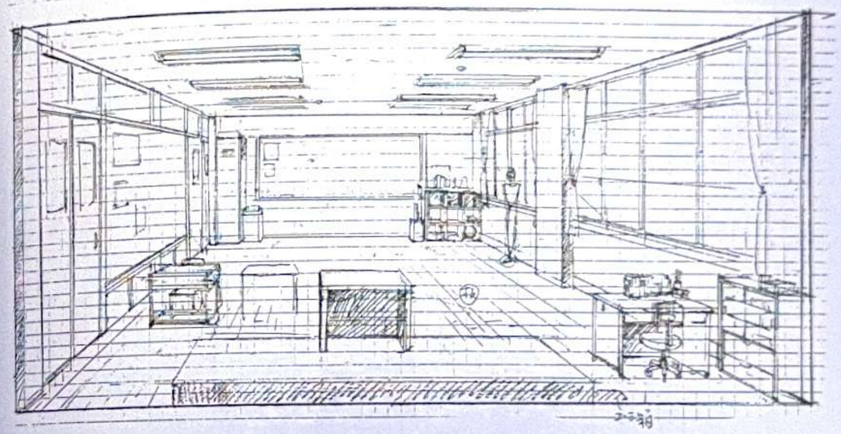
◆第6話に登場した

トウジの部屋

第壱中学校内部

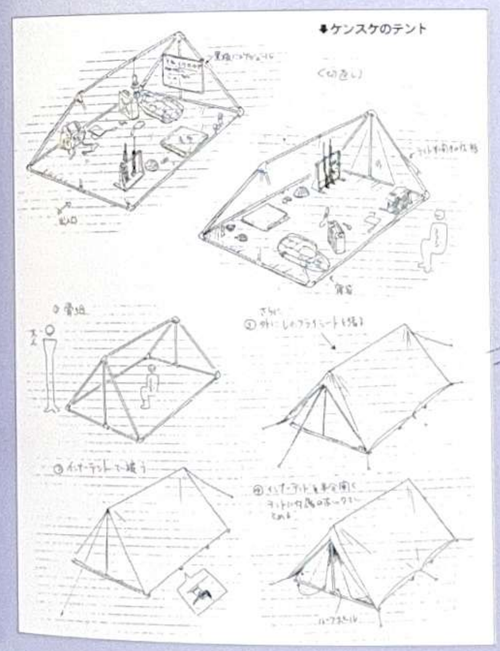


◆教室

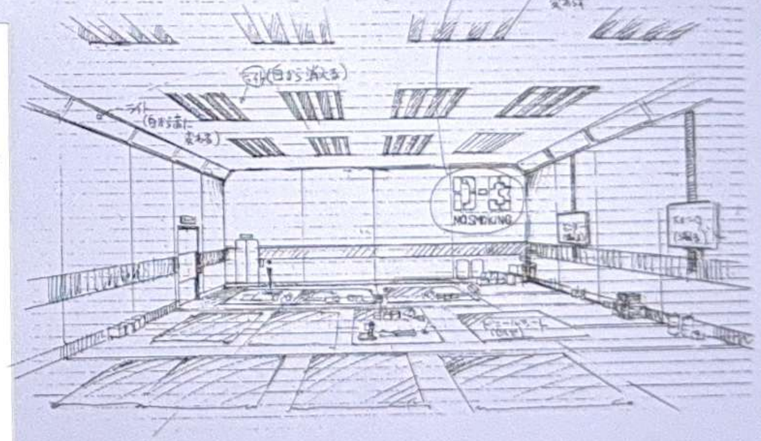




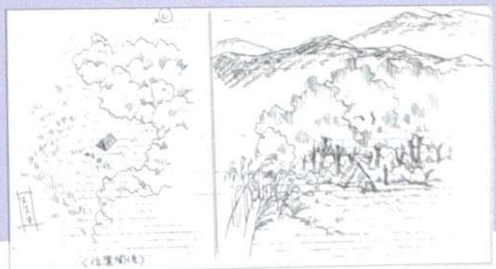
◆廊下



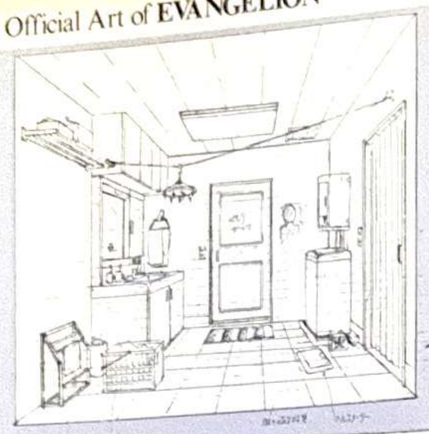
◆ケンスケのテント



◆避難用シェルター



◆テントの周囲







♦乾燥機付洗濯機
♦脱衣所兼洗面所

♦♦風呂場

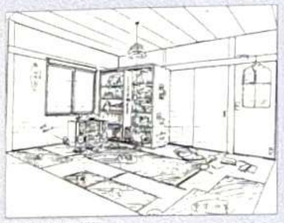




♦♦リビングルーム





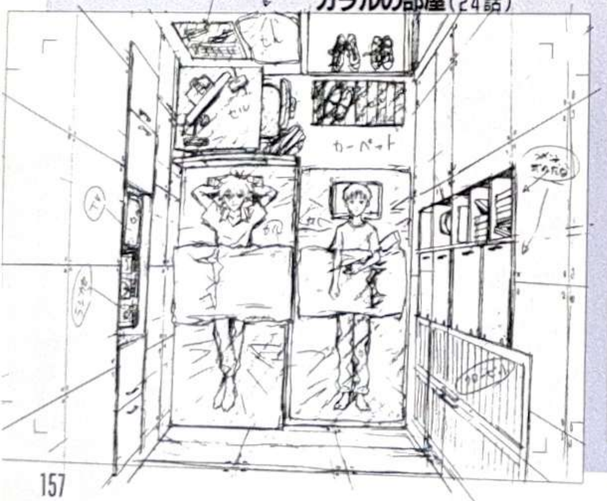


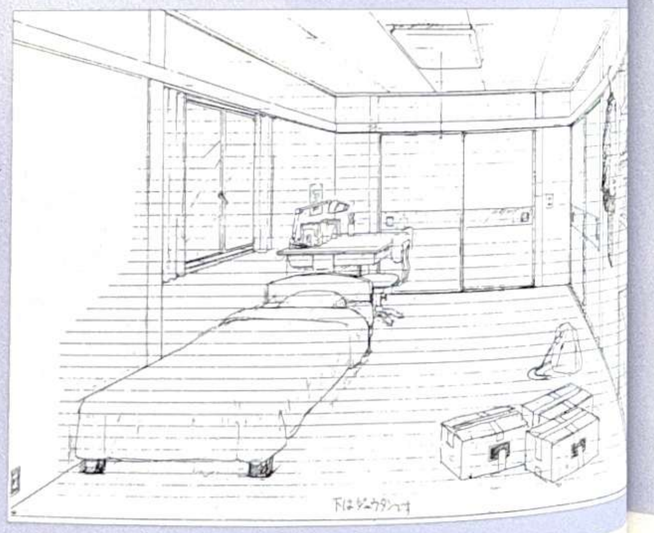
♦♦ミサトの部屋



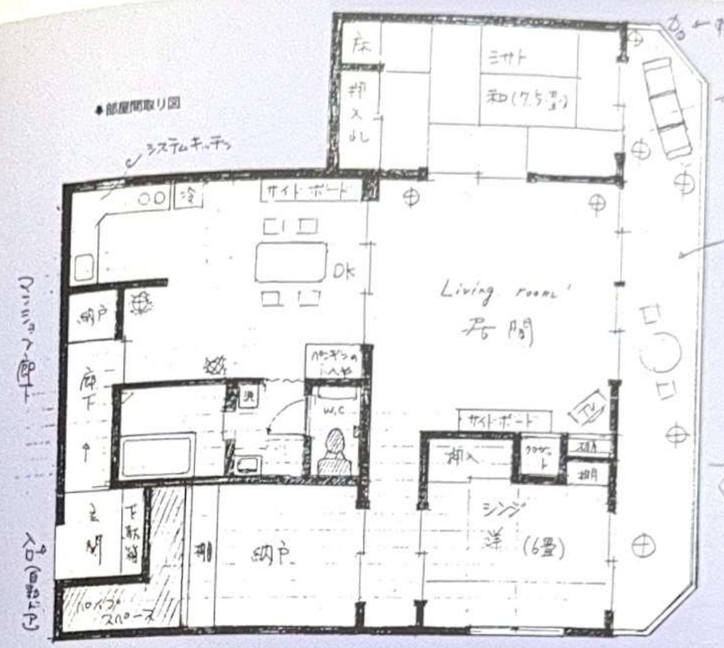
♦♦シンジの部屋

from Scenes
カヲルの部屋(24話)





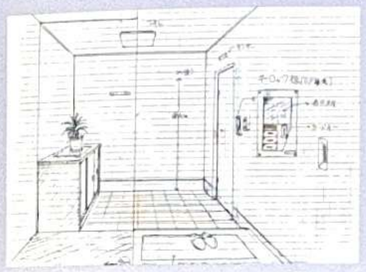
ミサトのマンション



(※は調用種別です)



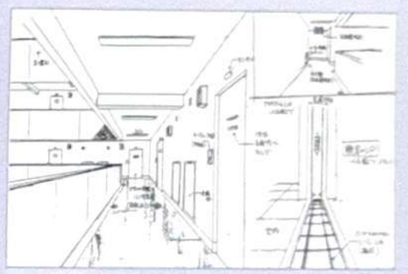
♦市郊外に位置する高級マンション



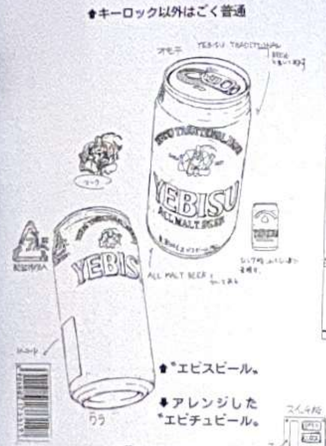
♦キーロック以外はごく普通



♦玄関から奥をのぞむ

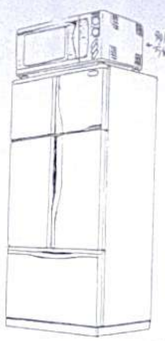


♦入口と玄関前

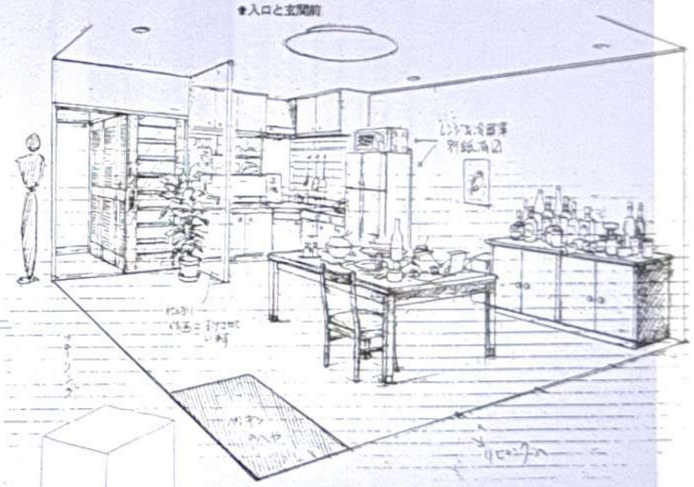


♦"エビスビール。

♦アレンジした
"エビチュビール。

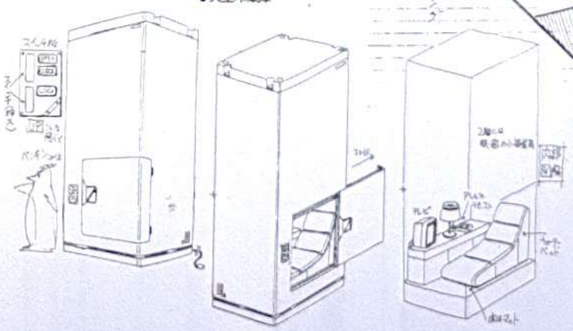


♦大型冷蔵庫



♦♦ダイニングキッチン





♦ペンペンが住む部屋

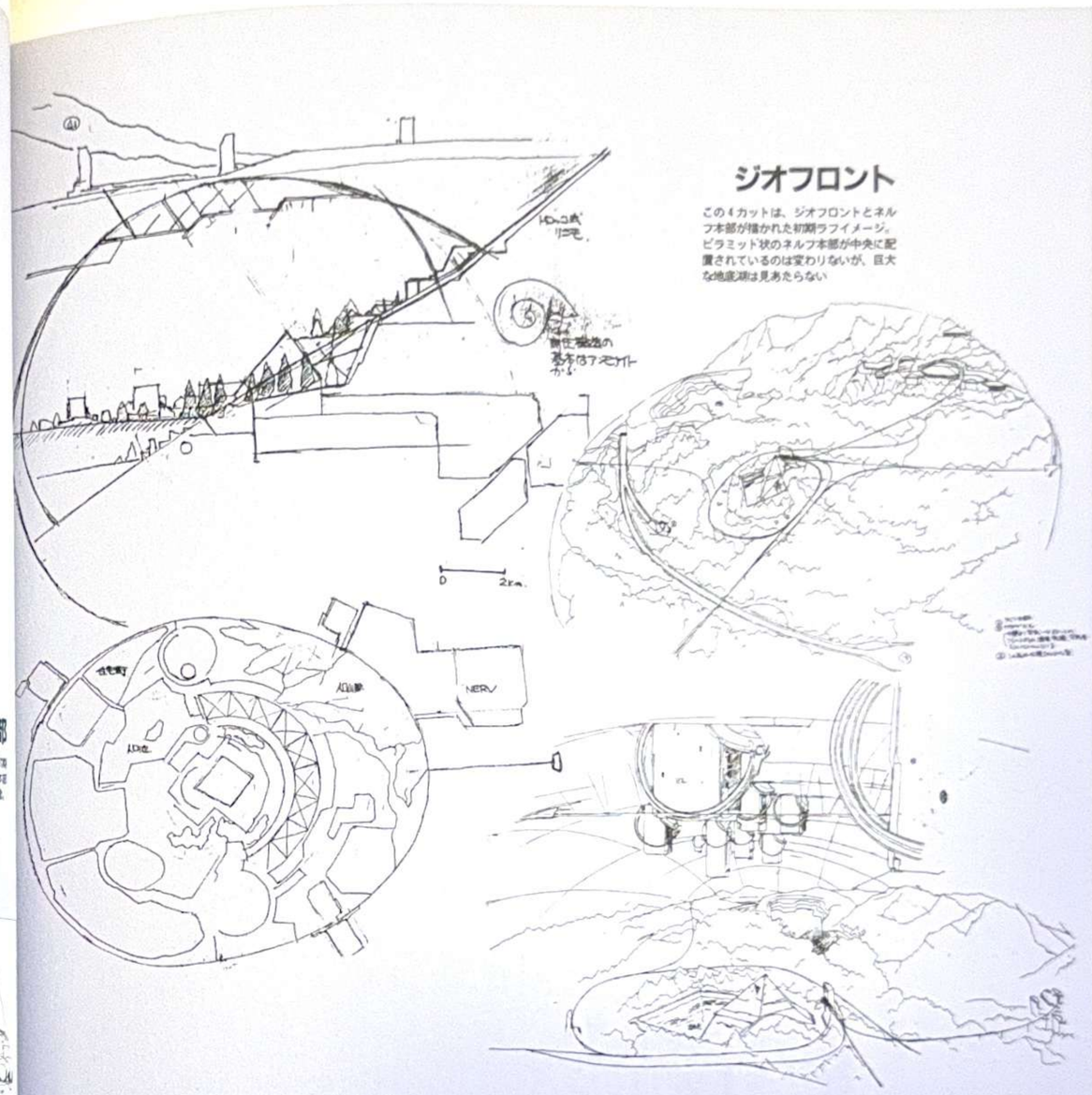
ジオフロント・ネルフ本部

GEO FRONT & NERV'S HEAD OFFICE

ジオフロントは、第3新東京市の地下に広がる巨大な地下都市。もともとは直径13・75kmの巨大な球形の空間だったが、30%が土砂に埋まっていて、最上部の直径6kmの空間中央にネルフ本部が設置されている。地上とはモノレールやカートレインで連絡される。

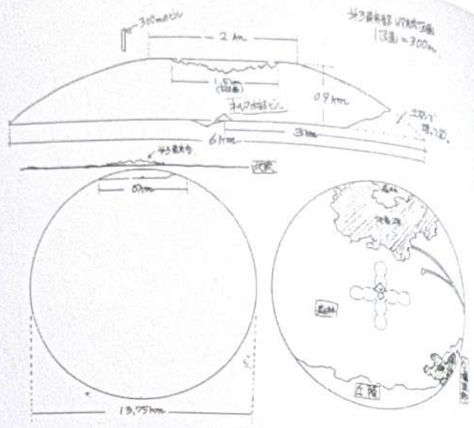
ジオフロント

この4カットは、ジオフロントとネルフ本部が描かれた初期ラフイメージ。ピラミッド状のネルフ本部が中央に配置されているのは変わりないが、巨大な地底湖は見あたらない



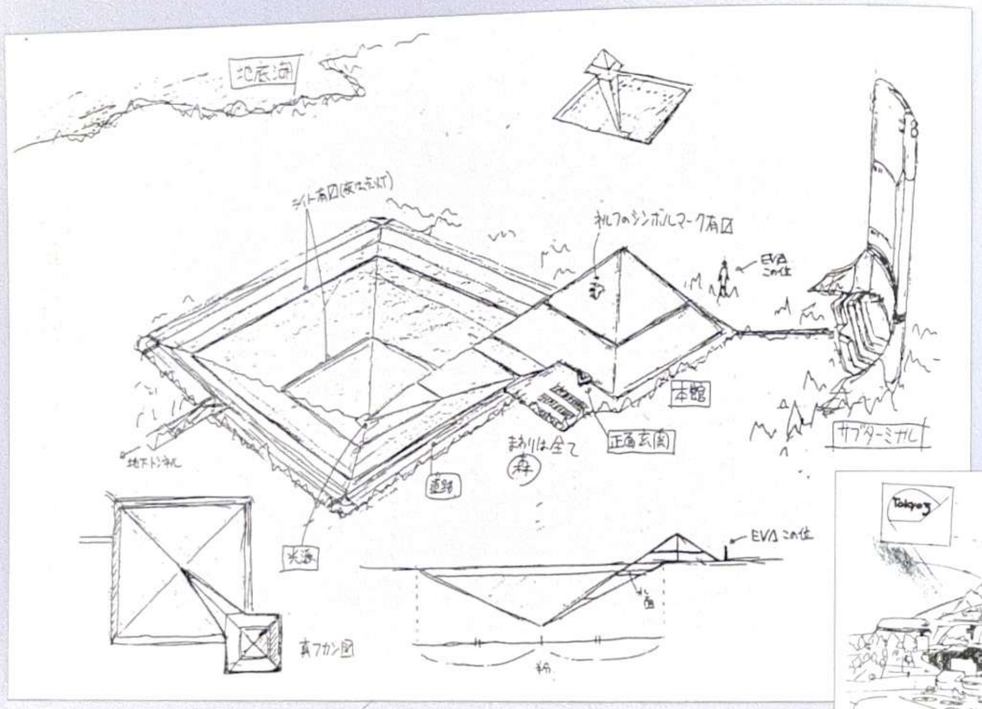
天井ビルと地底湖が描かれた決定稿

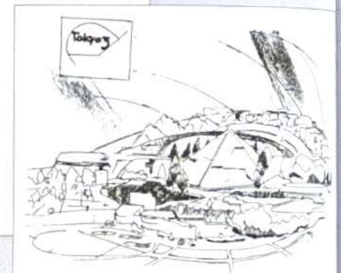


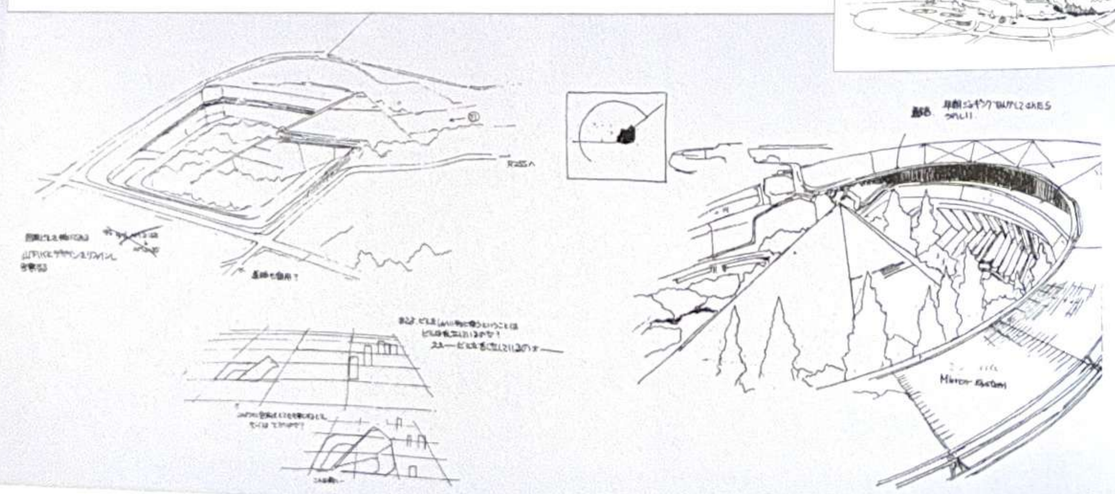


ネルフ本部

下の3カットはネルフ本部の初期ラフ。円形の集光システムが各ビルを取り囲んでいるのが特徴。左は決定稿





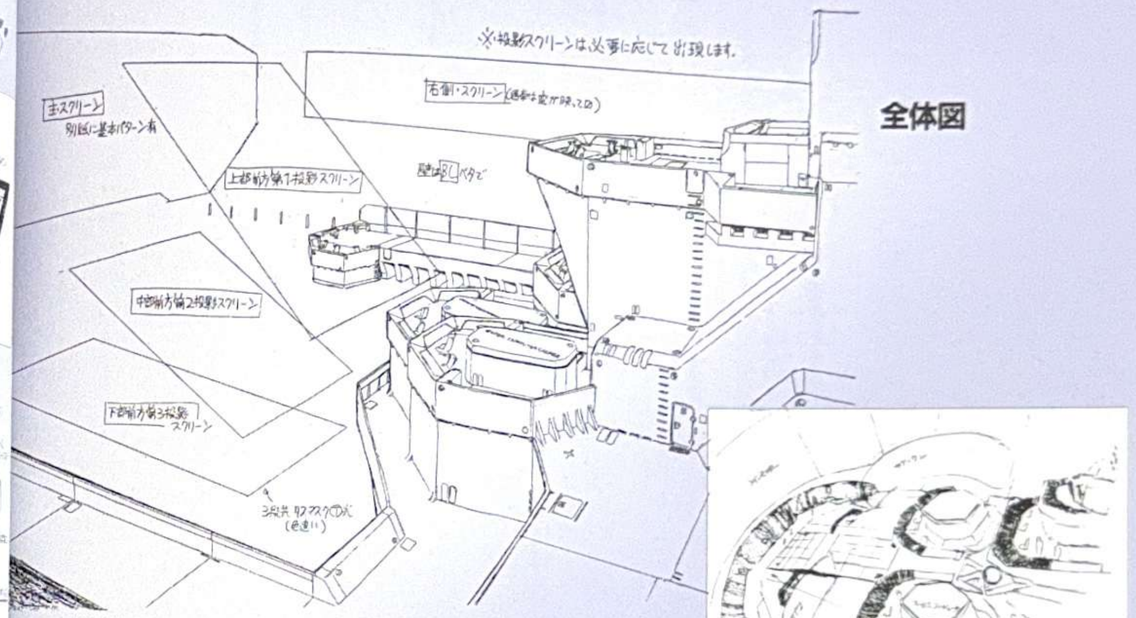


中央作戦司令室

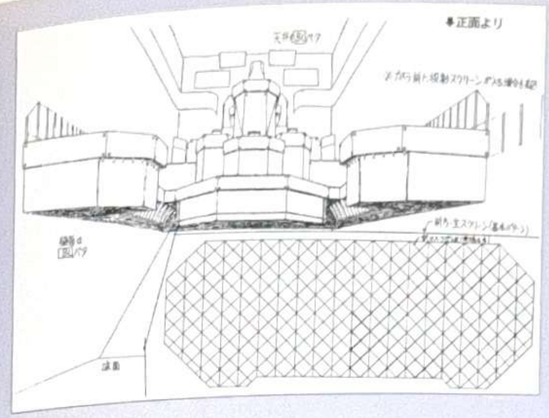
TACTICS COMMAND ROOM

使徒との戦いを中心とする、あらゆる作戦行動の指揮を統合する本部。司令塔後方に位置する司令官のゲンドウが統括し、副司令の冬月がサポート。そして、各セクションのオペレーターへと指示が伝わる。

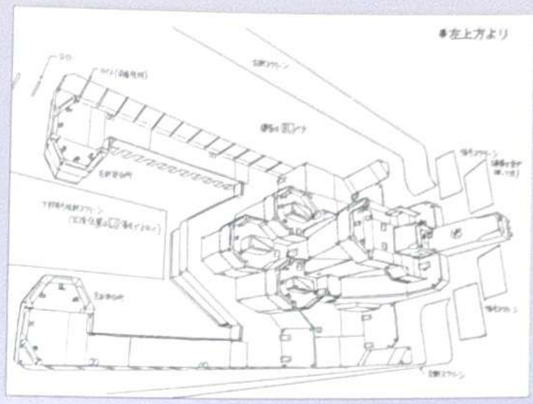
全体図



◆左後方より



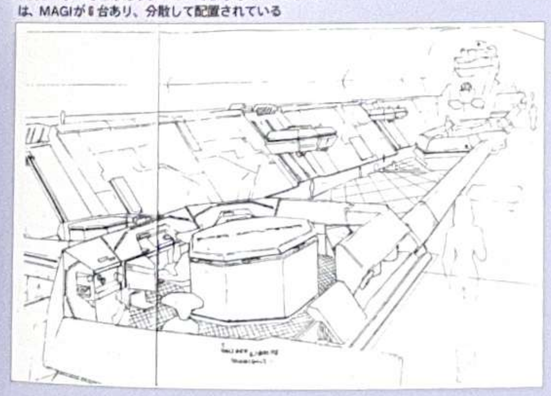
◆正面より

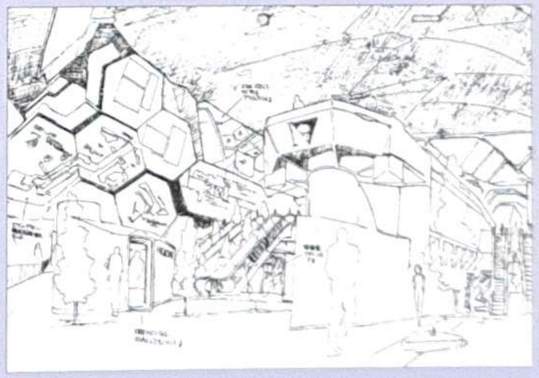


◆左上方より

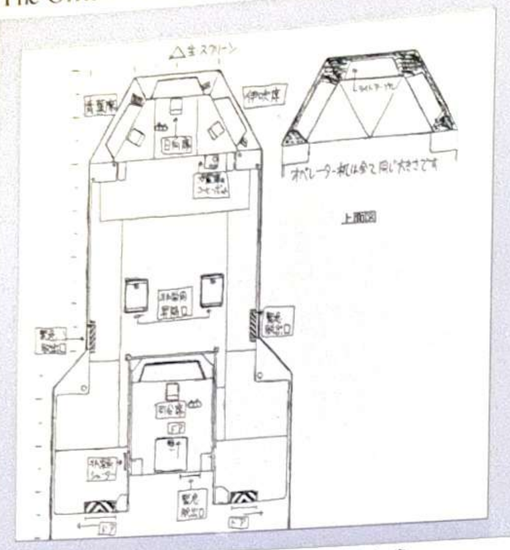
ラフ・イメージ

この3カットは、司令室の構想ラフ。右上は、MAGIが2台で前面スクリーンが曲面になっている。右下は、エスカレーターなどがあり、ロビーのようなイメージ。下は、MAGIが6台あり、分散して配置されている

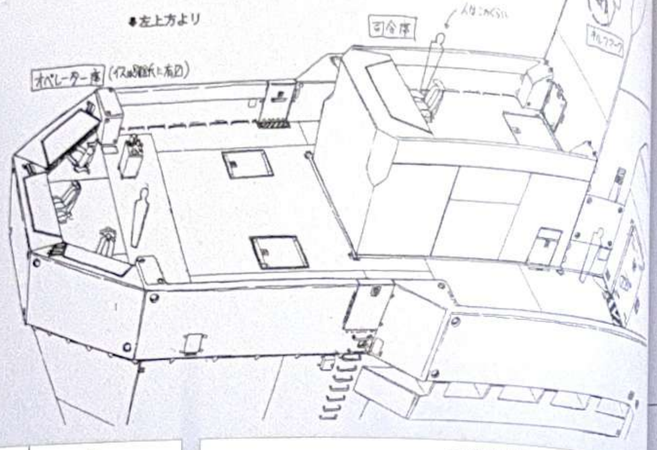




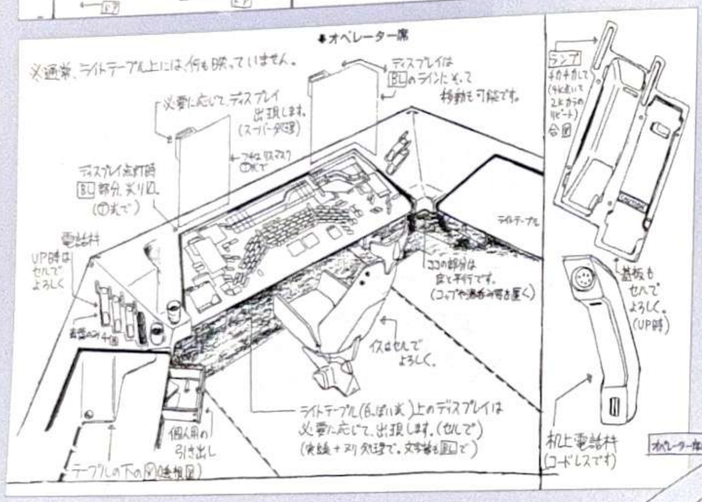
司令塔第一発令所

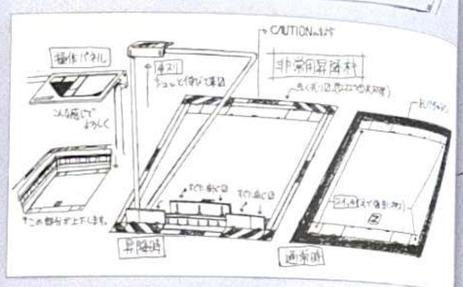


◆左上方より

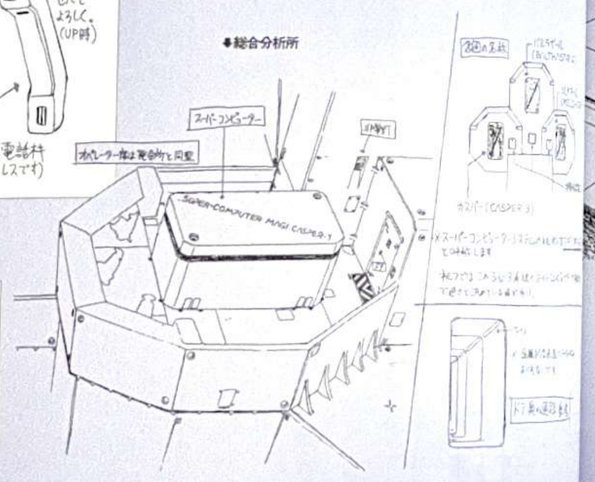


◆オペレーター席

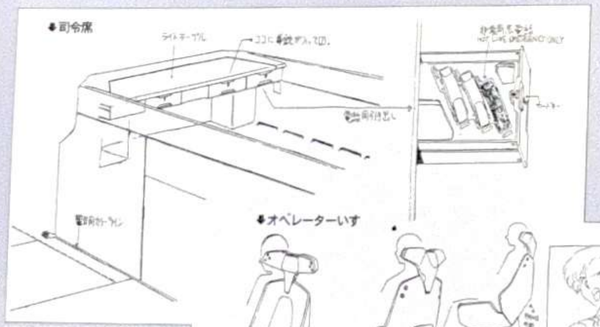




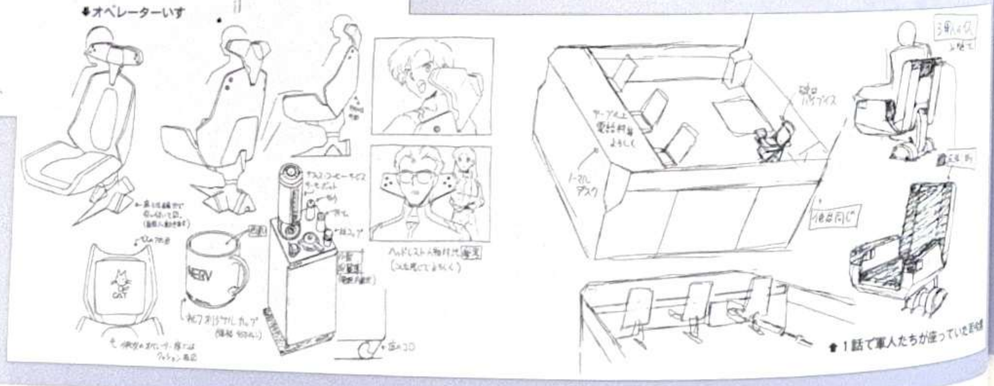
◆総合分析所



◆司令席



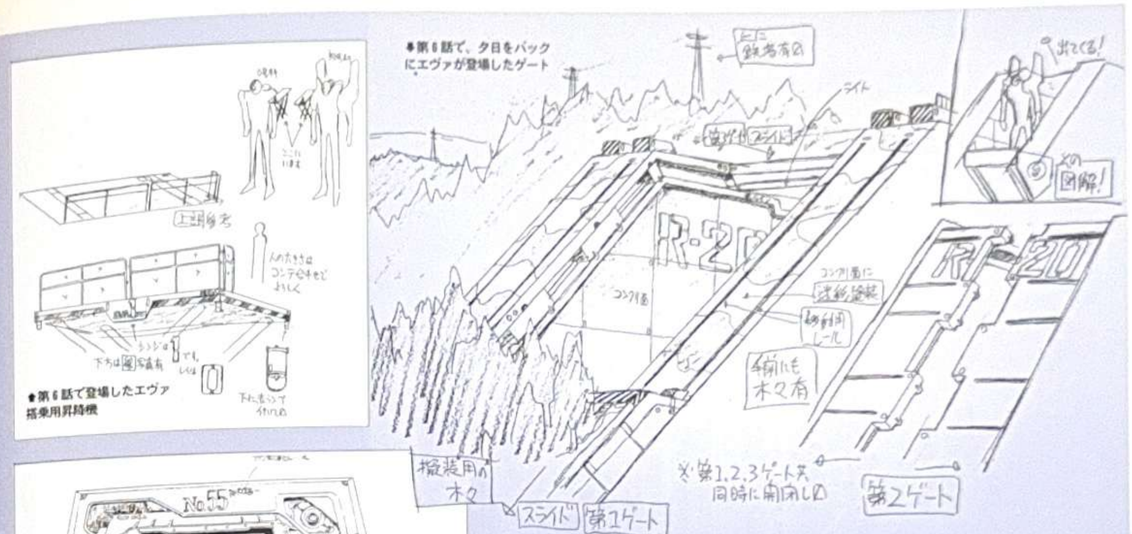
◆オペレーターいす



◆1話で軍人たちが座っていた席

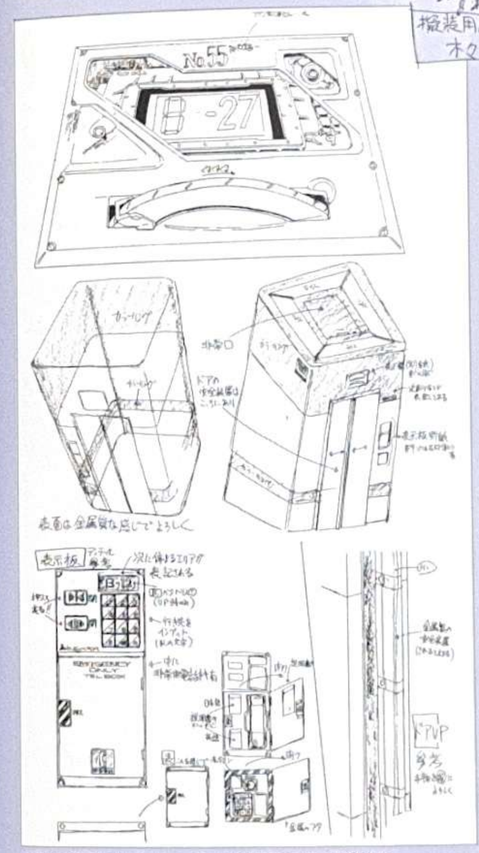
ネルフ&国連設備・機器
NERV & UN'S FACILITIES & MACHINE

特撮映画の魅力をふんだんに取り入れた物語では、背景となるネルフ内の設備や、車両や航空機、軍艦などの軍用メカも重要な存在となっている。特に軍用メカは、一見、現用兵器の延長のようだが細かい部分に独自の世界観があり、作り手のこだわりがうかがえる。

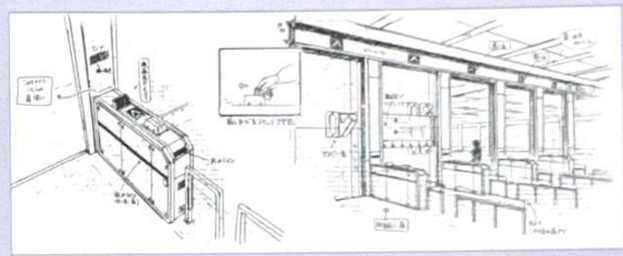


★第6話で、夕日をバックにエヴァが登場したゲート

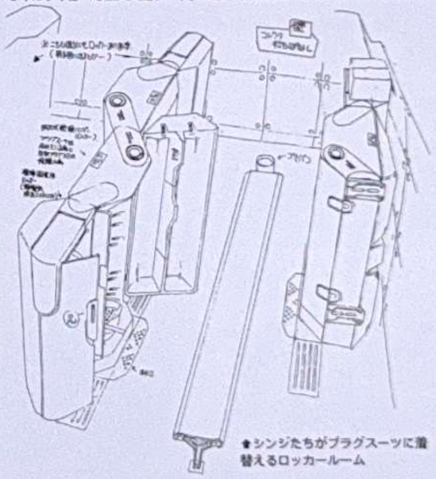
★第6話で登場したエヴァ搭乗用昇降機



★ネルフ本部内エレベーター。ディスクが回転する表示板が特徴的



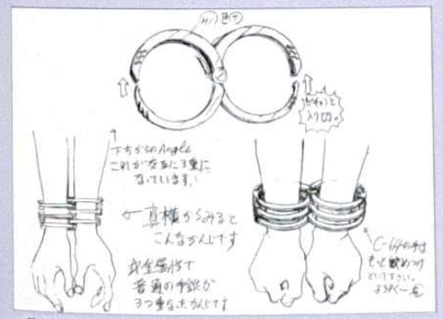
★ネルフ本部への無人入館ゲート。スリットにIDカードをスライドさせてロックを解除する



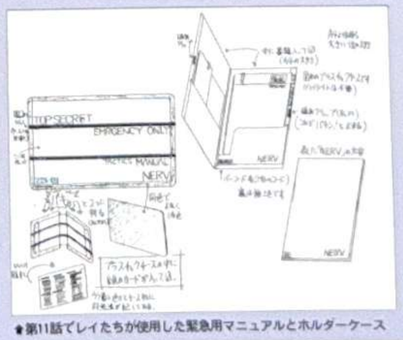
★シンジたちがプラグスーツに着替えるロッカールーム



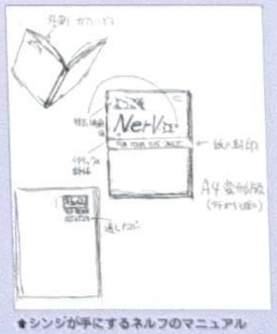
★第3実験場の通路



★第19話でシンジがはめられた手錠。三重構造で、鎖が全くない

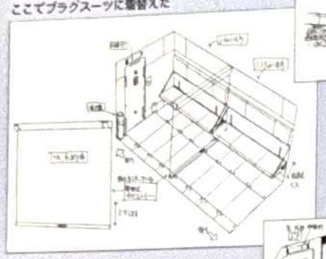


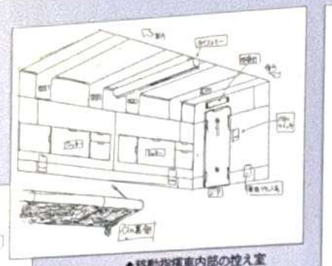
★第11話でレイたちが使用した緊急用マニュアルとホルダーケース



★シンジが手にするネルフのマニュアル

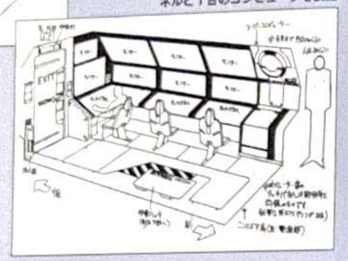
★6話で出撃するシンジとレイは、ここでプラグスーツに着替えた





★移動指揮車内部の控え室

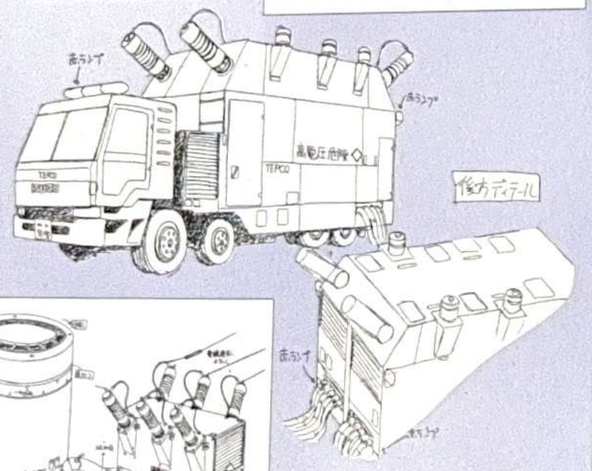
★指揮車内部の司令室。3つのパネルと1台のコンピュータを装備

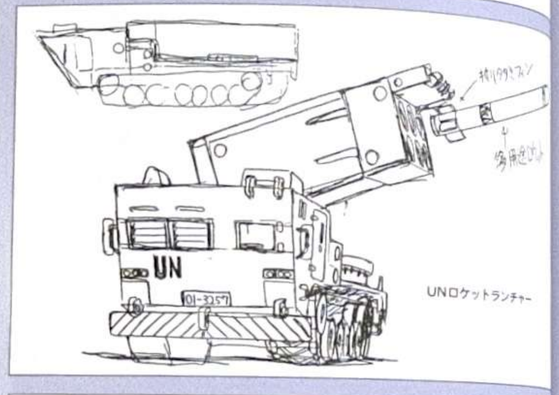




★ネルフ移動指揮車。移動先での簡易司令室として機能する

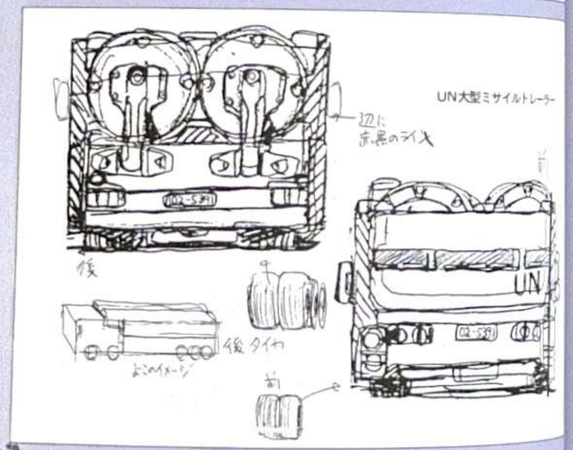
★第6話で日本中の電力を二子山に集結させる際に使用した電源車



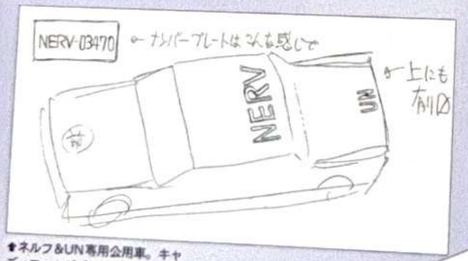


UNロケットランチャー

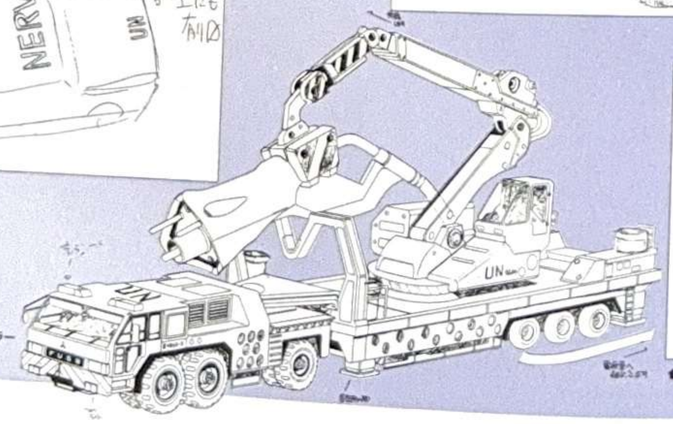
★冷却機と、変圧器&開閉装置



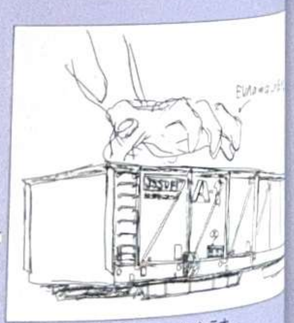
UN大型ミサイルトレーラー



★ネルフ&UN専用公用車。キャディラックがベースになっている

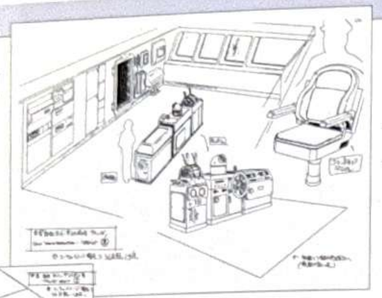


★エヴァ電源装置トレーラー

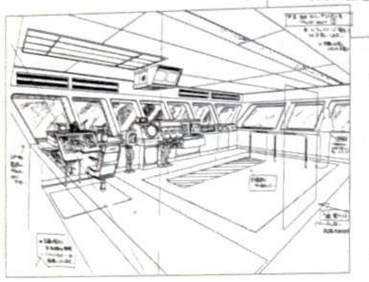


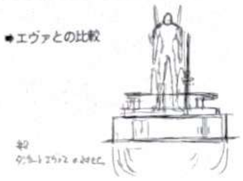
★戦自研の自走爆電子砲パーツコンテナ

弐号機輸送用大型タンカー

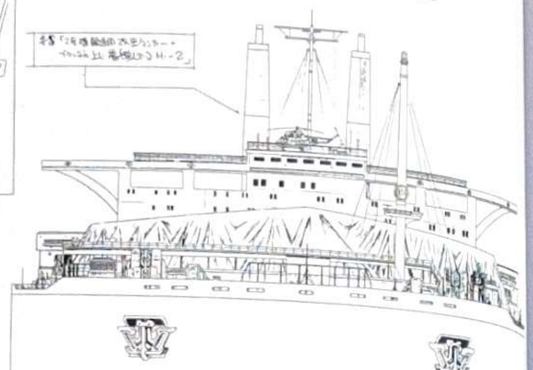


◆◆2カットとも空母オーバー・ザ・レインボウのブリッジ

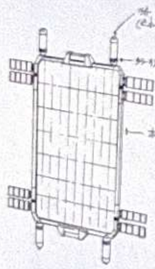




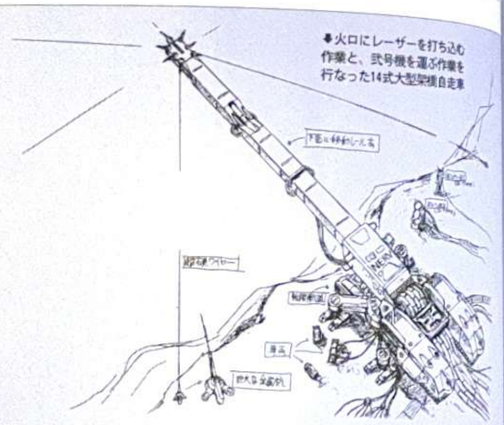
◆エヴァとの比較



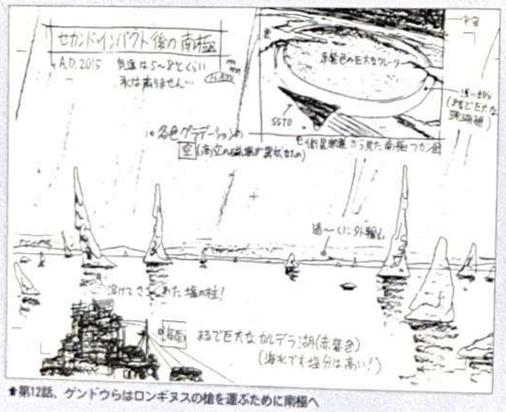
◆前面の布が張られている部分に弐号機が格納された



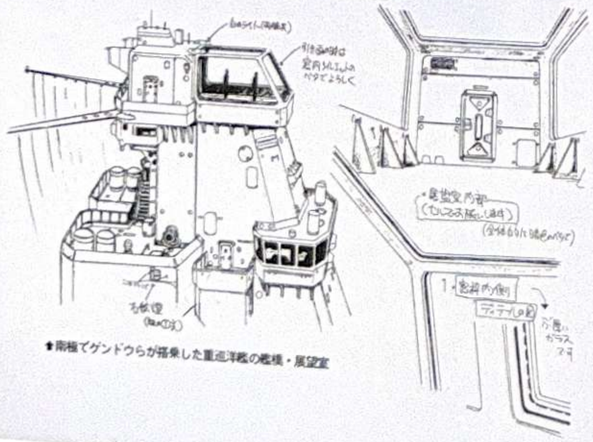
◆サーチ衛星。サハクィエルのATフィールドで破壊された



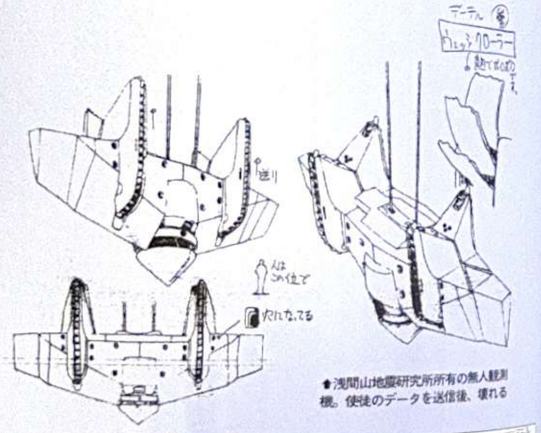
◆火口にレーザーを打ち込む作業と、弐号機を運ぶ作業を行なった14式大型架橋自走車



◆第12話、ゲンドウらはロンギヌスの槍を運ぶために南極へ



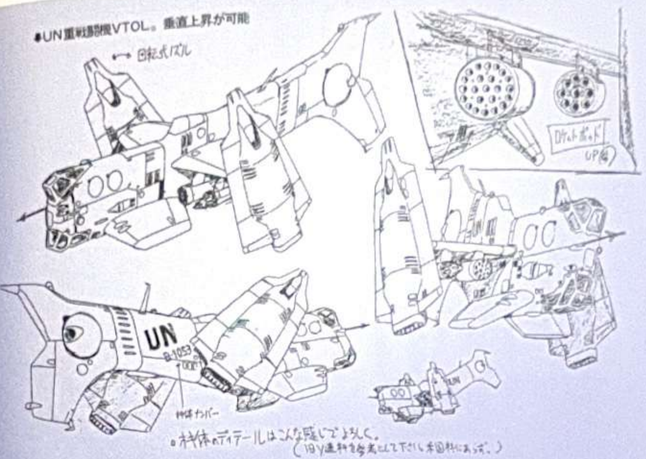
◆南極でゲンドウらが搭乗した重巡洋艦の艦橋・展望室



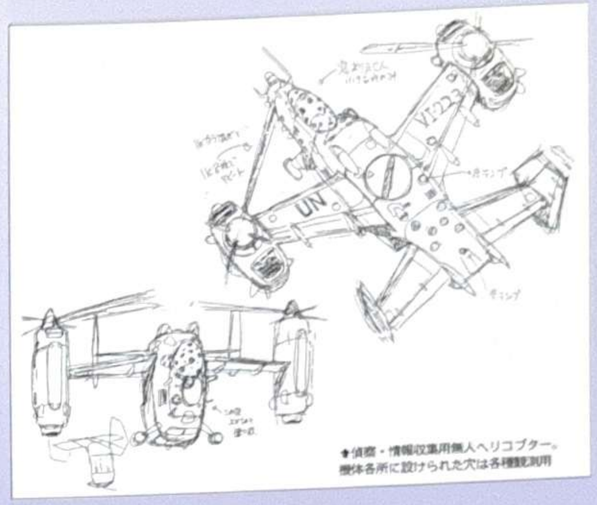
◆浅間山地震研究所所有の無人観測機。使徒のデータを送信後、壊れる



◆浅間山地震研究所内観測室

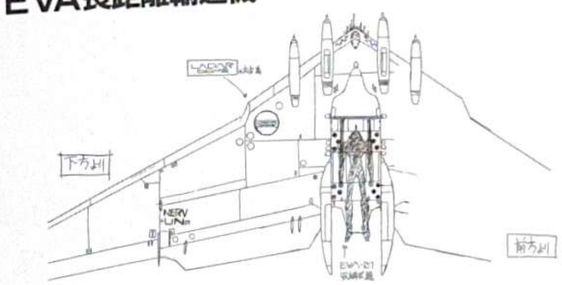


◆UN重戦闘機VTOL。垂直上昇が可能

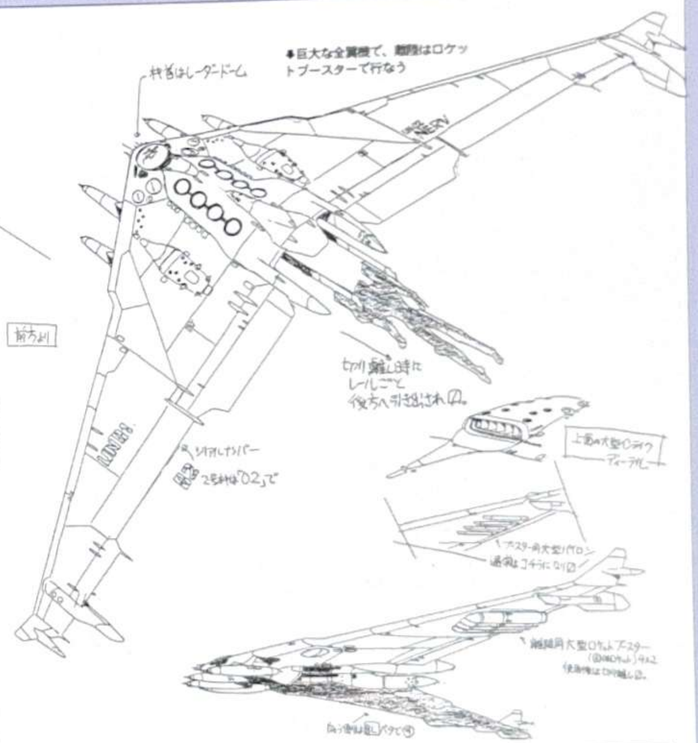


◆偵察・情報収集用無人ヘリコプター。機体各所に設けられた穴は各種観測用

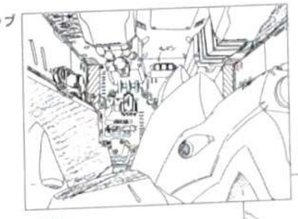
EVA長距離輸送機



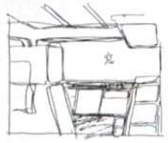
◆機体中央下部にエヴァを固定し、目的地上空で投下する



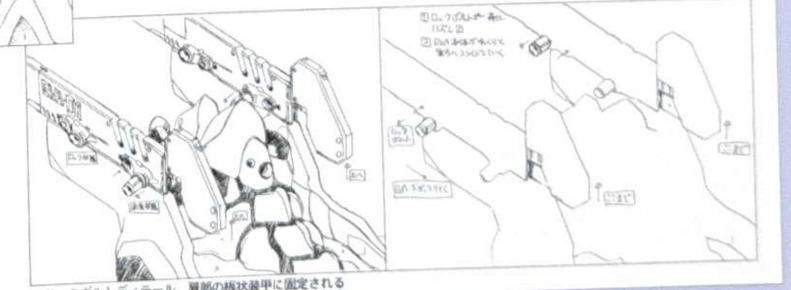
◆巨大な全翼機で、離陸はロケットブースターで行なう



◆エヴァ固定用カーゴ内アップ



◆コクピットと乗務員席

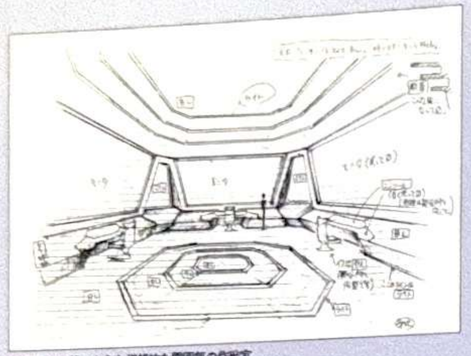


◆ロックボルトディテール。胴部の板状装甲に固定される

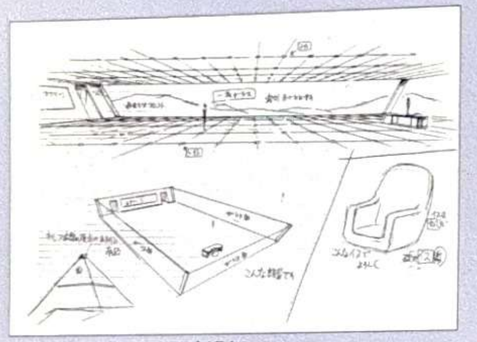
ネルフ内部施設・旧東京市関連

THE INSIDE OF NERV & FACILITIES IN RELATION TO TOKYO1

近未来的だが、どこか現実感が漂うネルフの施設や機器。これらは、物語を引き立たせるセットや小道具たちである。また、第7話で登場した旧東京市も、無骨さが魅力のはぐれキャラ・1人を紹介する。



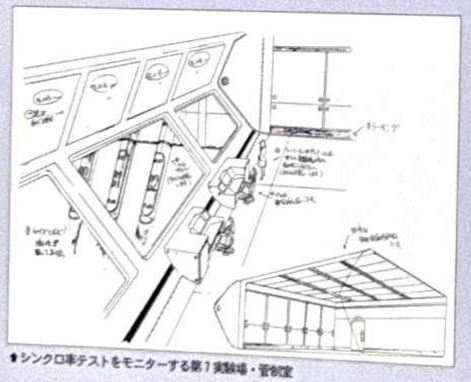
★宇宙船内部のような幻想的な雰囲気の作戦室



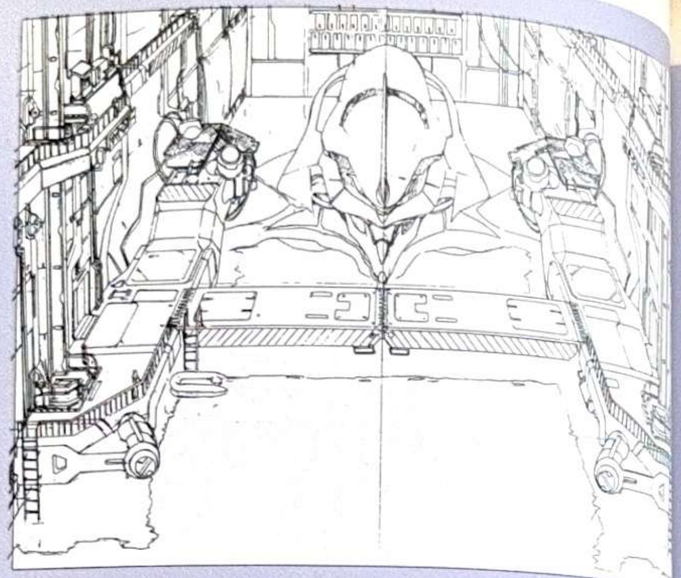
★ゲンドウ、冬月が待機する総司令官公務室

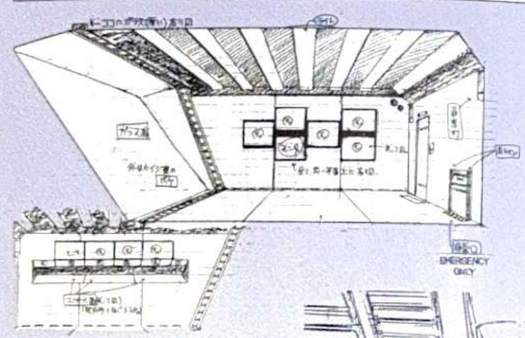


★エヴァの起動実験などを監視するモニター室



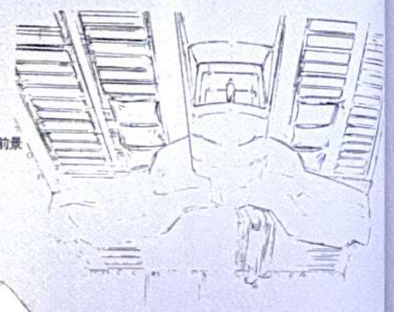
★シンクロ率テストをモニターする第7実験場・管制室



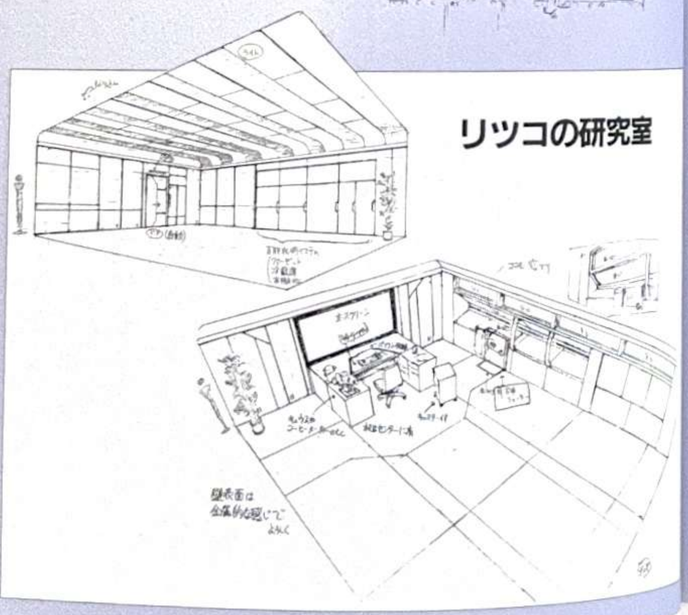


ケイジ

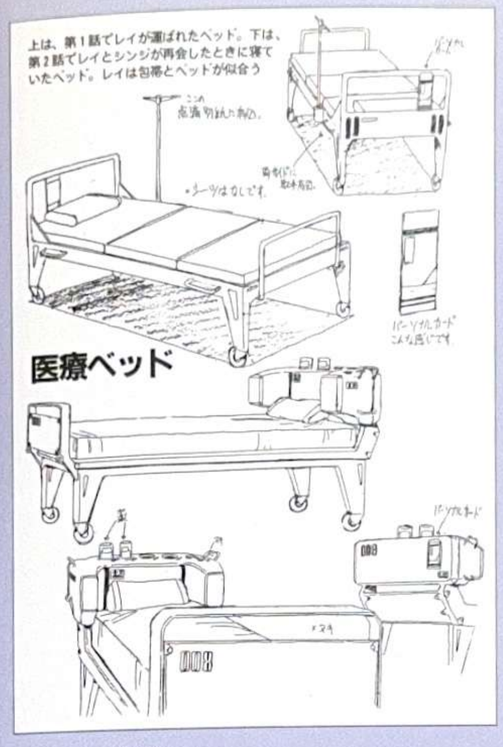
★ケイジ管制室・内部



➡ケイジ管制室・前景

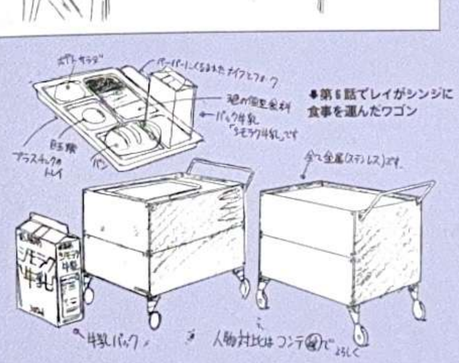


リツコの研究室



医療ベッド

上は、第1話でレイが運ばれたベッド。下は、第2話でレイとシンジが再会したときに寝ていたベッド。レイは包帯とベッドが似合う

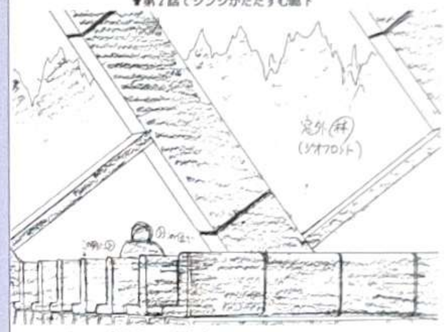


★第6話でレイがシンジに食事を運んだワゴン

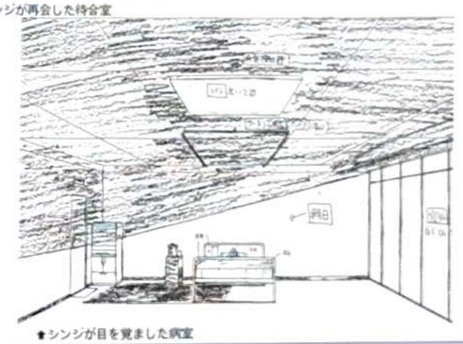


★第2話でシンジがたたずむ廊下

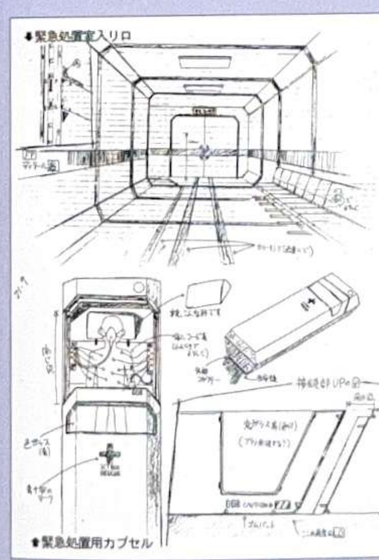
病院



★ミサトとシンジが再会した待合室



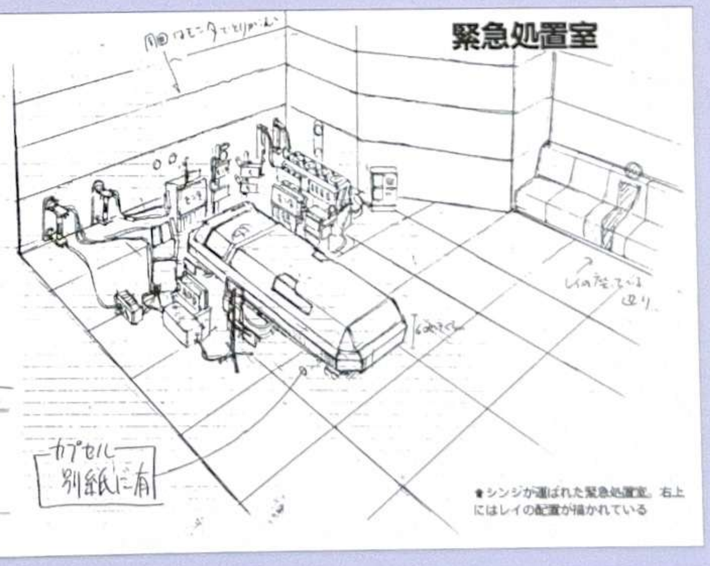
★シンジが目を覚ました病室



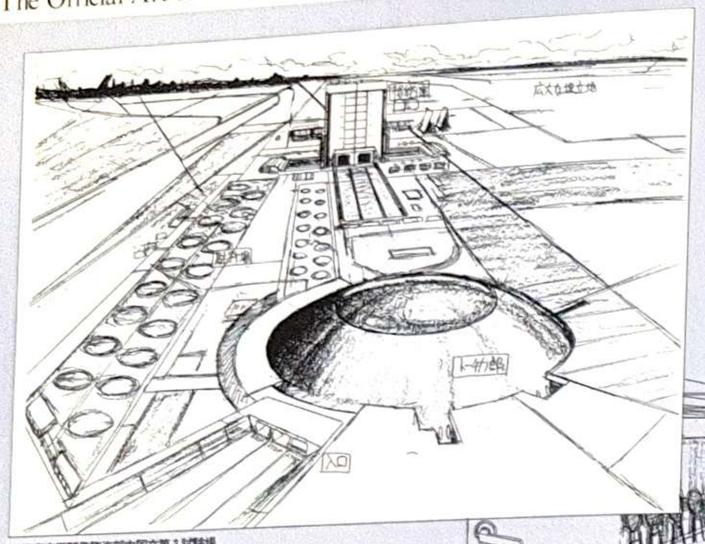
★緊急処置室入り口

★緊急処置用カプセル

緊急処置室

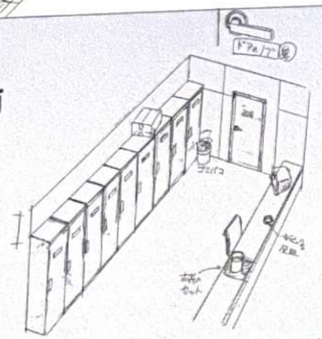


★シンジが運ばれた緊急処置室。右上にはレイの配置が描かれている

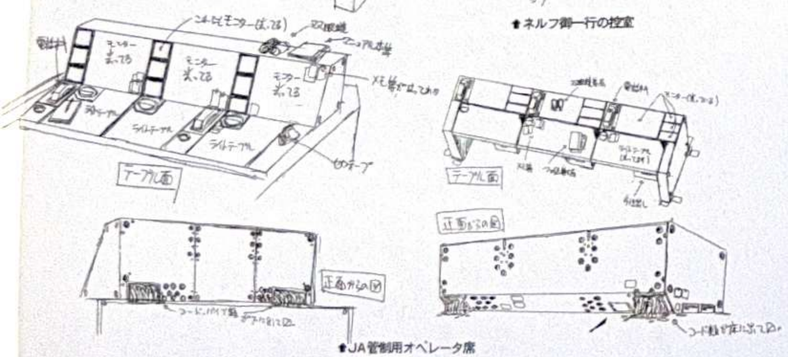


▲旧東京再開発臨海部内国立第３試験場

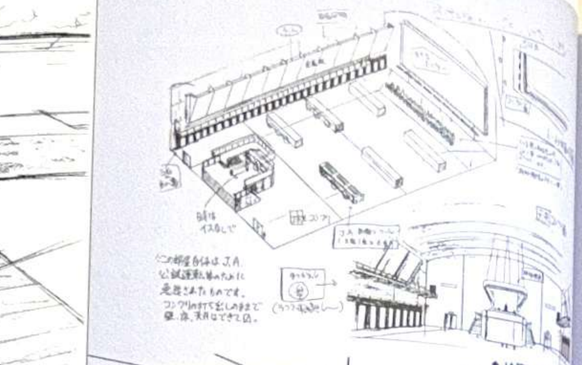
旧東京市



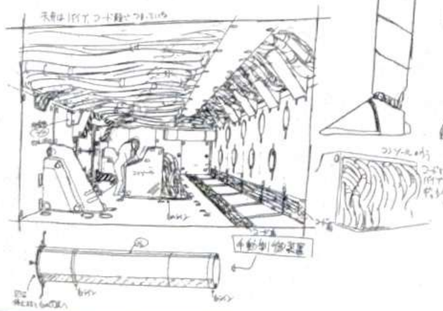
▲ネルフ御一行の控室

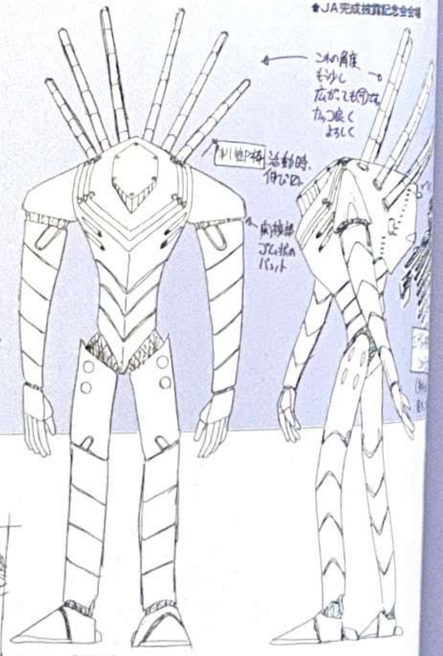


▲JA管制用オペレータ席



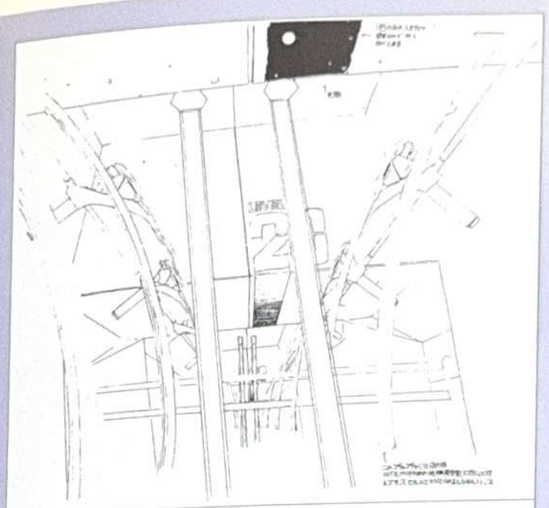


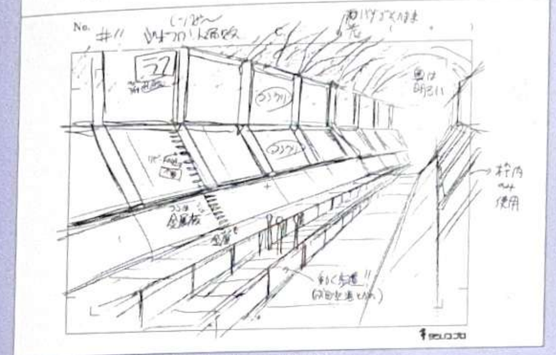




JA

日本重科学工業共同体が製作した迎撃用無人ロボット。内部に小型リアクター（原子炉）を搭載し、遠隔操作する




No.
#11
ケーブル
ケーブル
ケーブル

The Voice for EVANGELION

ここでは、放送中のパソコン通信と、放映後に庵野監督へ寄せられた視聴者の手紙から意見を抜粋し、構成している。

95.10.
シンジくんにはつまらない大人になってほしくない

第1話放映後から第4話まで・パソ通から

【匂帯少女】

まだ何一つ説明されていないも同然なので何とも言えませんが、白いスーツの少女（レイ?）の姿には心臓がズキッと来ました。

何もわからずとも、男の子が戦うことを決意するには充分な理由と感じました。自分が行かなければ、あんな状態の女の子が行かなきゃならなくなるんなら、私だって死にに行ったかも。

彼女自身も周囲の人達（看護婦さんまでも!）も無表情で、誰も制止しようともしなければ声ひとつかけてあげもしない、というのがまたその場の尋常でない空気を感じさせます。

このシーンのインパクトが強すぎて、胸が踊るはずの発進シーンも緻密な作画も印象が薄らいでしまったほど。

今はただ茫然としているだけで、頭のうえに?がいっぱい浮かんでいる状態です。?が!に変わることを期待しています。

わたしゃ「ナディア」では最終的に落胆を感じた手合いの人間なので、今回は少々慎重になってます（苦笑）。おまけに生来巨大ロボットものが大好きと来てるし。見当違いの期待ならしない方が我が身のためなのかもしれませんけども。



【きいろ】

なな。

あたしはコミュニケーションがへたな父が、でも娘を大事に思っているのは間違いないと感じさせる父が好きでした。うっとうしく思うことはあったけど、嫌いでも苦手でもなかった。

だから、シンジくんの気持ちも現実の男の子達のほんとのところの気持ちもわからないけれど、放送された第1話のシンジくんは、自分がなにかやっかいなことをさせられるであろうことを承知の上で、ミサトとの待ち合わせに応じていたようでしたね。

それは今度こそ父親に必要とされるかもしれない、という淡い期待がさせたことのようでしたが。

そして、確かに父親は彼を必要としていたのだけれど。

悲しいことだけど、（親にとって）いらない子供は存在する。

つらいことだけど、この世で自分を必要とするのは、最後の最後には自分しかいない。

などとつまらん大人になってしまったあたしは思っています。

シンジくんには、エヴァを見ている同世代の少年少女には、またそこまで行きついてほしくはないけれど。

シンジくんはなにから逃げようとしているんでしょう。なぜ逃げてはいけないと踏みとどまってしまうのでしょう。

大人達の都合と自分のエゴやプライドと。

あのころの自分はもう取り戻せないけれど、エヴァを見ながら少し思い出してみようと思っています。

もちろん、いつまでもまぢめてはいられないきいろでした。

【まるすひろし・逃げ】

TO：きいろ様

はじめまして。まるすひろしです。

これからこひいきのほど。

さて、シンジは何に「逃げ」を感じていたのか、シンジの側面のみで考えてみました。確実に私論です。お気に障ったら忘れてください。

男の子には、まず接する異性が母親と言うこともあり、母親を溺愛しあまつさえ父親に対して敵意を持つことがあります（エディプス・コンプレックス）。

普通、成長するにつれてさらに多くの外界に接するようになり、この敵意は小さくなっていくと言われています。しかし、シンジは3歳のときに母親と死別したという設定から見て、母親へ愛情を注ぐことができず、その分父親、ゲンドウに向ける敵意が増大し、そのまま14歳になってしまったのだと思います。その時ゲンドウはシンジから去っているようですから、「僕は必要とされていない人間である」と言うものが敵意の感情の中に含まれていても不思議ではないのではないのでしょうか。

しかし、そんな感情があったとしても、自分を実際に captured していた（10年会っていないとしても）のはゲンドウであると言う事実は存在するわけで。その事をシンジは「逃げている」と考えていたのかもしれません。いわば敵に captured してもらっていたわけだから。そのまま暮らしているならば何でもないことなのかもしれない。でも、敵意を抱くシンジにはそれがガマンできなかった。父と対等になりたい。一人の人間として認めてもらいたい。必要とされ思われたい。

レイのあの姿を見て直接乗り込むことを決心したとしても、根底に流れるものはそのようなコンプレックスがあったからではないか、と思う。

続いて、いきなり登場の第5の使徒、それを見たアスカちゃんの一言…おいおい、何かチャンスなんたよ〜。しかもあの表情、うむむ、シンジ君にもレイちゃんにもあの表情はできないでしょう。何たかすごいぞアスカちゃん!! 命令無しに弐号機を起動させるわ、巡洋艦??で島渡りをするわ、空母を傾けるわ、シンジ君を無理矢理同行させるわ、（あの時のシンジ君は恥ずかしそうでしたね。裸の時は前隠すのをよく忘れるのに、今回は…）で、もう今までのエヴァのキャラクターとは明らかに違った感じですね。

今回もミサトさん、大胆な作戦を…。聞に合わなかったらどうするつもりだったんだ。しかし、あの時ミサトさん「大丈夫です、あの二人でしたら。」これは気になる台詞ですね。ミサトさんは、ただあの二人の力を信じて言ったわけではないと思います。あの二人ならシンクロして、さらに大きな力を引き出せることを知っていたのではないでしょうか。そう考えると、エヴァのハイロットは偶然発生したものではなくて、何らかのつながりがあるのではないかと考えられますね。

そして、今回のキーであろう、ラストのゲンドウと加持の意味ありげなシーン。ただ恐くてトンズラしたわけじゃないのね、加持。加持の持参したものを怪しげに見つめるゲンドウ。よし、分かった。あの表情といい、やっぱり貴様は悪なんだな。

まあ、この話題は「豊泰」で花咲くでしょうが、「アダム」とは、一体どういう展開が待ってるのでしょうか。

しかし、第8話見て思ったのですが、シンジ君とアスカちゃんって意外に距離がつまるの早そうだなあ。情豊かなんでしょう。あんな表情、レイちゃんにはまたまた無理でしょうね。

95.11.
すごいぞアスカ!! 表情豊かで元気なアスカに期待

第5話放映後・パソ通から

【SS】

皆様、今晩は。SSです。第8話の感想です。

今回は初めてリアルタイムで見ることができました。さて今回はやっぱりアスカちゃんが主役でしたね。

私の予想よりはるかにぶっとんだ（悪い意味しゃないですよ）キャラクターでした。

まず驚いたのは、トウジ&ケンスケがあの場所まで招待?されたことですね。もうあの二人はエヴァの存在を知っているとはいってもあれ程の護衛（結局はエヴァの護衛ではなかったみたいですけど）がつく程のところにわざわざ誘うとは、もうあの二人は逃げられませんね。きっとNERVに監視されているに違いない。

そいでもって、アスカちゃんFC&アスカちゃんファンの期待を一心に集めて登場したアスカちゃん。いきなりのファンサービス+トウジへの平手打ち×2。もうつかみはOKですね。そして、加持を見て頬を赤らめ、ミサトさんと加持の会話を聞いてのあのリアクション。なんと表



今回はレイかいなかったぶん、アスカちゃんは積極的そうだし、シンジ君はなんとなく、状況に流されそうだし（今回、早くもヘアルックですし）。三角ができる前にあっさりこの二人がくっついちゃうと、私はとっても困るんですけど。

今回は突撃に出番0の（名前すら出てこなかった）レイちゃん。学校のシーンもあったのに。まずい、まずすぎる。早くレイちゃんにもシンジ君争奪戦に参加してもらわないと、手遅れになる前に。

次回予告。何ですかあれは。エヴァで曲芸やってるのですかね。ミサトさんの計画ですか。また、とんでもないこと考えるんだろうなあ。もしかして、シンジ君とアスカちゃんを同居させるとか。いーや、ミサトさんならやりかねない。彼女ならやりそうだ。ってことは次回もシンジ君&アスカちゃんがメインでしょうね。ううう、レイちゃ〜〜〜〜ん。

まとめ1

とにかく、アスカちゃんは期待を裏切らないような娘でした。これで学園ラブコメも、秒読み段階でしょう。容姿端麗で行動力があり、明るくてなおかつサービス精神旺盛（ちょっと違うって）とくれば、もうフ

【MK】

いやはや…強烈ですね、アスカ。

今回はタイトルの表裏が一致した…と思いきや、話の上ではやはり裏が別にあったようですが。

とにかくインパクト抜群でした。（ADAMも凄かったけど）

全体として、かなり完成度の高い回になったと思います。硬軟のバランスは気持ちいいし、テンポ良し。作画も文句の付けよう無し。

しかも謎&伏線までしっかり見せる。その情報量として七話にひけを取らないわりに、詰め込み過ぎな印象もなかったです。

おそらくは九話と組みになるのでしょうが、予告を見る限りでは八話単独としてもいいような気がします。なんか次回作画が落ちているようですし（贅沢かな）。その分見せ方に期待。

個人的には、壱話&弐話が今のところベストです。重さと作画のバランスが（それになんつっても暴走とシンジ絶叫でしょ）。

次回予告：なあにいいい

あのマグマの中に潜っていくシーンはなかなか強烈でした。

アスカはあのきしむ音が平気みたいですね。中に入っている人間にとってあんな嫌な音はないように思いますが…。

ミサトさんは限界強度を越えても潜らせてしまいましたね。

ミサトさんは鉄の心臓の持ち主ですね。ミサトさんはこうすることがアスカへの敬意だと思ったのでしょうか。アスカもそれを望んでいるようですし悲しいです。

で、結局使徒の捕獲には失敗しましたね。

アスカは見せ場とかいって喜んでますが内心はやっぱり怖いのではないかと思いました。て、プログナイブがなんとか間に合って使徒を倒しましたね。

熱膨張のネタは見事でした。でも接続のパイプが切断しましたね。

あのエヴァがだんだんと下がっていく感覚と吸いちぎられたパイプを見てアスカはほうけたような表情をしましたね。あの絶望的な状態において何故アスカはあんなに平然としていられるのでしょうか。

アスカは自分の死を受け入れることになんらためらいはないようでしたね。アスカはエヴァと共に生きエヴァと共に死ぬことが自分の誇りだと思っているのでしょうか。悲しいですね。

アスカにとって自分とはエヴァを操縦する〝機能〟でしかないのでしょうか。

そのアスカの自我はその〝機能〟の付属物でしかないのでしょうか。

私はあのまま沈んでいたらアスカは発狂していたのではと思いました。

シンジ君がアスカを助けたのは本当にほっとしました。

もしこれが遅れてもしていたらアスカは本当に間違い無く死んでいたでしょうからね。

今回、シンジ君は本当によくやったと拍手を送りたいです。

でもシンジ君はよく機転が効いたものですね。

それによく初号機がもちこたえたものです。

ただ私としては死に直面して発狂しそうになるアスカも見たかったような気もします。

あの助けられた時のアスカはちょっと幸せそうでしたね。

ただ私はちょっと怖いことを思いついてしまいまして、ひょっとしてアスカはクローン技術によっていくらでもかわりが造り出せるのかも、と思ってしまいました。

そうすれば死んだらまた新しいクローンを起こすだけですし。

あのアスカが容易に死を受け入れたのもある程度納得いくように思いました。

でもそれって酷すぎますね。

最後の温泉のシーンはなかなか…ですね。

〈ペンペンがクール宅急便で送られて来たのは謎ですが…。

でもミサトさんとアスカはシンジになにかしているはずなのにあんな事をするなんて凄いですね。シンジ君の「膨張してしまった…」は見事でした。

シンジ君、おっとこの子だねー。

ミサトさんの胸の傷については意味ありげですね。

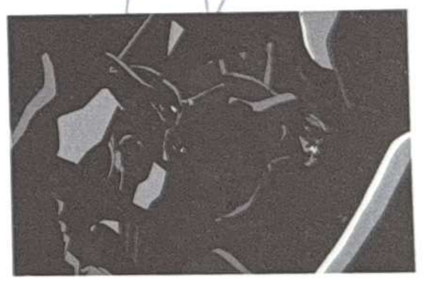
でもどういうけがのしかたをしたらあんな所に傷ができるのでしょうか。なにかが突き刺さったのでしょうか。それとも5話の初号機みたいに胸に熱線を浴びたのでしょうか。たたこういったふうだとけがを通り越して死んでしまうようにも思いますが…。

この分だとリツコさんや加持にも傷があるかもしれませんね。

私としてはあの傷はミサトさんの弱く、暗い部分の象徴だと思いました。

話を見ていて思うのですが、この作品の作者、監督は一度は死にたくなるほど、ひどく悩んだり、一度や二度は自殺を考えていたのではないかと感じることがあるんです。この話のテーマとして「生きることは何か?」ということがあるような気がしているのですが、生き物が生きることの意義を考える時は死に直面したときだと思うんです。死が間近に思えるほど強く悩んだり、死を考えたとき、その反面にある「生」を強く意識し感じることができるものなのではないでしょうか? 自分が何のために生まれ、生きているのか、感じることができるものではないでしょうか? 死ぬほど迷ったときに、母の愛や生きることの喜び、楽しさを体で実感できるんではないか、と思ったんですよ。

うーん、なんか言葉がうまく見つからないのですが、そういう片鱗をちらっ、ちらっと感じるのです。どうもバイオがらみの設定があると思うんですけど、そもそも「生き物」と「そうでないもの」の違い自体未だはっきりしてないわけですから、そういうテーマを浮き彫りにしつつ(ある(?)この番組がとても楽しみに思えて来ちゃいました。



第3新東京市のHALみたいなものだろう、と捉える事ができると思います。

そうだとするとセカンドインパクトから人類補完計画に至る極秘事項をも知らされている(入力されている)可能性は無きにしもあらずということで極度の神経衰弱に陥ったMAGIの判断ミスから今回の故障が起ったとすれば…。

最後がスターチルドレンだったら笑うよ、タブンソウナラナイデショウケド。

96.2.

第18話、第19話放映後・パソ通から

できればエヴァは親子そろって見てほしい作品

【東雲】

どうも、皆さまこんばんは。

私はあまりアニメを見ながらったのですが、この作品には驚きました。どうしても感想を書きたくなってしまいました。

【TomEun】

子供に見て欲しいエヴァ

まず結論を先に言います。「新世紀エヴァンゲリオン」は子供に見て欲しい、出来れば親と一緒に見て欲しいアニメだと思いました。18話をもって確信しました。

もちろん、子供と言っても幼児には辛いでしょうが、少なくとも自己と他人の存在をきっちりと見分けられるくらいの精神年齢なら(10歳以上かな)見て欲しい。

そして、成人の親となぜこうなるのかを話して欲しい気がします。なぜか、それは最近のTVアニメ



のように安易に殺されていくというか、あるいて描かない死の恐怖さ、戦闘の残忍性、極限の人間の非情を明確にしてくれたからです。

確かに、18話の戦闘シーンは成人男性をも固まらせる凄絶さでした。

これだけを見るならやはり子供には見せたくないです。しかし、エヴァという作品を通してのこのシーンを、チェーンソー持って人を切る映画やナイフを持った殺人鬼が徘徊する映画と、大人の嗜好品と一緒にして欲しくない。そして、他の格闘&戦闘シーンや流血シーンがあるアニメと同じに扱えないものがあると思うのですが。

エヴァには随所に過去のアニメや特撮へのオマージュがあります。

それと同時にそれへのアンチ・テーゼが大量に盛り込まれてる気がします。例えば、覇気がなく勇気を持てない主人公、第3新東京にしか来ない使徒、現実でも32秒で終わる戦闘、必殺技のない主役ロボット等々。そして、血を流す敵、兵士を物として扱う指揮をする司令官、時には仲間を犠牲にしなければならない戦場。近未来SFではなく、ここは完全にリアル、現実の、真実の描写です。

私も世代から言えば、ウルトラマン&セブン&帰ってきた等を小学生の時代必死になって見ました。中学生時代はケンスケばりに戦車や戦艦モデルガンに興じ、第2次大戦の資料(もちろん軍事面からだけの日独偏向)を読み漁ってました。

そんな自分に大きな発想の転換をさせたのが、恥ずかしながら「アンネの日記」でした。全く偶然に内容もロクに知らずに、図書館で手に取った本でした。その後、高校に進み写真に凝ったこともあり、ベトナム戦争の戦場写真集、戦記物をずいぶん読み、見ました。そして、そのころですね。「機動戦士ガンダム」に出会ったのが。そういう意味でも、あれは感動でした。ただ、漠然とした物足りなさも感じていました。

その物足りなさとは、年を更に食ってから、子供向けの格闘&戦記アニメ&特撮を見て知りました。悲劇はあっても、壮絶な死はあっても悲惨はないんです。怪獣や怪人を倒しても、爆散するだけ。しまいにゃ、手足もぎ取っても血も出ないし、苦しむヤツに追い打ちを掛ける。パイロットが乗っているロボットごと吹き飛んで燃え尽きちゃう。残るのは金属的な残骸だけ。

正義は勝つって、それだけでいいの。

よく考えるとこの方がよっぽど子供にとって残酷じゃありませんか。私が嫌悪するのは一度倒した(殺した)敵や仲間がアイテムや呪文で復活したり、天国から生き返ってきたり、自己犠牲で明らかに死んだ仲間が運良く助かられて感動の再会つてやつ。

18話のトウジ生還の件はまた明確な決着ついてないし、主人公にとって感動の再会じゃないし。あれが、戦闘終了後にふたりでヒシと抱き合って…なんてやったら私も庵野監督を斜弾したでしょうね。

少なくとも死をハカにしない18話のこの姿勢は、評価したい。そして

自分にとっての「アンネの日記」であり「エヴァンゲリオン」でありえると結論しました。

まあ、自分の倫理は世間の倫理と合わせてるわけではないんで、これもひとつの考えということです。実際、演出とはいえ少々きつめなことも確かですけどね。かえって潔さと執念を感じちゃいました。親の身からすれば、それとこれとは別と言われるとこの点は言い返せませんけど。

自分にとっての「アンネの日記」が、TVの前の子供にとっては「エヴァンゲリオン」であるわけだからね。

と言ってみたものの、監督本人が

96.3.

第24話放映後・パソ通から

見た後の重さをひきずりながら、それでも見る意味

NTの中で庵野監督は、オタクの幸福に疑問を持ってしまったので、彼らの幸せについて考えてみたいと言っていたそうです(NERVファイルより)。

これからすると、何か視聴者(特に濃い方々)を地獄に落とすようなラストが用意されているのかもしれません。

ナディアに関して散々いわれて、この作品はそれに対するものでもあるようですし。

みんなが望むようなラストにはならないんじゃないのかな。

てなことで、確かに「オタク殺すに刃物はいらぬ」を狙っているのでしょう。そういう意味でもラストが気になる。

【しんしん】

うーん、信じられん。シンジ君がとどめを刺すとは、あそこで握りこむとは。私は、シンジには「カヲル」は殺せないと踏んでいたので、ショックはでかかったです。あの長い間で、いやな予感はしていたので、「オイオイ、よせよシンジ君」とつぶやいてしまった。

しかも、あの後のシンジ君が彼にしては、冷静なのでまたショック。今回のシーンで思い起こされるのが、第拾八話のラストシーン。おそ

らく対比を狙ったものだと思いますが、あの時、戦うことを拒絶し、死をも選択したのに、今回は自らの意思で戦い、そして、自分の判断で殺した。たしかに、目の前で使徒としての力を見せ付けられたから、「使徒」と思い込むことができたという見方もできますが、シンジにとっては最後まで、カヲルがカヲルを殺せるとは到底思えません。

だが、シンジは殺した。シンジは変わったのでしょう。以前とは違いここでやらなければ、自分も死ぬし回りの多くの人達も死んでしまうと考えて、「人」を殺すことを選択したということですよね。これを成長というべきなのか私には、また答えはでません。

ただ少なくとも、彼の変化が彼自身によるものであって欲しいです。シンジ君も7人目だからというのは、なしにして欲しいです。

レイ、一体何者なんだ、チルドレンにして、使徒であり、アダムよりうまれし者であるカヲルをして、「同じ」と言わしめ、ATフィールドを発生させながらも、使徒とは認識されないレイ。もはや、人とは言えないのだろうか。それともレイとカヲル、彼らが補完人類なのか。うーむ、わからん。

そして、レイの様子ですか、どうもシンジとのつながりが希薄になったように描かれているとしか見えません。やはり、今のレイは以前までのシンジと心を通わせはじめたレイではないようです。かなしい～。

カヲルが最後に、レイをみてからシンジに「きみたち」といったこの言葉にすがるしかないです。

次回予告

こっこれはひどい。いやもう慣れたか。

しかし、情報としては予告にはなっているので信用して見ましょう。



ほっておくのが一番、ということもあるのでしょう。ただ、今のアスカはほっておくと完全にだめになってしまいそうなので心配です。

監督からのアスカを通したメッセージ、アスカの復活の仕方を見てから、また考えてみたいと思います。

こんなこと書いて、アスカがミサトで復活したりしたら、私、物笑いの種ですね。でもアスカが復活してくれるならそんなことはどうでもいいです。

96.4.

それでもエヴァを見て良かったなと思う

放映終了後の手紙から

【東京都・レイヲ】

私はエヴァンゲリオンを見て、アニメへの固定観念を変えることができたと思います。(中略)本気でこのアニメを見始めたのは5話くらいから。それまでは途中から少し見たり見なかったりして、どんなアニメなのか気にはなっていました。そしてこのすべてが謎につつまれているような物語を毎週欠かさず見るようにそれはシンジのように人に嫌われるように心がけてきた自分、ミサトのように表面的に他人とつき合うことで自分を傷つけまいとしていた自分に自分で気づいていながら無視しつづけていたこと。アニメという世界に浸って夢を見過ぎていたこと。そして、それに気づいたことでその夢の外へ小さな一歩を踏み出せたこと。これが私のアニメに対する固定観念を変えた理由です。アニメを見ることに年齢は関係ないのです。そこから何を見つけだせるのか、何が自分にとってプラスになったのか、それに気づくことが大切だと思いました。

【愛知県・ラジヲマン】

二十五・二十六話とは、「物語世界」の解決ではなく、「エヴァ」の登場人物という記号による「現実に向かう新しい視点の呈示」と解釈できます。

しかし、そうであったとしても、視聴者が自分と同一視するシンジに「自分の意志」が見られなかった事実は、自信に裏打ちされた判断を生み出せなかったことになるのではないでしょうか?

【埼玉県・KOHJI】

「エヴァ」の登場人物の鈴原トウジ、相田ケンスケ、洞木、時田などの名前が、村上龍著の「愛と幻想のファシズム」の登場人物から付けられたことは有名ですが、さらに「エヴァ」と「愛と幻想のファシズム」を対比してみると、「愛と幻想のファシズム」とは弱者を嫌い、弱者の作り出したシステムを破壊しようとする小説であり、(結果としてシステムを壊すために「狩猟社」という新たなシステムを生み出し、システム対システムと言う構図を作り出してしまいますが)作中で「黄金のエルク」と象徴される現代社会の全貌を見たいという意志を感じる小説です。対もあり判りやすくストレートなエピソードでした。

嫌悪感をもよおすような直接的な描写も少なくてよかったです。もっとも観てる方が慣れてしまったのかすでにネタが尽きたのか、はたまた局の圧力によるものなのかという疑問は残りますが。

とはいうものの、なんだか誰かの夢でも見せられているような気分でもあります。

物語はついに行き着くとこまでイってしまったかのようであり(この先もっともっと遠くへイっちゃうんでしょうね)、制作サイドに手の届かない視聴者はもはや黙って観てるしかないのでしょうか?

例えば今回の内容だと第弐使徒が誰なのかとか、もうどうでもいいような気さえします。予想されていた出来事とはいえ寂しくなります。

最近の「エヴァ」は胸に応え過ぎます。

観た後の重さを一週間ひきずりっぱなしで、しかも次の回でさらに深くキズをえぐられちゃいます。

毎週手を替え品を替え暴かれる各キャラクターの内実は、いずれも身に覚えのあるものばかりで、まるで鏡の前で自分が丸裸にされるのを見せられているかのような気分です。歳をとって感覚のマヒした自分でさえこのありさまですから、若年の視聴者の方にはさぞや刺激が強いことでしょう。それとも身に覚えの数の多い年寄りの方が感じる辛さも大きいんですかね?

レイの問いかけはそのまま自分に対する問いかけです。

私、何故またエヴァを観てるの?

何のために?

予告にはまたしても見たくないモノものが写っていたような気がします。

観るのが苦痛だったら観なけりゃいいにきまってます。観つづけるのを誰かに強制されている訳では無いのですから。

でも、私はあと弐回、「エヴァ」を観ます。もちろん自分の意思で。

連呼される「逃げちゃダメだ」のメッセージの意味がやっと判ってきたから。

そしてそれを確認するために。



【伽羅子:アスカの復活について】

酔っ払って泣いてる時黙って一晩付き合ってもらったら、それだけでその人は嬉しいと思います。自分の悲しみをそのまま知ってもらうことは不可能でも、悲しんでいる自分と黙って一緒にいてくれる人がいるのなら、それは、たった一人で酔って泣いてるよりずっとあたたかいことです。

私は一時期、周りの人から腫物扱いされて逃げ腰になられた経験があります。その時の自分の経験を言えば人にやさしく同情されても励まされても全然嬉しくなかったです。鬱陶しくて迷惑でした。そうやって私の内側に入って来ようとする人よりは扱いあぐねて逃げ腰であっても外側から黙って見ていてくれる人の存在の方がありがたかったです。それは酔っ払って泣いてる人に黙って一晩付き合うのとそんなに変わらないことであるような気がします。

【神奈川県・渡辺亜美】

正直、エヴァに出会わなければ良かったかもって思う時あります。

もし、出会わなければきっと人といっしょにいるのがこんなにわくていいことだと思わなかったからです(カンタンに言えば少し人がこわくなったんです)。

【神奈川県・雅言】

キャラクターなどが先行してちょっとしたブームになっていますが、ただのアニメブームで終わらせてしまうには、あまりにもったいない気がします。



【神奈川県・鈴木由華】

新世紀エヴァンゲリオンを見せて頂いて、一番多く感じた事はドキッという様なものでした。

この気持ち、私も良く感じる、とか、ああ、こういう風につきつめていったら私もこう思うかも、という事が数多くありました。

そして見ていくに従って、誰にでもある気持ちなのかな? と思う様になりました。

NTの6月号で庵野監督は「自分の部屋からアニメファンは出ようとしない」と言っていましたね? 実はそれを読んで私は少しドキッとしてしまいました。人と人の関わりから逃げている所が私にはあるだろう、と思ったからです。

でも、エヴァンゲリオンという作品を見てからは、どうして恐いと思うのか? 何故、それが嫌なのか? などという事を自問していこう、と思うようにはなった気がします。



NT's Articles of EVANGELION

97.1



開田裕治氏によるCG初号機。NTにあるツクダホビーのガレージキットを参考資料に使った。ちなみに、同じメカが2年連続で新年号を飾ったのは初号機が初めて。シンジといっしょに登場した'95年4月号を含めると、実に3度目の登板となる。

96.11



付録



NT本紙のモデルページ担当が編集した「エヴァンゲリオン1Dファイル」。実に300体以上のモデルを収録した。アマチュアディーラーの作品は、ワンフェス当日にすべて撮影。海洋堂製作1／1スケールの綾波レイが表紙を飾った。

96.6





発売後、一大議論を巻き起こした庵野監督の単独インタビュー記事。インタビューは、最終回放映数日後に林原めぐみのラジオ番組にゲスト出演した監督をつかまえ、敢行した。この後、NT編集部には監督宛てて山のような手紙が届いた。

96.4





最終回直前特集は、シンジのヒーロー性につ
ト。19話で加持が発した名セリフをキャッチコ
ーに使った。付録のキャラ写真集では、「そ
ところにばっかり注目しないで」というガイ
クス側の意向で、セクシーショットは極力





96.5





放映前は情報がシャットアウトされていた最終
話を、NTなりに分析した特集。絵柄は初号機の
ガレージキットを実写背景とCG合成したもの。
読者アンケートをとった結果、2見開きめの月
ックがいちばん好評だった。

E-COMMISSION 96.7-97.3

















放映後もエヴァを盛り上げようと発足したのが、エヴァンゲリオン通信「Eコミッション」。読者投稿コーナーや、エヴァ関連グッズの紹介などで構成した。描き下ろしも「レイ&カヲル」「オペレーターズ」など、過去にない組み合わせにこだわった。

96.7



付録



エピソードガイド、24話をフィーチャーした「レクイエム」などを収録した付録「ネルフレポート」。これで、英字サブタイトルのもつ意味を知った人も多いはず。心理学用語やヨハネ黙示録などからの引用もあり、興味深い内容になっている。

96.8



10ページにわたる水着特集「夏色乙女」の大トリを飾った、ビキニ姿のレイ。平松禎史氏の当初のラフはペンペンも水面に浮かんでおり、レイの表情も明るかったが、このアンニュイバージョンにリテイクされた。ちなみにレイの影はCGで作成。

96.2





セリフに見る謎を追究した特集。幻想的な扉絵は、数ある描き下ろしの中でも、担当が特に気に入っている一品だ。ちなみに、この号から「他誌も関連商品もみんなやっているから」というアマノジャク編集長の意向により、"直角折れキャッチ"を廃止。

96.3









複雑な人間関係を検証した特集。タイトルは「Stray sheep=迷える小羊たち」をもじった。担当としては「加持をめぐる三角関係」をもっと大きくしたかったのだが、あとでリツコとゲンドウの関係を知り、ホッと胸をなでおろした。

95.12







表紙の2人の衣装は、何冊かのファッション誌を参考に、クリスマスらしく華やかな雰囲気に。レイが着ているオーガンジーのドレスは長谷川眞也氏と塗りの高星晴美氏の苦労の結晶だ。特集では、女性キャラ4人にスポットを当てた。

96.1







毎年メカが飾る新年号表紙には、山下いくと氏の初号機が登場。当初のラフ案には、実は本書カバーの絵柄と、天を見上げた初号機に雪が積もっているという、2種類があった。塗りは山下氏のマーカー画を参考に、甲斐氏がハーモニー処理を施した。

95.10







「エヴァ」放映開始直前特集。表紙は、NT発注のラフ案では腰をかがめて両手を後ろ手に組んだものだったが、作監の鈴木俊二氏の手で、躍動感あふれるよりミサトらしいポーズに変わった。また、いちはやくマヤをチェックしているのも要注目。

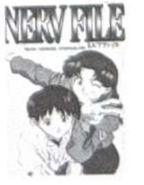
95.11



ファッション特集、付録とバラエティに富んだ号。私服のミサトとレイのモデルはNTの自称美人編集部員が演じた。もとの写真を公開したら、ファンが大暴動を起こすかも(笑)。「ネルファイル」は設定、スタッフ&CVインタビューと充実の内容。



付録



95.4

ニュータイプ誌上での「エヴァ」初登場はテレビ放映開始の実に半年前。'95年注目のクリエーター4人にインタビューをした巻頭特集「SKILL UP〜新たなる挑戦」のトップを飾った。扉絵のレイの扱われ方は、今では信じられない大きさだ。

95.7

エヴァ第1話のフィルム完成を記念した、どこよりも早い誌上予告編。この号から、「エヴァ」独特の直角に折れたサブタイトルを模倣したキャッチを使用。たが、庵野監督いわく「挑発はしていない」ということなので、あくまでNTの私見である。

NEWTYPE 100 COLLECTION

NEWTYPE 100% COLLECTION 29

NEON GENESIS EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン

©GAINAX／Project Eva. ・テレビ東京・NAS

［原画］
カバー・P61/山下いくと
P4〜7・14〜15・29・32・52〜53・57/本田雄
P8・18〜19・38・39・42・49・60/鈴木俊二
P9・11・28・40〜41・72〜73/中山勝一
P13・26・27・30〜31・44〜45・50・51・54〜56・
58〜59・64〜65/平松禎史
P18〜22・24〜25・36・37・46〜47/長谷川眞也
P23・34〜35/守岡英行
P33・43・48/鶴巻和哉
P66〜67・70〜71/吉成曜
P62〜63・69/古川尚哉
P68/今石洋之
［仕上げ］
all/高星晴美
except…カバー・P61/甲斐政俊
P10・50・51・62〜63・68/小峯久美子
P20〜21・22/タツノコカラーセンター
P24〜25/濱谷美穂子
P27・54〜55/アートミック
［背景］
P18〜19・20〜21・22・38・54〜55・
60・64〜65・70〜71/スタジオ美峰
P28・29・33/木村真二
P6〜7/グリーン
［アートワーク］
P18〜19・30〜31・39・42/亀井一郎
［イラスト］
P12/貞本義行
P74・75/開田裕治
協力＝月刊少年エース、コンプRPG、RPGドラゴン、三鷹市役所
月刊ドラゴンマガジン、テレビ東京

ニュータイプ100%コレクション 29
NEON GENESIS EVANGELION 新世紀エヴァンゲリオン
1997年2月28日初版発行
発行人：角川歷彦
発行所：〒102東京都千代田区富士見2-13-3 株角川書店 ニュータイプ
営業☎03-3238-8530 編集☎03-5229-3550 振替：00130-9-195208
装幀・デザイン：朝倉哲也+design CREST
印刷・製本：大日本印刷株式会社

©Kadokawashoten 1997 禁無断転載・複製
ISBN4-04-852700-2 C0076 Printed in JAPAN
乱丁、落丁はご面倒でも角川ブックサービス（〒354 埼玉県入間郡三芳町藤久保557-1
☎0492-58-1100）あてにお送りください。送料小社負担でお取り替えいたします

Staff & Cast of EVANGELION

企画・原作…GAINAX
企画…Project Eva.
掲載…角川書店 月刊少年エース
キャラクターデザイン…貞本義行
メカニックデザイン…山下いくと 庵野秀明
副監督…摩砂雪 鶴巻和哉
美術監督…加藤浩
色彩設定…高星晴美
撮影監督…黒田洋一
音響監督…田中英行
音響製作…オーディオタナカ
音楽…鷺巣詩郎
音楽協力…テレビ東京ミュージック
オープニングテーマ…「残酷な天使のテーゼ」
作詞／及川眞子 作曲／佐藤英敏
編曲／大森俊之 歌／高橋洋子
エンディングテーマ…「FLY ME TO THE MOON」
作詞・作曲／Bart Howard
編曲／Toshiyuki Ohmori 歌／CLAIRE
オープニングアニメーション…作画／本田雄 長谷川眞也
演出／鶴巻和哉
エンディングアニメーション…摩砂雪
広報…宍見礼（テレビ東京） 佐藤裕紀（GAINAX）
アニメーション制作…タツノコプロ GAINAX
プロデューサー…小林教子（テレビ東京） 杉山豊
アニメーションプロデューサー…植田もとき 内山秀二 山賀博之
総監督…庵野秀明
碇シンジ…緒方恵美
葛城ミサト…三石琴乃
赤木リツコ…山口由里子
綾波レイ…林原めぐみ
惣流・アスカ・ラングレー…宮村優子
碇ゲンドウ…立木文彦
冬月コウゾウ…清川元夢
加持リョウジ…山寺宏一
鈴原トウジ…関智一
相原ケンスケ…岩永哲哉
洞木ヒカリ…岩男潤子
日向マコト…結城比呂
伊吹マヤ…長沢美樹
青葉シゲル…子安武人
キール・ローレンツ…麦人
碇ユイ…林原めぐみ
赤木ナオコ…土井美加
渚カヲル…石田彰
老教師…丸山詠二
時田シロウ…大塚芳忠
空母艦長…西村知道
空母副艦長…山野井仁
アスカの父…関俊彦
アスカの母…川村万梨阿
アスカの継母…勝生真沙子
人類補完委員会…清川元夢 長嶝高士
鈴木勝美 永野広一ほか
製作…テレビ東京 NAS

	放送日	脚本	絵コンテ	演出	作画監督
1話	95・10・4	庵野秀明	摩砂雪・庵野秀明	鶴巻和哉	鈴木俊二
2話	95・10・11	榎戸洋司・庵野秀明	摩砂雪・庵野秀明	鶴巻和哉	本田雄
3話	95・10・18	薩川昭夫・庵野秀明	鶴巻和哉・石堂宏之	石堂宏之	細井信宏
4話	95・10・25	薩川昭夫	甚目喜一	加賀ツヨシ	重田智
5話	95・11・1	薩川昭夫・庵野秀明	甚目喜一	杉山慶一	鈴木俊二
6話	95・11・8	薩川昭夫・庵野秀明	摩砂雪	石堂宏之	細井信宏
7話	95・11・15	榎戸洋司・庵野秀明	杉山慶一・庵野秀明	杉山慶一	鈴木俊二
8話	95・11・22	薩川昭夫・庵野秀明	樋口真嗣	鶴巻和哉	本田雄
9話	95・11・29	薩川昭夫・庵野秀明	樋口真嗣	水島精二	長谷川眞也
10話	95・12・6	薩川昭夫・庵野秀明	加賀ツヨシ・庵野秀明	加賀ツヨシ・石堂宏之	重田智
11話	95・12・13	榎戸洋司・庵野秀明	摩砂雪	渡邊哲哉	河口俊夫
12話	95・12・20	薩川昭夫・庵野秀明	摩砂雪	石堂宏之	重田智
13話	95・12・27	磯光雄・薩川昭夫・庵野秀明	岡村天斎	岡村天斎	黄瀬和哉
14話	96・1・3	庵野秀明	庵野秀明	大塚雅彦・安藤健	鶴巻和哉
15話	96・1・10	薩川昭夫・庵野秀明	甚目喜一	羽生尚靖	鈴木俊二
16話	96・1・17	山口宏・庵野秀明	鶴巻和哉	鶴巻和哉	長谷川眞也
17話	96・1・24	樋口真嗣・庵野秀明	オグロアキラ	大原実	花畑まう
18話	96・1・31	樋口真嗣・庵野秀明	岡村天斎	岡村天斎	黄瀬和哉
19話	96・2・7	薩川昭夫・庵野秀明	摩砂雪	摩砂雪	本田雄
20話	96・2・14	庵野秀明	鶴巻和哉・庵野秀明	大塚雅彦	鶴巻和哉
21話	96・2・21	薩川昭夫・庵野秀明	甚目喜一	石堂宏之	重田智
22話	96・2・28	山口宏・庵野秀明	鶴巻和哉	高村彰	森木植
23話	96・3・6	山口宏・庵野秀明	鶴巻和哉・庵野秀明	増尾昭一	鈴木俊二
24話	96・3・13	薩川昭夫・庵野秀明	摩砂雪・庵野秀明	摩砂雪	摩砂雪
25話	96・3・20	庵野秀明	鶴巻和哉・庵野秀明	鶴巻和哉	本田雄
26話	96・3・27	庵野秀明	摩砂雪・鶴巻和哉・庵野秀明	摩砂雪・鶴巻和哉	庵野秀明